「第３次岩国市健康づくり計画」
策定ためのアンケート調査

報　告　書

令和８年１月

岩国市

目次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査目的 1
2　調査方法 1
3　回収結果 1
4　報告書の見方 1

Ⅱ　調査結果 2
1　属性 2
2　健康 5
(1)　主観的健康感 5
(2)　ＢＭＩ 8
(3)　理想とする体重と適正体重 9
3　栄養・食生活 11
(1)　朝食の摂取状況 11
(2)　主食、主菜、副菜をそろえて食べる状況 17
(3)　主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと 20
(4)　減塩の状況 23
(5)　適正と思う食塩摂取量 29
(6)　野菜の摂取状況 31
(7)　間食の頻度 39
(8)　果物の摂取状況 40
(9)　適正体重維持の意識 43
(10)　食事をたのしく・おいしく食べている状況 45
(11)　食育への関心度 48
(12)　共食の状況 51
(13)　家族以外の人との食事の場への参加状況 52
(14)　地域の人との食事会等の参加意向 54
4　運動 56
(1)　運動習慣の状況 56
(2)　運動に取り組むために必要なもの 65
(3)　１日あたりの歩数 67
(4)　健康維持・増進に取り組む状況 69
5　こころの健康 71
(1)　睡眠による休養の状況 71
(2)　１日あたりの睡眠時間 75

(3)　心の悩みやストレスの程度 76
(4)　ストレス解消法の有無 78
(5)　相談相手の状況 79
(6)　相談窓口の認知度 81
6　歯と口腔 84
(1)　歯科健診の受診状況 84
(2)　咀嚼状況 87
(3)　食べる速さの程度 88
(4)　ゆっくりよく噛んで食べることを意識している状況 90
7　飲酒 91
(1)　飲酒頻度 91
(2)　飲酒量 92
8　喫煙 94
(1)　喫煙状況 94
(2)　受動喫煙の状況 98
(3)　身近な人の喫煙状況 100
(4)　ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度 101
9　健診・がん検診 103
(1)　健診の受診状況 103
(2)　がん検診の受診状況 107
(3)　がん検診を受診していない理由 116
(4)　がん検診を受診する際に重要なこと 119
(5)　骨粗鬆症検診の受診状況 120
10　社会活動・社会参加 121
(1)　地域の人とのつながりの程度 121
(2)　社会活動への参加状況 126

Ⅰ　調査の概要

1　調査目的

「岩国市健康づくり計画」の策定に資する基礎資料を得ることを目的とするため。

2　調査方法

(1)　調査地域　　岩国市全域
(2)　調査方法　　郵送法（インターネット回答と併用）
(3)　調査対象　　3,000 人（市内に居住する 20 歳以上の市民の中から無作為抽出）
(4)　調査時期　　令和７年 10 月 31 日～11 月 30 日

3　回収結果

有効回収数　1,308 人（43.6％）

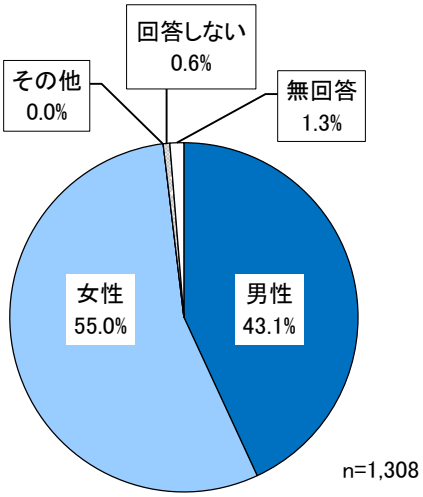
4　報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第２位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0％とならない場合がある。
- ２つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0％を超えることがある。
- グラフ中の「ｎ」は質問に対する回答数であり、100.0％が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ　調査結果

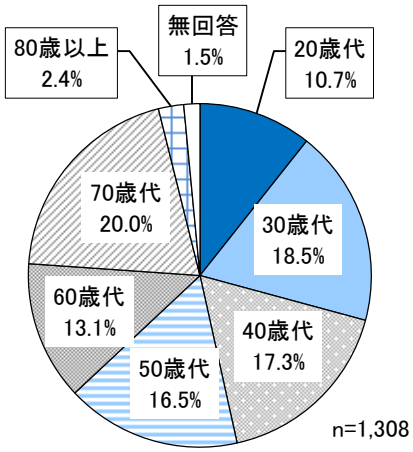
1　属性

(1)　性別



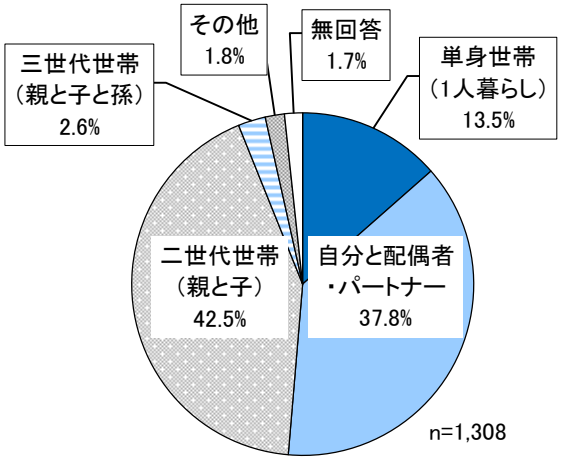
	回答数	割合
男性	564	43.1%
女性	719	55.0%
その他	－	－
回答しない	8	0.6%
無回答	17	1.3%
全体	1,308	100.0%

(2)　年齢



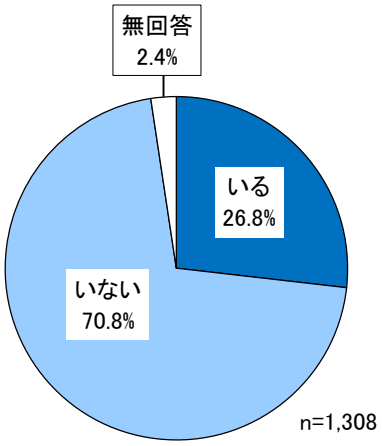
	回答数	割合
20歳代	140	10.7%
30歳代	242	18.5%
40歳代	226	17.3%
50歳代	216	16.5%
60歳代	172	13.1%
70歳代	262	20.0%
80歳以上	31	2.4%
無回答	19	1.5%
全体	1,308	100.0%

(3)　世帯状況



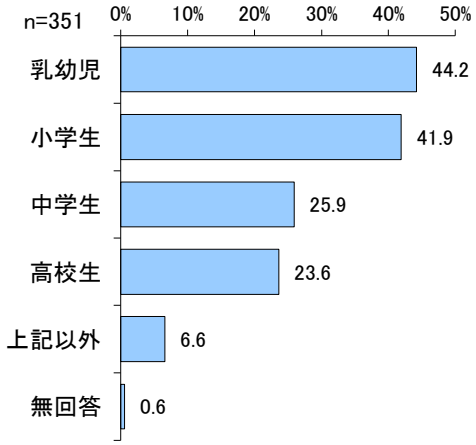
	回答数	割合
単身世帯（1人暮らし）	177	13.5%
自分と配偶者 ・パートナー	495	37.8%
二世代世帯（親と子）	556	42.5%
三世代世帯 （親と子と孫）	34	2.6%
その他	24	1.8%
無回答	22	1.7%
全体	1,308	100.0%

(4)- 1　18 歳未満のこどもの有無



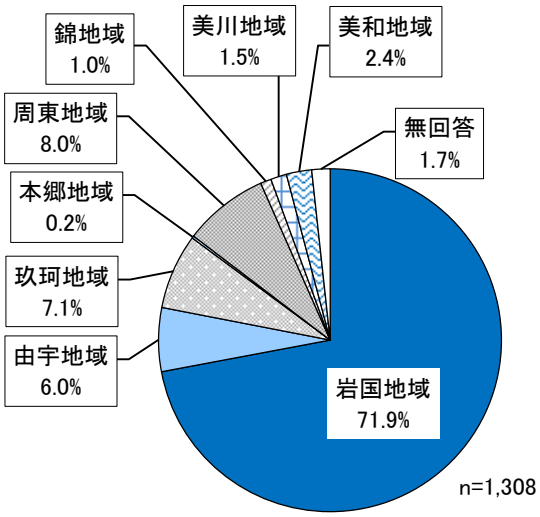
	回答数	割合
いる	351	26.8%
いない	926	70.8%
無回答	31	2.4%
全体	1,308	100.0%

(4)- 2　こどもの成長段階



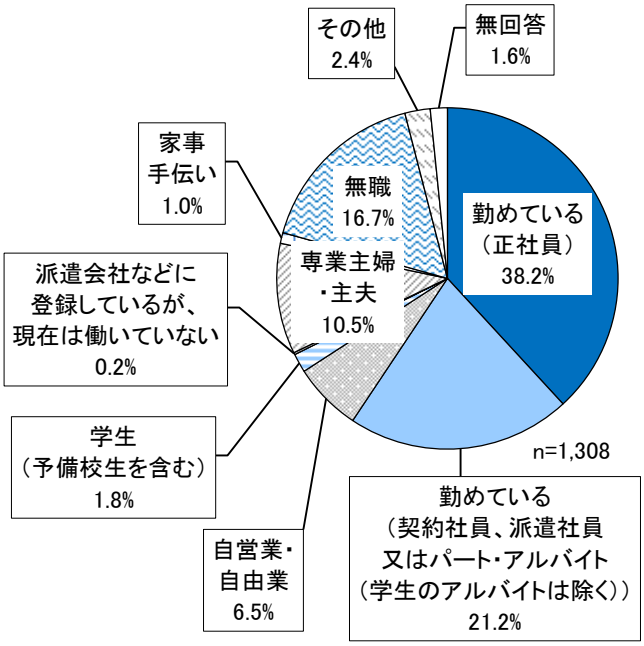
	回答数	割合
乳幼児	155	44.2%
小学生	147	41.9%
中学生	91	25.9%
高校生	83	23.6%
上記以外	23	6.6%
無回答	2	0.6%
全体	351	100.0%

(5)　居住地域



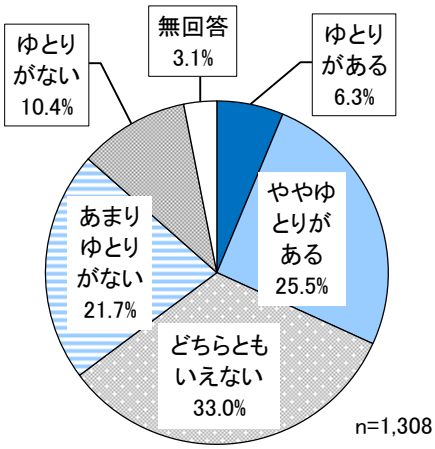
	回答数	割合
岩国地域	941	71.9%
由宇地域	79	6.0%
玖珂地域	93	7.1%
本郷地域	3	0.2%
周東地域	105	8.0%
錦地域	13	1.0%
美川地域	20	1.5%
美和地域	32	2.4%
無回答	22	1.7%
全体	1,308	100.0%

(6)　就労・就学状況



	回答数	割合
勤めている（正社員）	500	38.2%
勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））	277	21.2%
自営業・自由業	85	6.5%
学生（予備校生を含む）	23	1.8%
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	3	0.2%
専業主婦・主夫	137	10.5%
家事手伝い	13	1.0%
無職	218	16.7%
その他	31	2.4%
無回答	21	1.6%
全体	1,308	100.0%

(7)　経済的状況



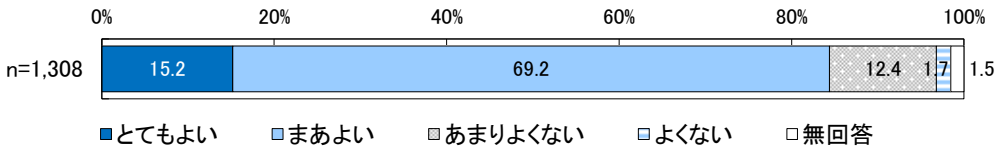
	回答数	割合
ゆとりがある	83	6.3%
ややゆとりがある	333	25.5%
どちらともいえない	431	33.0%
あまりゆとりがない	284	21.7%
ゆとりがない	136	10.4%
無回答	41	3.1%
全体	1,308	100.0%

2　健康

(1)　主観的健康感

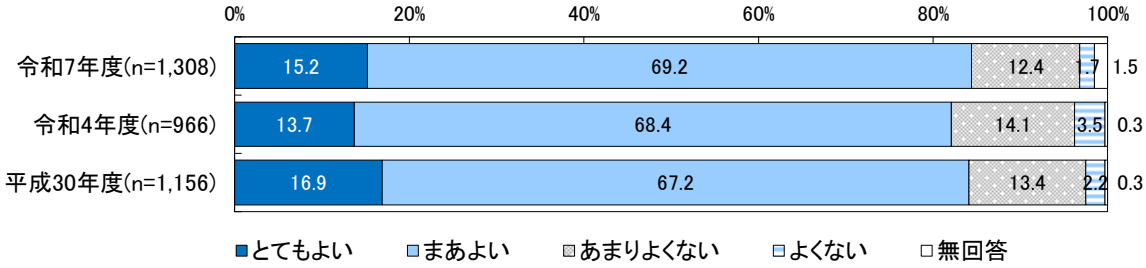
問３　あなたの健康状態を回答してください。【○は１つ】

【主観的健康感】



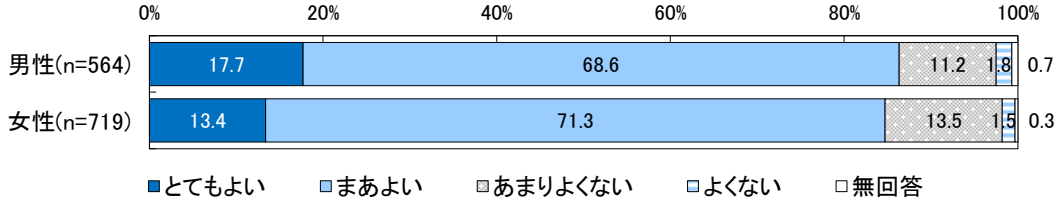
主観的健康感について、『よい』(「とてもよい」＋「まあよい」) と回答した人の割合が 84.4%、『よくない』(「よくない」＋「あまりよくない」) と回答した人の割合が 14.1%となっている。

【主観的健康感（経年比較）】



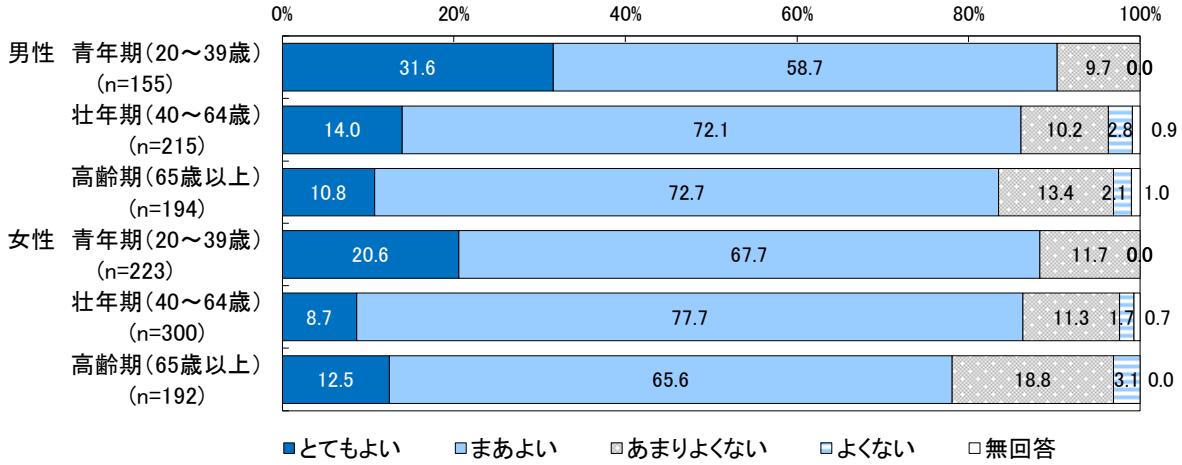
経年比較すると、『よい』と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

【主観的健康感（性別）】



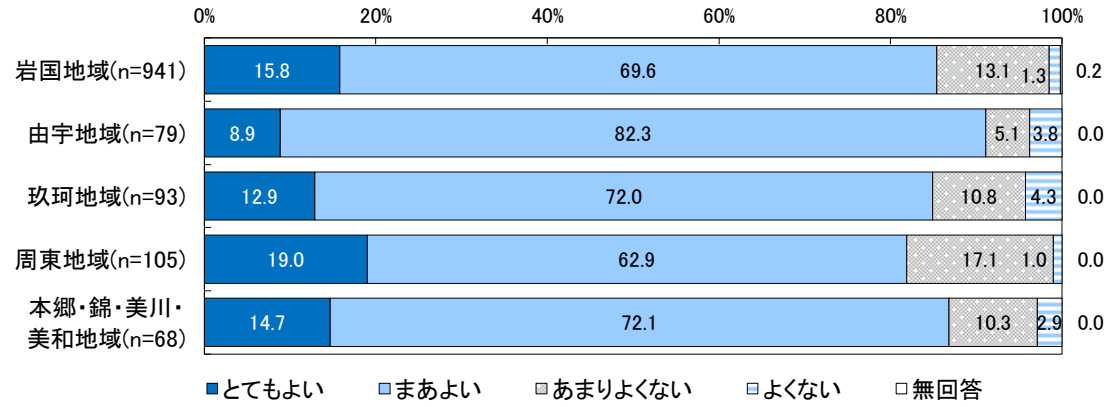
性別にみると、『よい』と回答した人の割合は、男女ともに８割台となっている。

【主観的健康感（性・年齢別）】



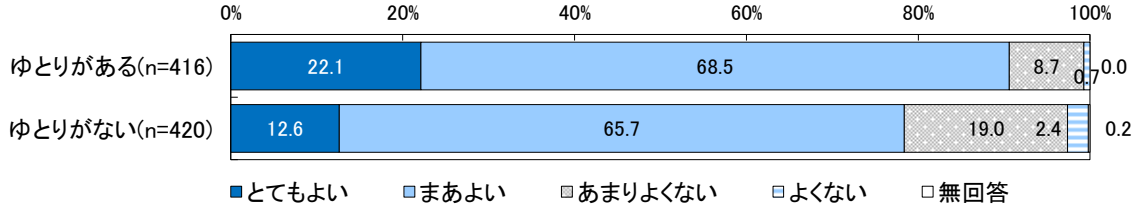
性・年齢別にみると、『よくない』と回答した人の割合は、女性高齢期で２割台となっている。

【主観的健康感（居住地域別）】



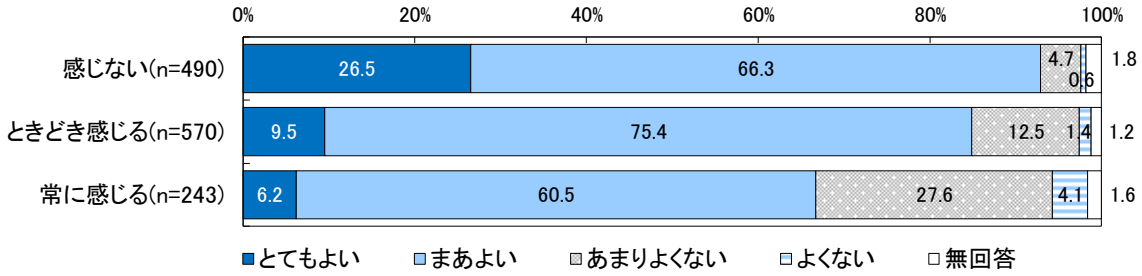
居住地域別にみると、『よい』と回答した人の割合は、岩国地域で 85.4%、由宇地域で 91.2%、玖河地域で 84.9%、周東地域で 81.9%、本郷・錦・美川・美和地域で 86.8%となっている。

【主観的健康感（経済的状況別）】



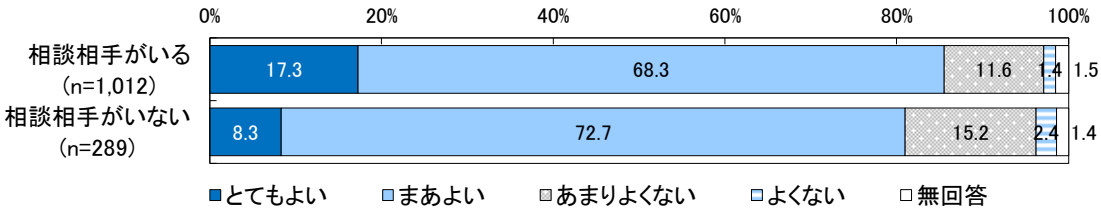
経済的状況別にみると、『よい』と回答した人の割合は、経済的にゆとりがある人で 90.6%、経済的にゆとりがない人で 78.3%となっている。

【主観的健康感（心の悩みやストレスの程度別）】



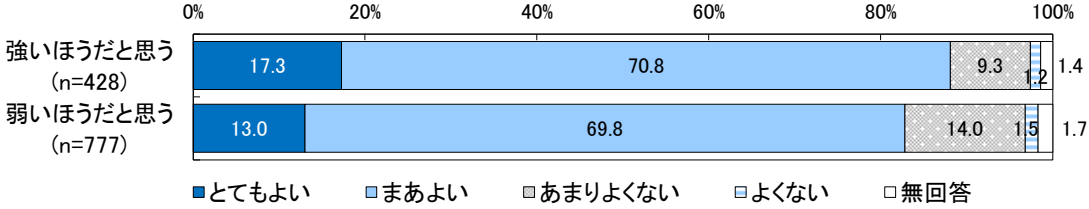
心の悩みやストレスの程度別にみると、『よくない』と回答した人の割合は、ストレスを感じる頻度が多いほど高く、心の悩みやストレスを「常に感じる」人では３割台となっている。

【主観的健康感（相談相手の有無別）】



相談相手の有無別にみると、相談相手がいない人は『よくない』と回答した人の割合が 17.6%となっている。

【主観的健康感（地域の人とのつながりの程度別）】



地域の人とのつながりの程度別にみると、『よい』と回答した人の割合は、つながりが強い方だと思う人で 88.1%、つながりが弱い方だと思う人で 82.8%となっている。

【評価指標】

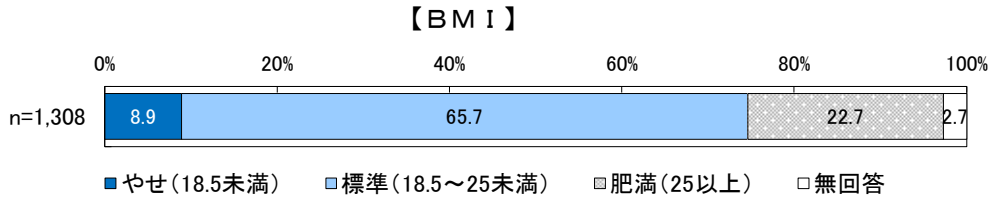
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
自分の健康状態を「よい」と感じている市民の割合	84.1%	82.1%	84.4%	88.0%

自分の健康状態を「よい」と感じている人の割合は、目標値に達していない。

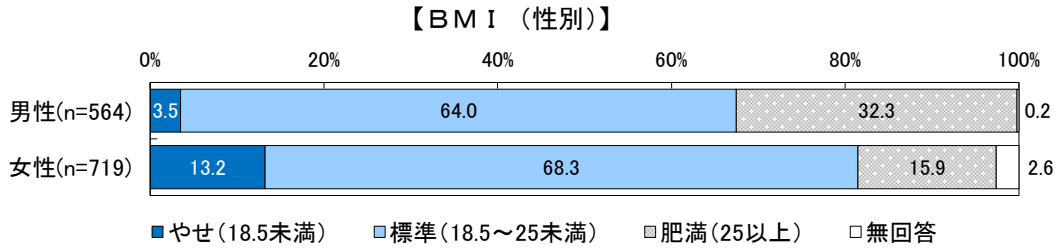
(2) ＢＭＩ

問１（３）　身体状況
身長（　　.　　）cm
体重（　　.　　）kg　　理想とする体重（　　.　　）kg

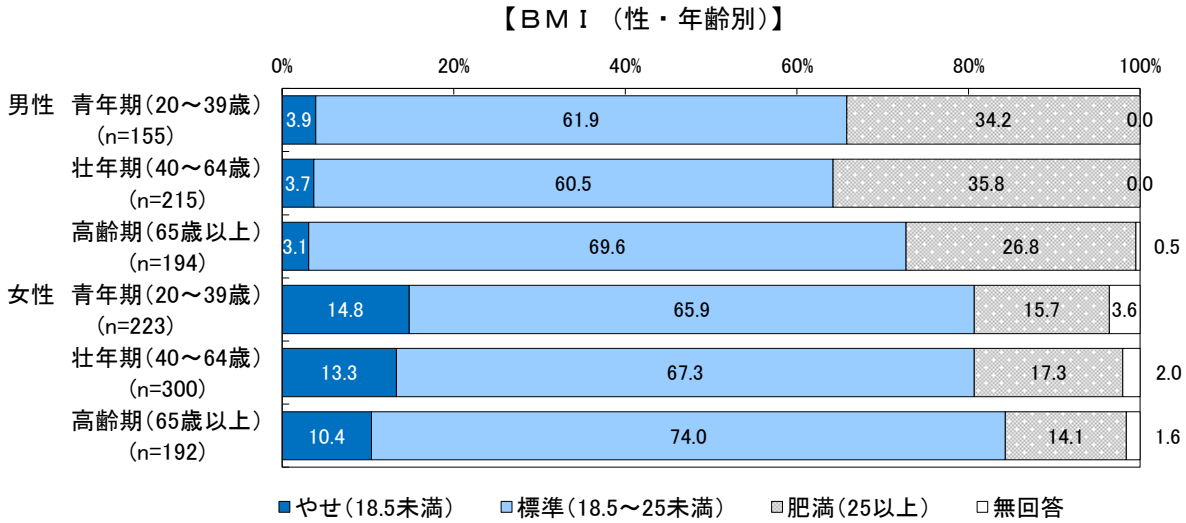
身長と体重を問う設問の回答により、ＢＭＩを算出した。



ＢＭＩについて、「やせ」に該当する人の割合が 8.9%、「肥満」に該当する人の割合が 22.7%となっている。



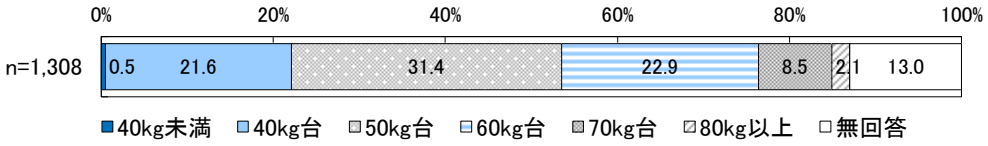
性別にみると、「やせ」に該当する人の割合は男性で 3.5%、女性で 13.2%、「肥満」に該当する人の割合は男性で 32.3%、女性で 15.9%となっている。



性・年齢別にみると、「やせ」に該当する人の割合は、女性青年期で 14.8%、女性壮年期で 13.3%、「肥満」に該当する人の割合は、男性壮年期で 35.8%、男性青年期で 34.2%となっている。

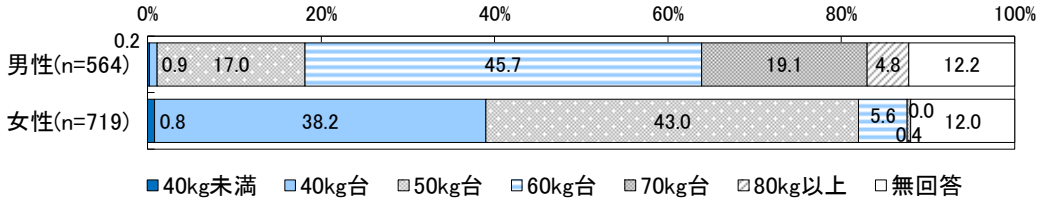
(3) 理想とする体重と適正体重

【理想とする体重】



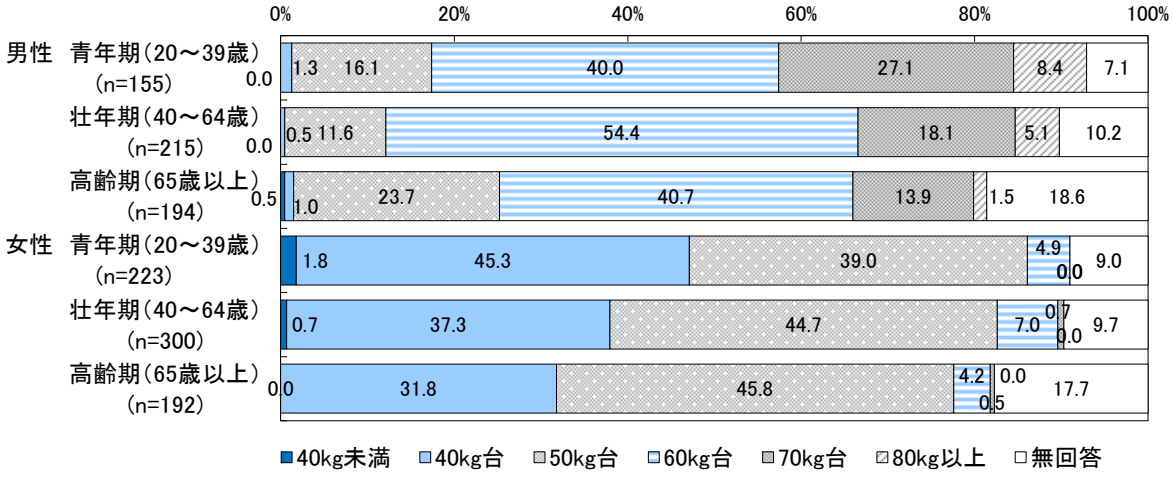
理想とする体重について、「50kg 台」と回答した人の割合が 31.4%となっている。

【理想とする体重（性別）】



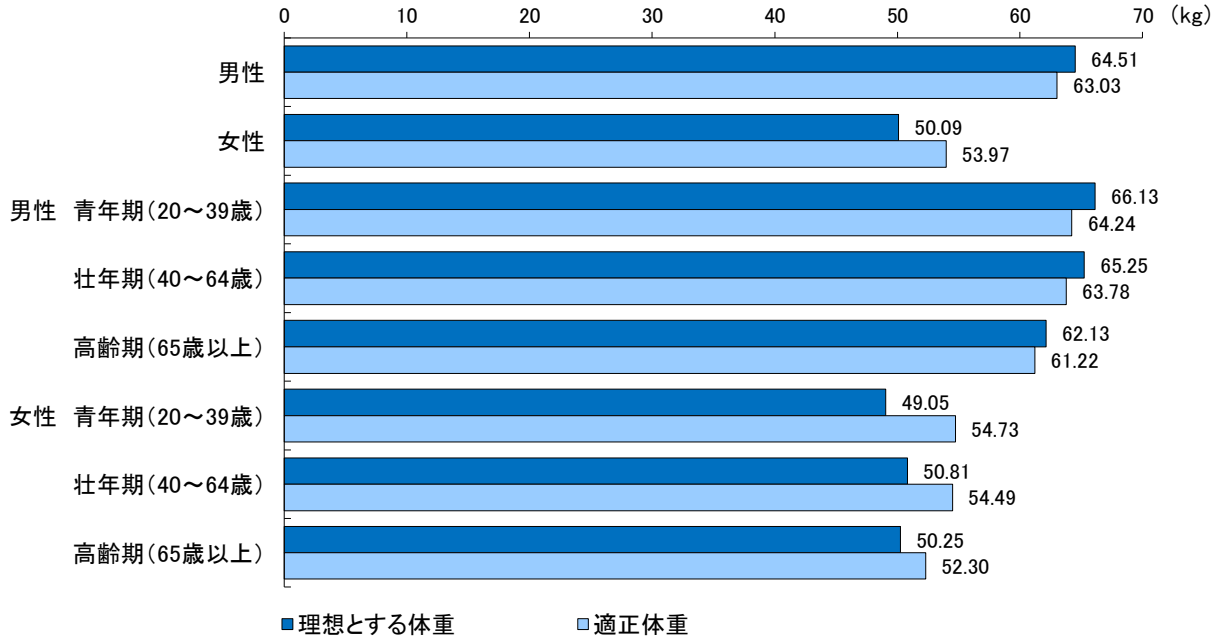
性別にみると、男性は「60kg 台」と回答した人の割合が 45.7%、女性は「40kg 台」と回答した人の割合が 38.2%となっている。

【理想とする体重（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、男性壮年期で「60kg 台」と回答した人の割合が 54.4%、女性青年期で「40kg 台」と回答した人の割合が 45.3%となっている。

【理想とする体重（平均）と身長から算出する適正体重*（平均）（性別/性・年齢別）】

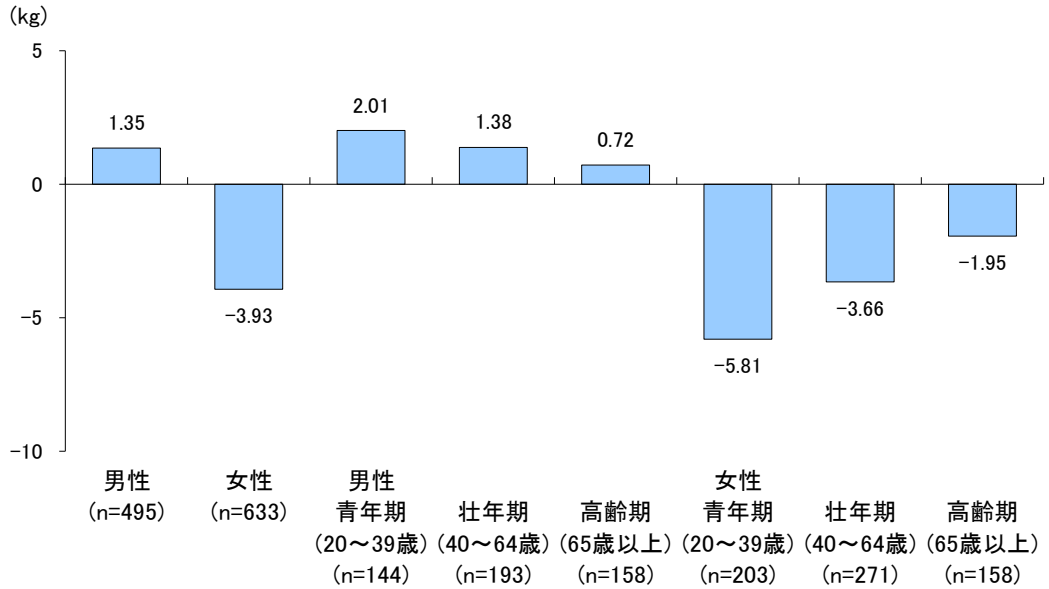


*適正体重(kg)=身長(m)×身長(m)×22

理想とする体重と身長から算出する適正体重について、性別にみると、女性が男性よりも理想とする体重と適正体重の差が大きくなっている。

性・年齢別にみると、女性はいずれの年齢層においても理想とする体重が適正体重よりも軽くなっている。

【理想とする体重と適正体重の差（性別/性・年齢別）】



理想とする体重と適正体重の差について、性別にみると、女性で理想とする体重が適正体重よりも約４kg 軽くなっている。

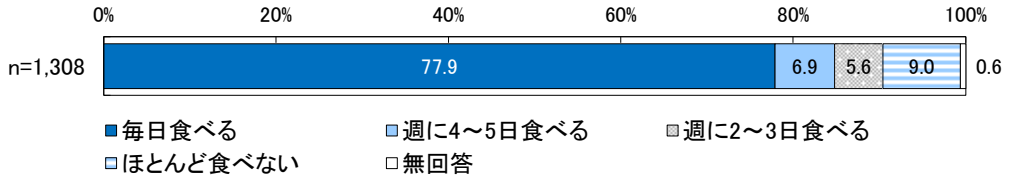
性・年齢別にみると、女性青年期で理想とする体重が適正体重よりも５kg 以上軽くなっている。

3　栄養・食生活

(1)　朝食の摂取状況

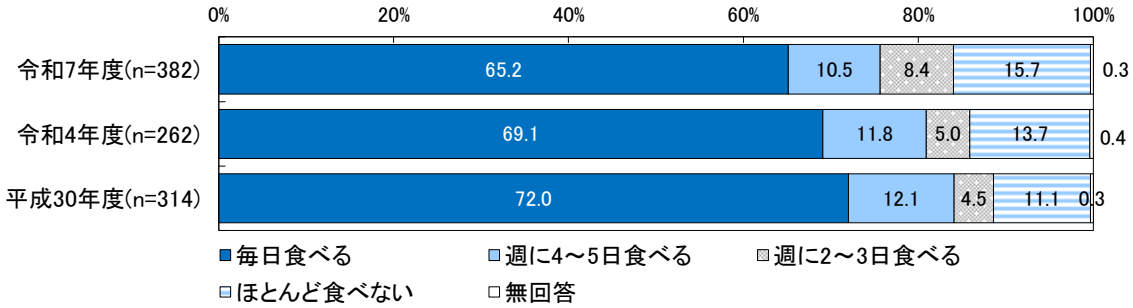
問６　あなたは、普段朝食を食べますか。【○は１つ】

【朝食の摂取状況】



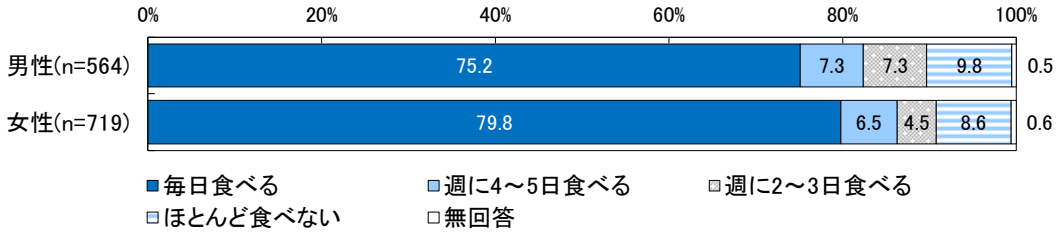
朝食の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した人の割合が 77.9%、「ほとんど食べない」と回答した人の割合が 9.0%となっている。

【朝食の摂取状況（20～39 歳）（経年比較）】



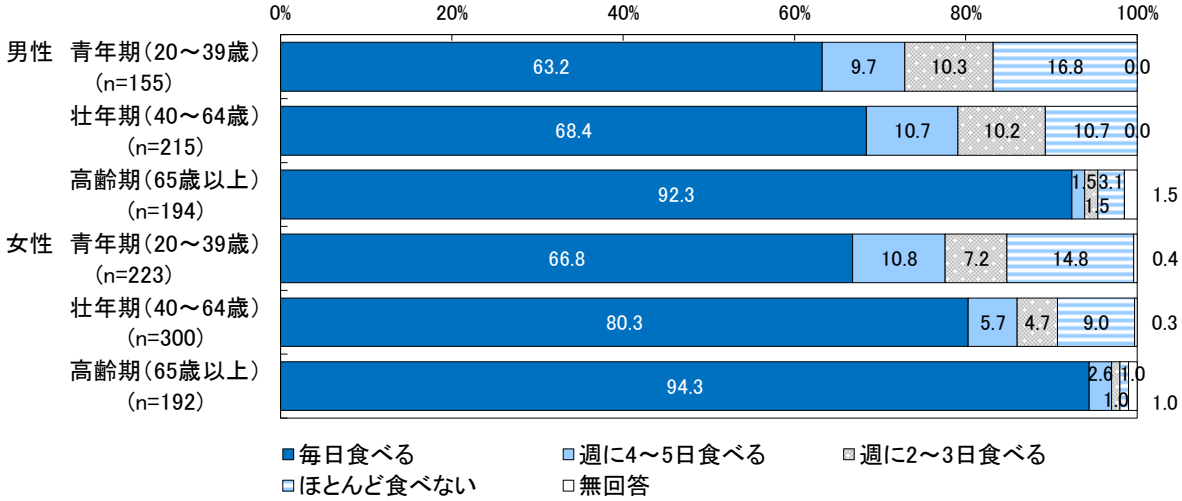
青年期（20～39 歳）について経年比較すると、「毎日食べる」と回答した人の割合は、低下し、「ほとんど食べない」と回答した人の割合が上昇している。

【朝食の摂取状況（性別）】



性別にみると、「毎日食べる」と回答した人の割合は、男女ともに７割台となっている。

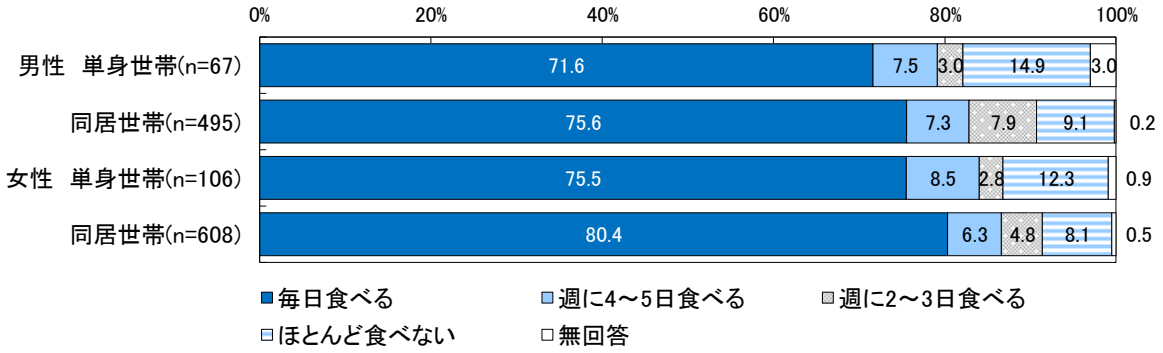
【朝食の摂取状況（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「毎日食べる」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で９割台となっている。

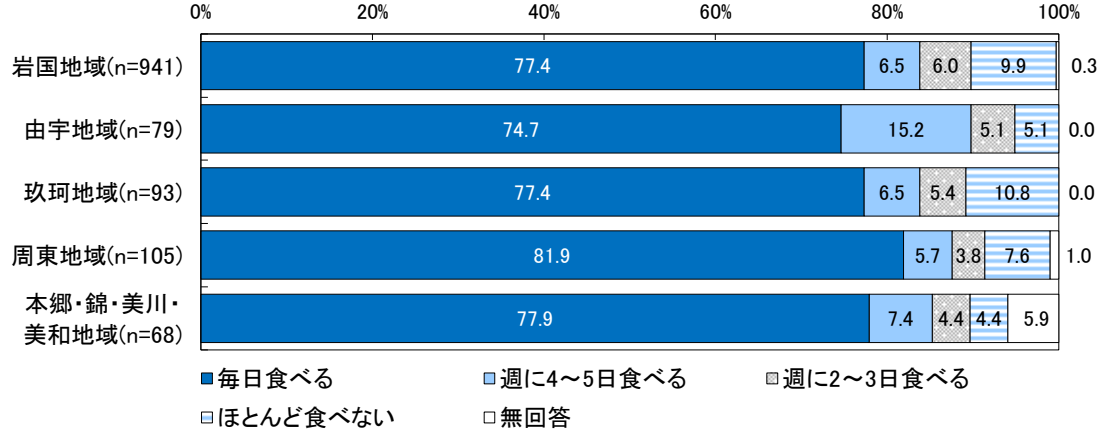
また、「ほとんど食べない」と回答した人の割合は、男性青年期で 16.8%、女性青年期で 14.8%となっている。

【朝食の摂取状況（性・家族構成別）】



性・家族構成別にみると、「ほとんど食べない」と回答した人の割合は、男性単身世帯で 14.9%、女性単身世帯で 12.3%となっている。

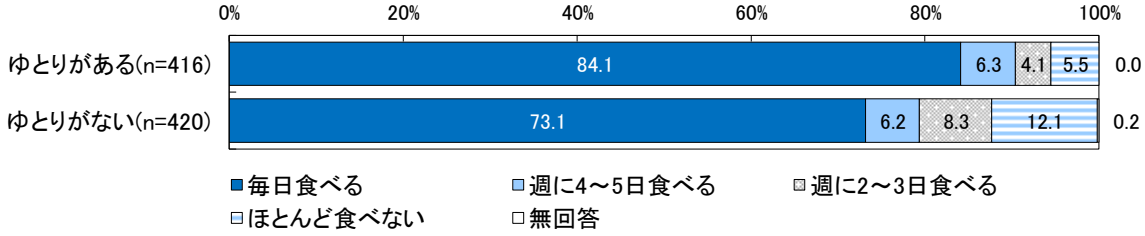
【朝食の摂取状況（居住地域別）】



居住地域別にみると、「毎日食べる」と回答した人の割合は、岩国地域で 77.4%、由宇地域で 74.7%、玖珂地域で 77.4%、周東地域で 81.9%、本郷・錦・美川・美和地域で 77.9%となっている。

また、「ほとんど食べない」と回答した人の割合は、玖珂地域で 10.8%、岩国地域で 9.9%となっている。

【朝食の摂取状況（経済状況別）】



経済的状況別にみると、「毎日食べる」と回答した人の割合は、経済的にゆとりがある人で 84.1%、経済的にゆとりがない人で 73.1%となっている。

【評価指標】

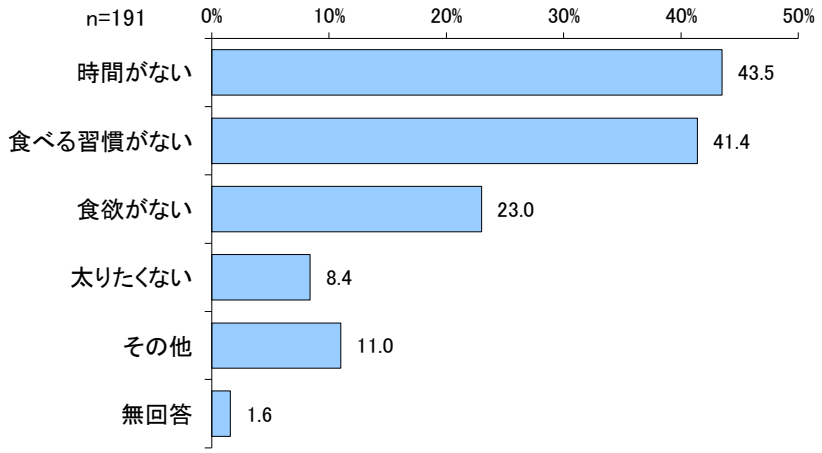
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
毎日朝食を食べている市民の割合（20～39 歳）	72.0%	69.1%	65.2%	85.0%

毎日朝食を食べている 20～39 歳の割合は、目標値に達していない。

問６で「３　週に２～３日食べる」、「４　ほとんど食べない」と回答した人のみ回答

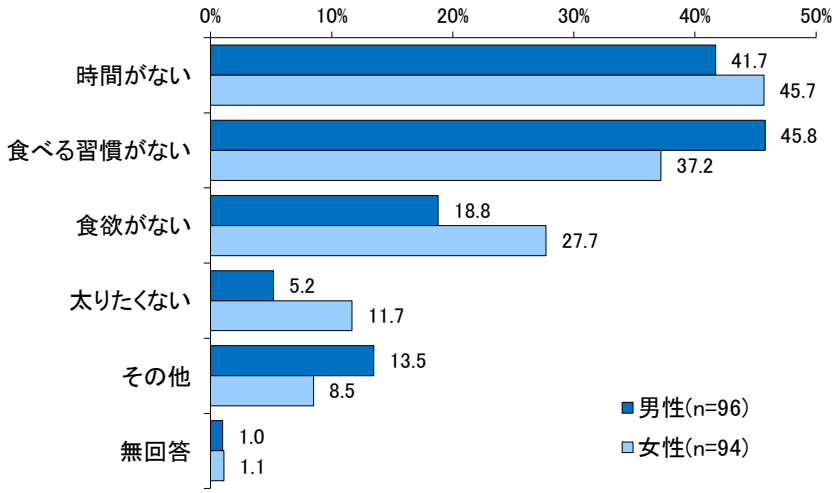
問６－１　その理由は何ですか。【○はあてはまるもの全て】

【朝食を食べる頻度が少ない理由】



朝食を食べる頻度が少ない理由について、「時間がない」と回答した人の割合が 43.5%と最も高く、「食べる習慣がない」（41.4%）、「食欲がない」（23.0%）が続いている。

【朝食を食べる頻度が少ない理由（性別）】



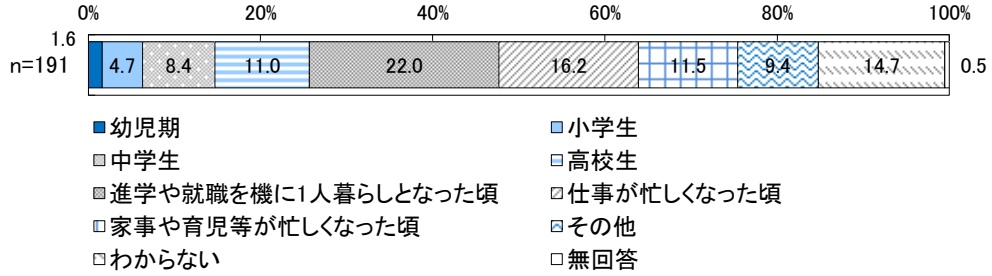
性別にみると、男女ともに「時間がない」と回答した人の割合が４割台で最も高くなっているが、「食べる習慣がない」と回答した人の割合も、男性で 45.8%となっている。

また、「食欲がない」と回答した人の割合は、女性で 27.7%となっている。

問６で「３　週に２～３日食べる」、「４　ほとんど食べない」と回答した人のみ回答

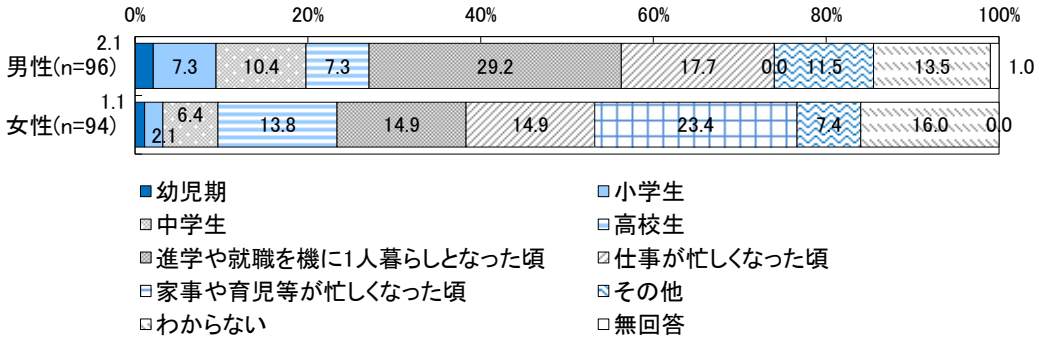
問６－２　朝食を食べなくなったのはいつ頃からですか。【○は１つ】

【朝食を食べなくなった時期】



朝食を食べなくなった時期について、「進学や就職を機に１人暮らしとなった頃」と回答した人の割合が 22.0%、「仕事が忙しくなった頃」と回答した人の割合が 16.2%となっている。

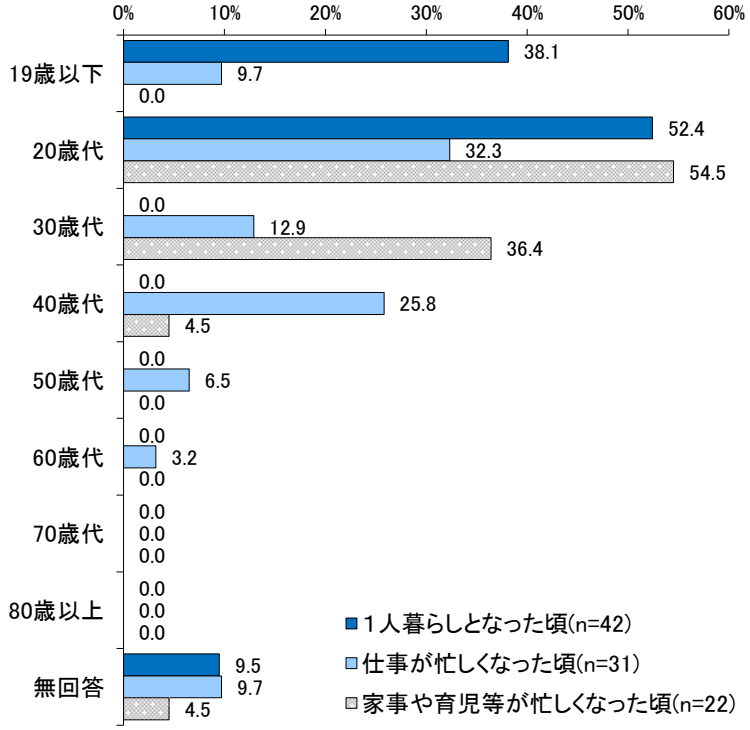
【朝食を食べなくなった時期（性別）】



性別にみると、男性では「進学や就職を機に１人暮らしとなった頃」と回答した人の割合が 29.2%と最も高くなっている。

また、女性では「家事や育児等が忙しくなった頃」と回答した人の割合が 23.4%と最も高くなっている。

【朝食を食べなくなった具体的年代】

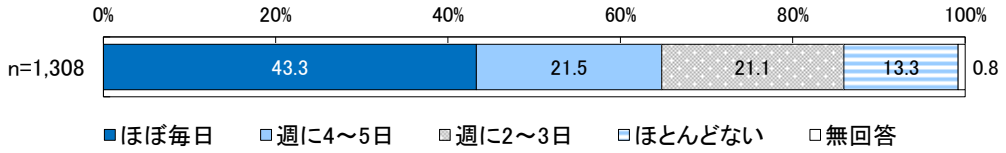


朝食を食べなくなった具体的年代について、1人暮らしとなった頃では「20歳代」と回答した人の割合が52.4%、仕事が忙しくなった頃では「20歳代」と回答した人の割合が32.3%、家事や育児等が忙しくなった頃では「20歳代」と回答した人の割合が54.5%と最も高くなっている。

(2)　主食、主菜、副菜をそろえて食べる状況

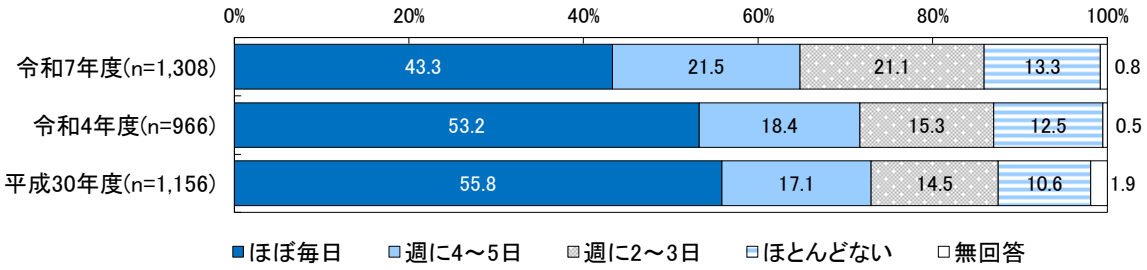
問７　あなたは、「主食、主菜、副菜」を３つそろえて食べることが１日２回以上あるのは、週に何日ありますか。【○は１つ】

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度】



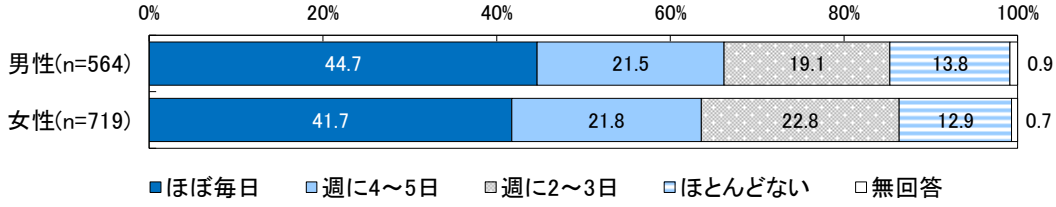
主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度について、「ほぼ毎日」と回答した人の割合が 43.3%、「週に４～５日」と回答した人の割合が 21.5%、「週に２～３日」と回答した人の割合が 21.1%となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（経年比較）】



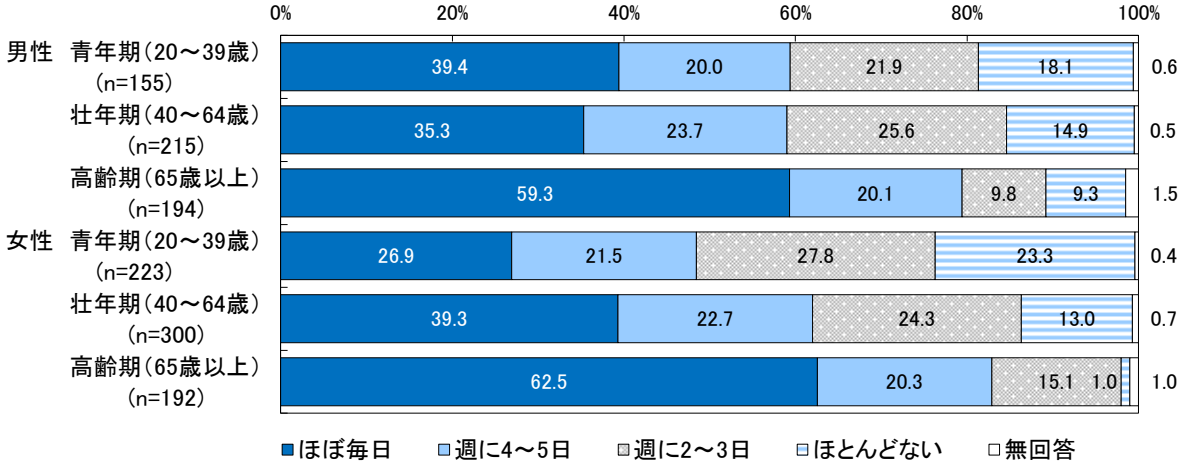
経年比較すると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、低下している。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（性別）】



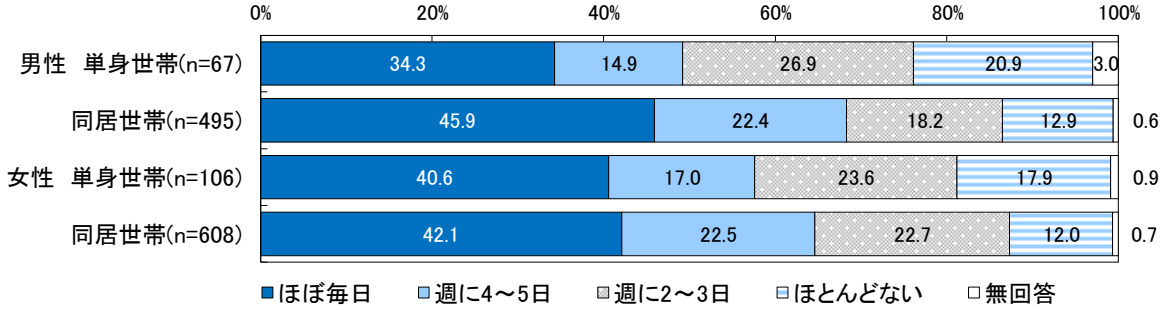
性別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、男女ともに４割台となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（性・年齢別）】



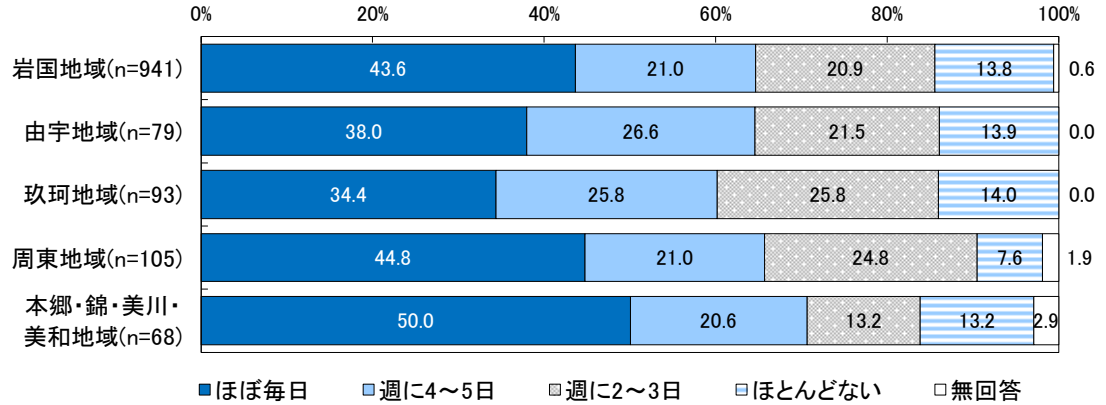
性・年齢別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、女性高齢期で６割台、男性高齢期で約６割となっており、『週に３日以下』と回答した人の割合は、女性青年期で５割を超えている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（性・家族構成別）】



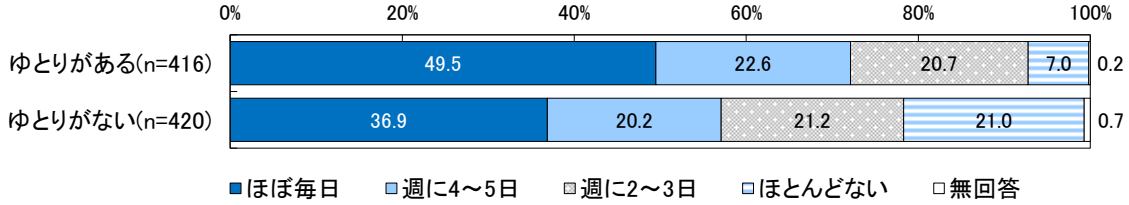
性・家族構成別にみると、『週に３日以下』と回答した人の割合は、男性単身世帯で 47.8%、女性単身世帯で 41.5%となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（居住地域別）】



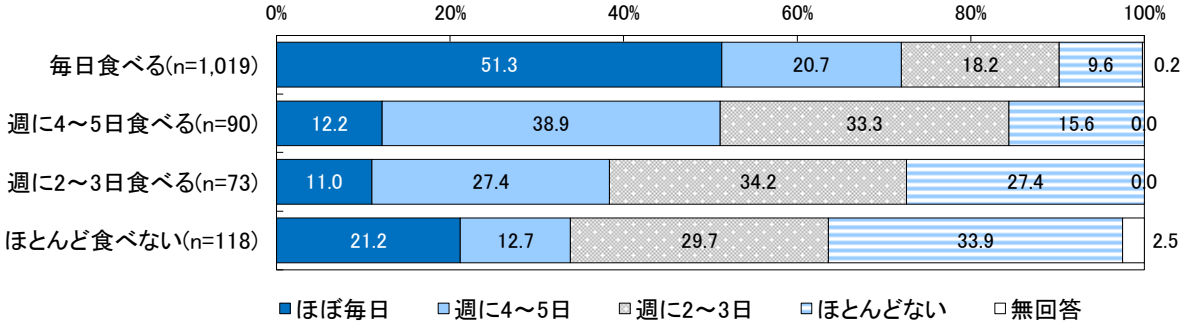
居住地域別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、岩国地域で 43.6%、由宇地域で 38.0%、玖珂地域で 34.4%、周東地域で 44.8%、本郷・錦・美川・美和地域で 50.0%となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（経済状況別）】



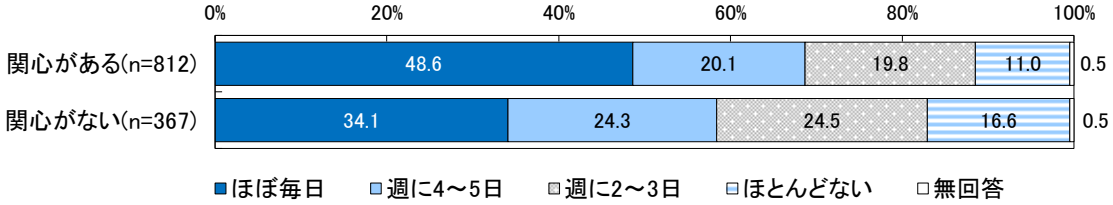
経済的状況別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、経済的にゆとりがある人で49.5%、経済的にゆとりがない人で36.9%となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（朝食の摂取状況別）】



朝食の摂取状況別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、朝食を毎日食べる人で51.3%、週に4～5日食べる人で12.2%、週に2～3日食べる人で11.0%、ほとんど食べない人で21.2%となっている。

【主食、主菜、副菜を１日２回以上そろえて食べる頻度（食育への関心度別）】



食育への関心度別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、食育に関心がある人で48.6%、食育に関心がない人で34.1%となっている。

【評価指標】

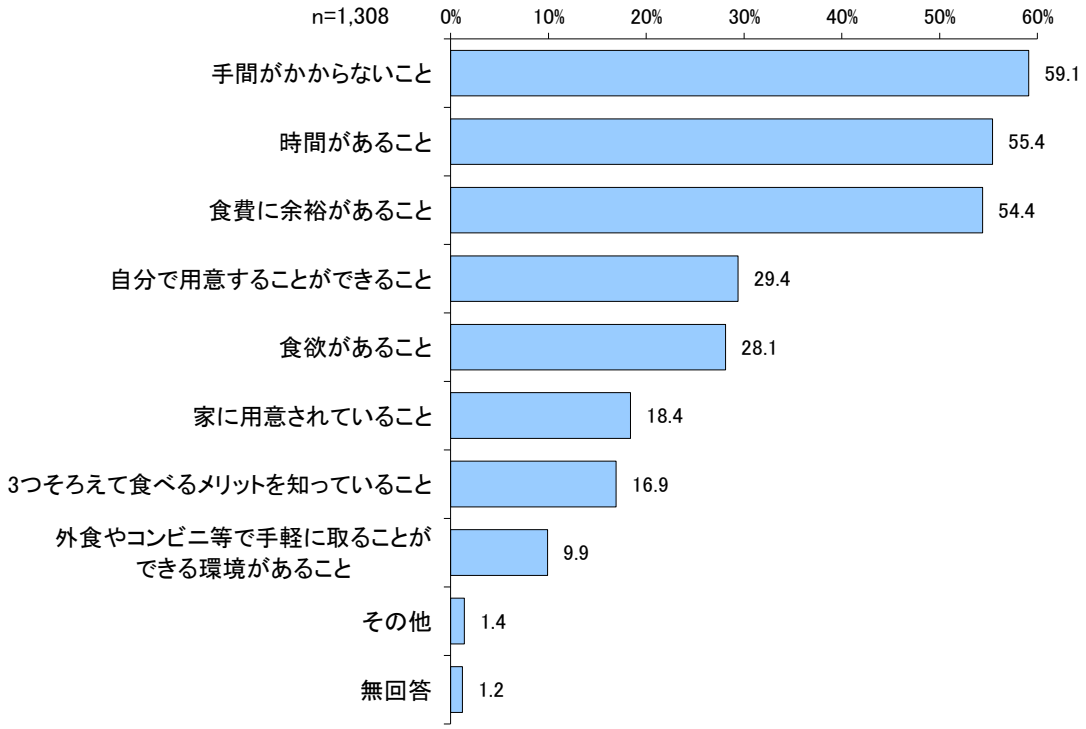
	平成30年度	令和4年度	令和7年度	目標値
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	55.8%	53.2%	43.3%	70.0%以上

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている人の割合は、目標値に達していない。

(3) 主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと

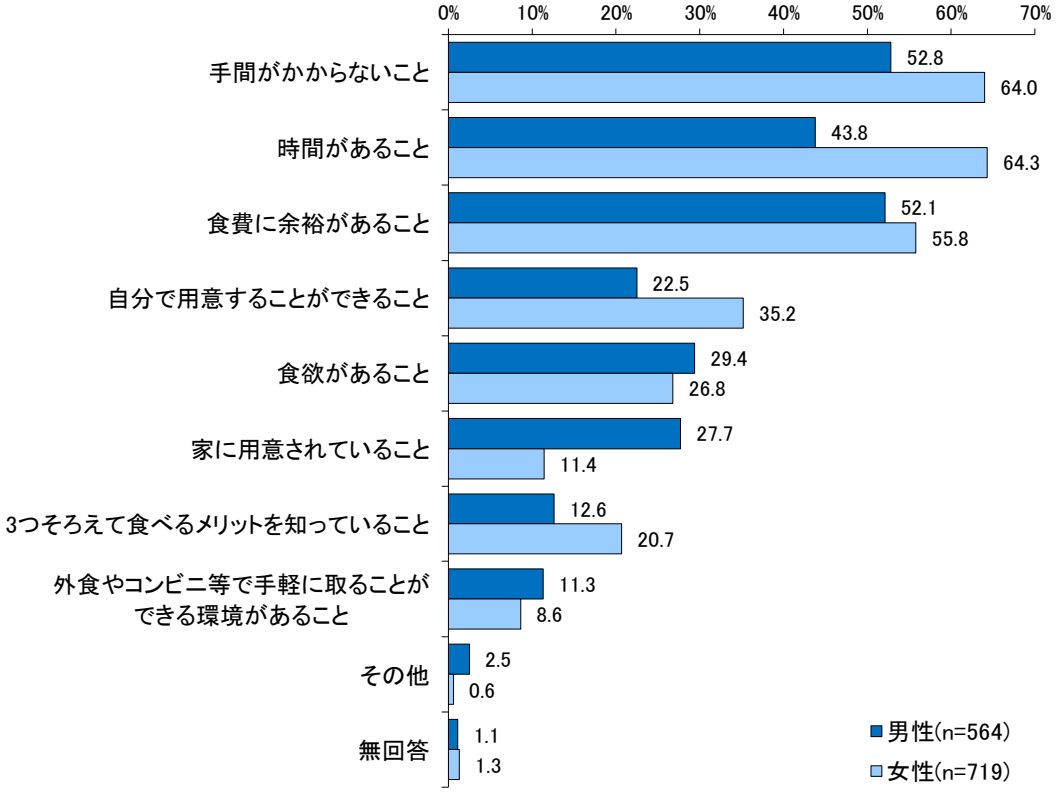
問８　あなたは、「主食・主菜・副菜」を３つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。【○はあてはまるもの全て】

【主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと】



主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なことについて、「手間がかからないこと」と回答した人の割合が 59.1％と最も高く、「時間があること」（55.4％）、「食費に余裕があること」（54.4％）が続いている。

【主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと（性別）】



性別にみると、「手間がかからないこと」、「時間があること」と回答した人の割合は、女性で６割を超えている。

【主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと（性・年齢別）】

	回答数	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること
男性　青年期（20～39歳）	155	56.1%	57.4%	60.0%	20.6%	19.4%
壮年期（40～64歳）	215	59.1%	47.4%	51.2%	19.1%	22.3%
高齢期（65歳以上）	194	43.3%	28.9%	46.9%	27.8%	45.4%
女性　青年期（20～39歳）	223	65.0%	77.6%	66.4%	28.3%	18.8%
壮年期（40～64歳）	300	70.3%	70.7%	61.0%	28.3%	22.3%
高齢期（65歳以上）	192	52.6%	38.5%	34.9%	54.2%	43.8%

	回答数	家に用意されていること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	外食やコンビニ等で手軽に取ることができる環境があること	その他	無回答
男性　青年期（20～39歳）	155	23.2%	7.7%	12.9%	1.9%	－
壮年期（40～64歳）	215	30.7%	9.8%	11.6%	2.8%	0.5%
高齢期（65歳以上）	194	27.8%	19.6%	9.8%	2.6%	2.6%
女性　青年期（20～39歳）	223	17.0%	13.9%	9.9%	－	－
壮年期（40～64歳）	300	10.3%	16.3%	8.3%	1.3%	0.7%
高齢期（65歳以上）	192	6.8%	35.9%	7.8%	－	3.6%

性・年齢別にみると、「手間がかからないこと」と回答した人の割合は、女性壮年期で 70.3%となっている。

「時間があること」と回答した人の割合は、女性青年期・壮年期で７割台となっている。

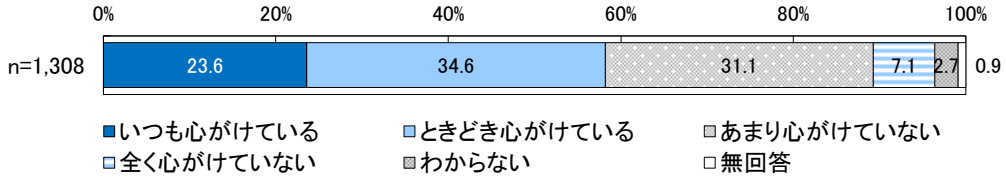
「食費に余裕があること」と回答した人の割合は、男性青年期、女性青年期・壮年期で６割台となっている。

「食欲があること」と回答した人の割合は、男性高齢期、女性高齢期で４割台となっている。

(4) 減塩の状況

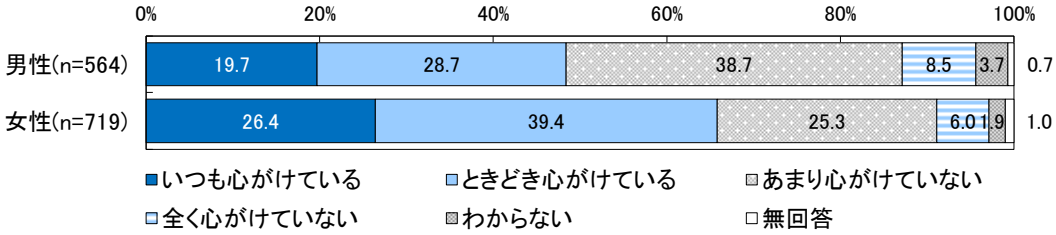
問９　あなたは、食塩の多い料理を控えることをどの程度心がけていますか。【○は１つ】

【食塩の多い料理を控えることの意識の程度】



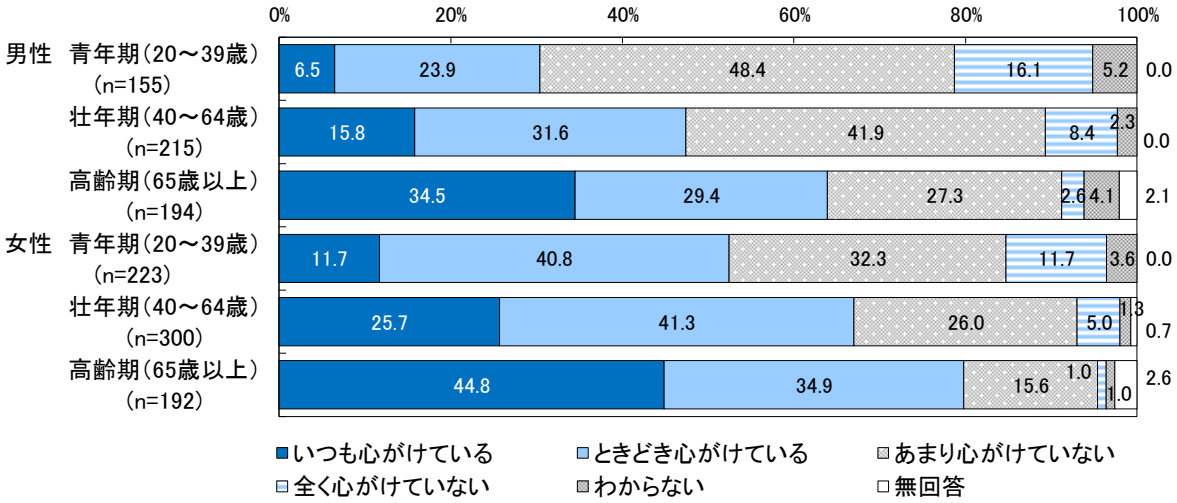
食塩の多い料理を控えることの意識の程度について、『心がけている』（「いつも心がけている」＋「ときどき心がけている」）と回答した人の割合が 58.2%、『心がけていない』（「全く心がけていない」＋「あまり心がけていない」）と回答した人の割合が 38.2%となっている。

【食塩の多い料理を控えることの意識の程度（性別）】



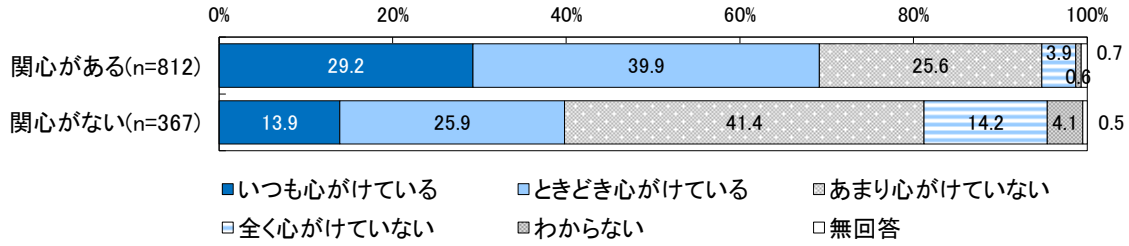
性別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男性で 48.4%、女性で 65.8%となっている。

【食塩の多い料理を控えることの意識の程度（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男性青年期で 30.4%、男性壮年期で 47.4%と低くなっている。

【食塩の多い料理を控えることの意識の程度（食育への関心度別）】

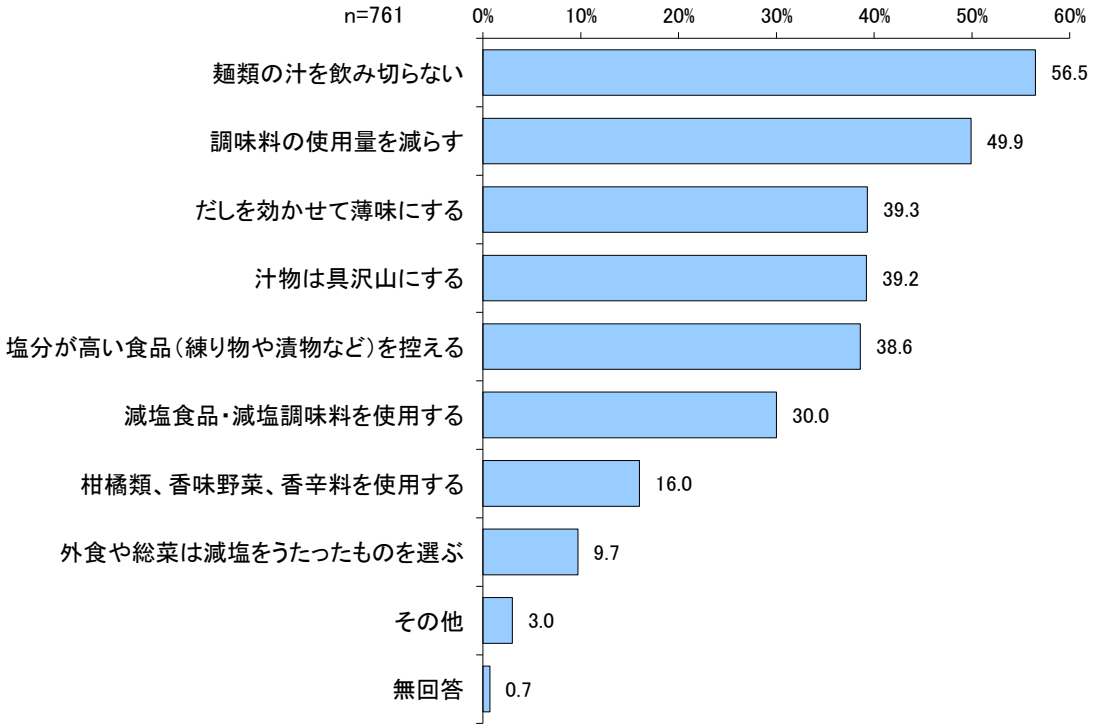


食育への関心度別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、食育に関心がある人で69.1%、食育に関心がない人で39.8%となっている。

問９で「１　いつも心がけている」、「２　ときどき心がけている」と回答した人のみが回答。

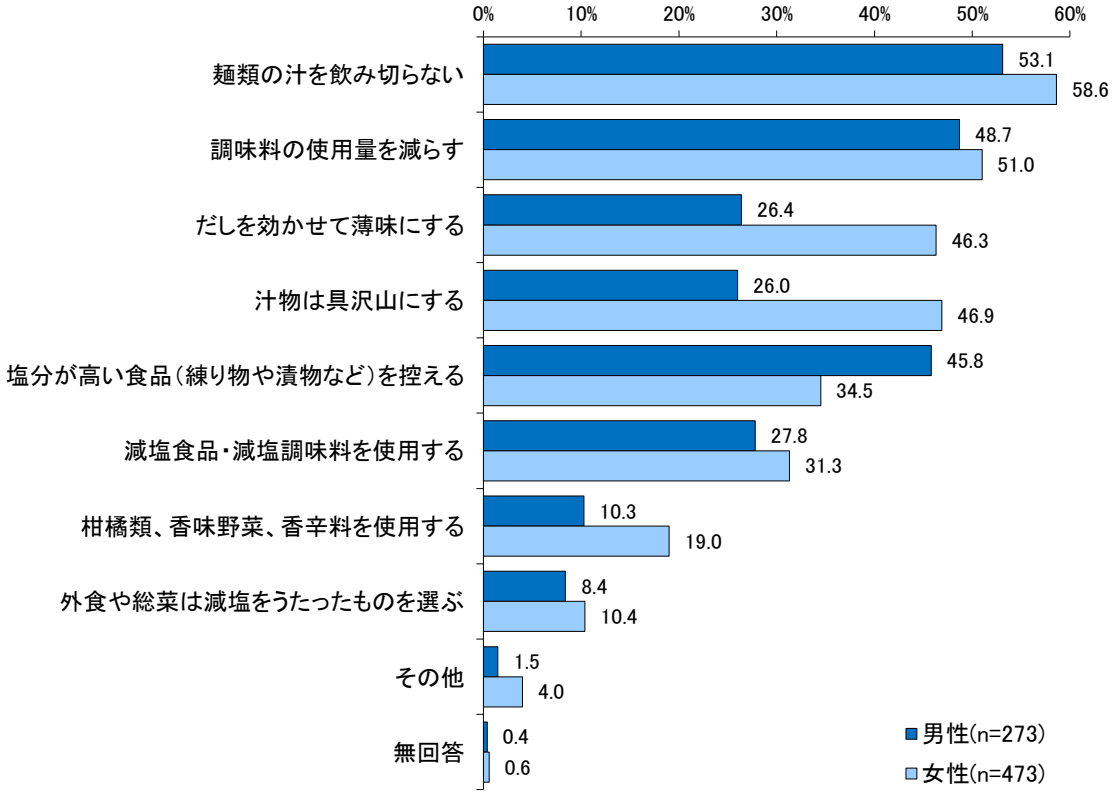
問９－１　あなたが減塩で取り組んでいることは何ですか。【○はあてはまるもの全て】

【減塩の取組内容】



減塩の取組内容について、「麺類の汁を飲み切らない」と回答した人の割合が 56.5%と最も高く、「調味料の使用量を減らす」（49.9%）、「だしを効かせて薄味にする」（39.3%）、「汁物は具沢山にする」（39.2%）、「塩分が高い食品（練り物や漬物など）を控える」（38.6%）が続いている。

【減塩の取組内容（性別）】



性別にみると、「だしを効かせて薄味にする」、「汁物は具沢山にする」と回答した人の割合は、女性で４割台となっている。

【減塩の取組内容（性・年齢別）】

	回答数	麺類の汁を飲み切らない	調味料の使用量を減らす	だしを効かせて薄味にする	汁物は具沢山にする	塩分が高い食品（練り物や漬物など）を控える
男性　青年期（20～39歳）	47	53.2%	53.2%	21.3%	19.1%	40.4%
壮年期（40～64歳）	102	54.9%	52.0%	29.4%	20.6%	34.3%
高齢期（65歳以上）	124	51.6%	44.4%	25.8%	33.1%	57.3%
女性　青年期（20～39歳）	117	65.8%	51.3%	29.1%	41.9%	18.8%
壮年期（40～64歳）	201	58.2%	47.3%	47.3%	46.3%	36.3%
高齢期（65歳以上）	153	52.9%	56.2%	57.5%	51.6%	44.4%

	回答数	減塩食品・減塩調味料を使用する	柑橘類、香味野菜、香辛料を使用する	外食や総菜は減塩をうたったものを選ぶ	その他	無回答
男性　青年期（20～39歳）	47	21.3%	10.6%	10.6%	－	－
壮年期（40～64歳）	102	33.3%	9.8%	7.8%	2.9%	－
高齢期（65歳以上）	124	25.8%	10.5%	8.1%	0.8%	0.8%
女性　青年期（20～39歳）	117	35.0%	10.3%	9.4%	0.9%	－
壮年期（40～64歳）	201	27.4%	18.9%	9.5%	6.5%	1.0%
高齢期（65歳以上）	153	33.3%	25.5%	12.4%	3.3%	0.7%

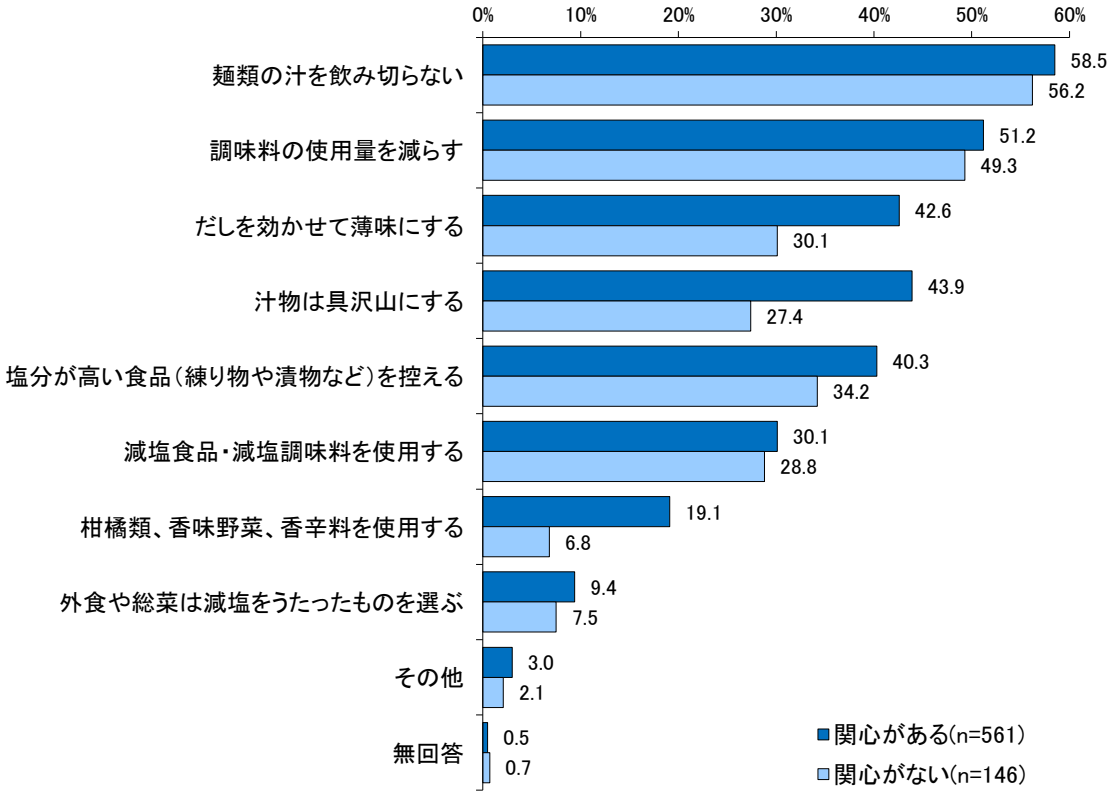
性・年齢別にみると、「麺類の汁を飲み切らない」、「調味料の使用量を減らす」と回答した人の割合は、男女ともにいずれの年齢層においても４～６割台となっている。

「だしを効かせて薄味にする」と回答した人の割合は、女性壮年期・高齢期で４～５割台となっている。

「汁物は具沢山にする」と回答した人の割合は、女性のいずれの年齢層においても４～５割台となっている。

「塩分が高い食品（練り物や漬物など）を控える」と回答した人の割合は、男性青年期・高齢期、女性高齢期で４～５割台となっている。

【減塩の取組内容（食育への関心度別）】

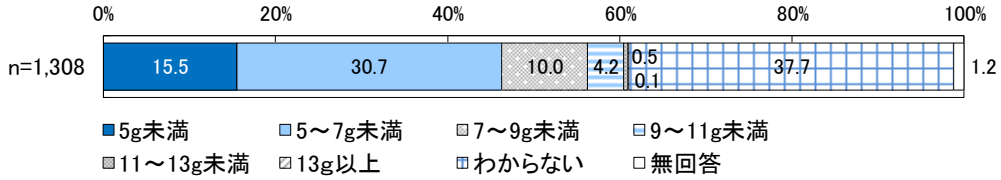


食育への関心度別にみると、「だしを効かせて薄味にする」、「汁物は具沢山にする」と回答した人の割合は、食育に関心がある人で４割台となっている。

(5) 適正と思う食塩摂取量

問 10　あなたは、自分にとって、ちょうどよい１日の食塩摂取量はどのくらいだと思いますか。
【○は１つ】

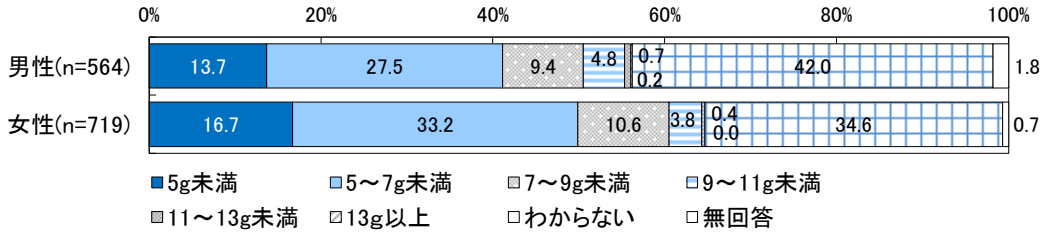
【適正と思う食塩摂取量】



適正と思う食塩摂取量について、『７ｇ未満』（「５ｇ未満」＋「５～７ｇ未満」）と回答した人の割合が 46.2%、『７ｇ以上』（「７～９ｇ未満」＋「９～11ｇ未満」＋「11～13ｇ未満」＋「13ｇ以上」）と回答した人の割合が 14.8%となっている。

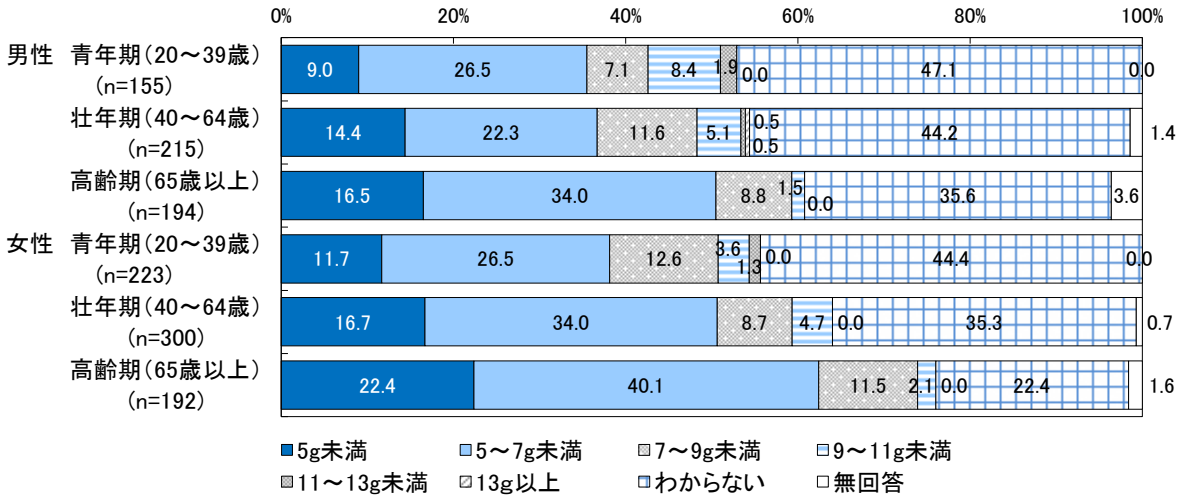
また、「わからない」と回答した人の割合が 37.7%となっている。

【適正と思う食塩摂取量（性別）】



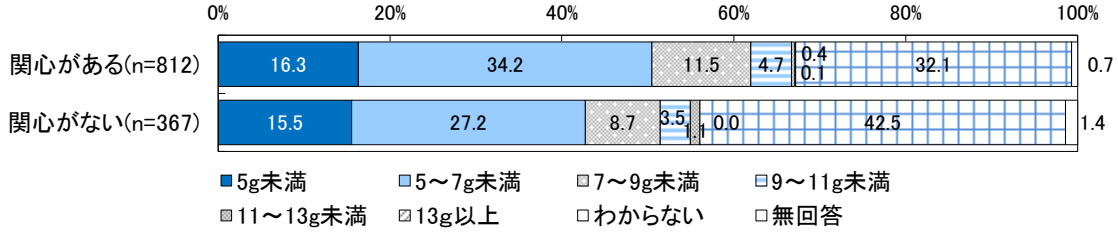
性別にみると、『７ｇ未満』と回答した人の割合は、男女ともに４割台となっている。

【適正と思う食塩摂取量（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『７ｇ未満』と回答した人の割合は、男女ともに年齢が上がるほど高くなっている。

【適正と思う食塩摂取量（食育への関心度別）】



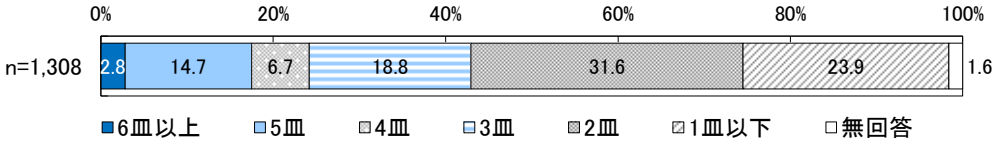
食育への関心度別にみると、『７ｇ未満』と回答した人の割合は、食育に関心がある人で50.5%、食育に関心がない人で42.7%となっている。

また、食育に関心がない人では「わからない」と回答した人の割合が 42.5%となっている。

(6)　野菜の摂取状況

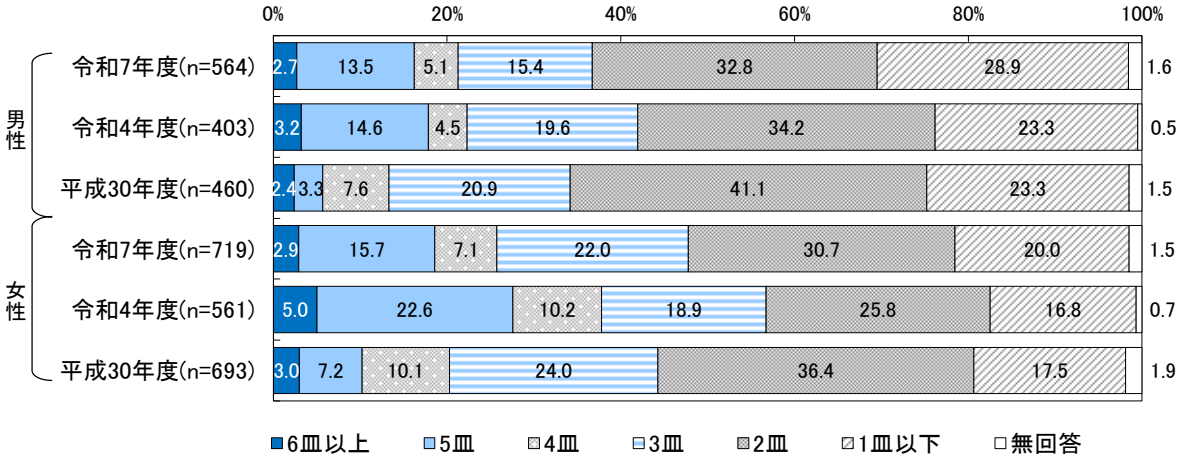
問 11　あなたは、普段１日に野菜料理（小鉢１皿 70ｇ程度）を何皿程度食べますか。
【○は１つ】

【１日に食べる野菜料理の量】



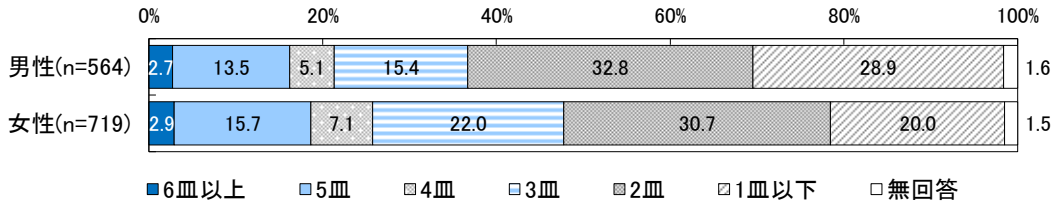
１日に食べる野菜料理の量について、『３皿以上』と回答した人の割合が 43.0%となっている。

【１日に食べる野菜料理の量（性別・経年比較）】



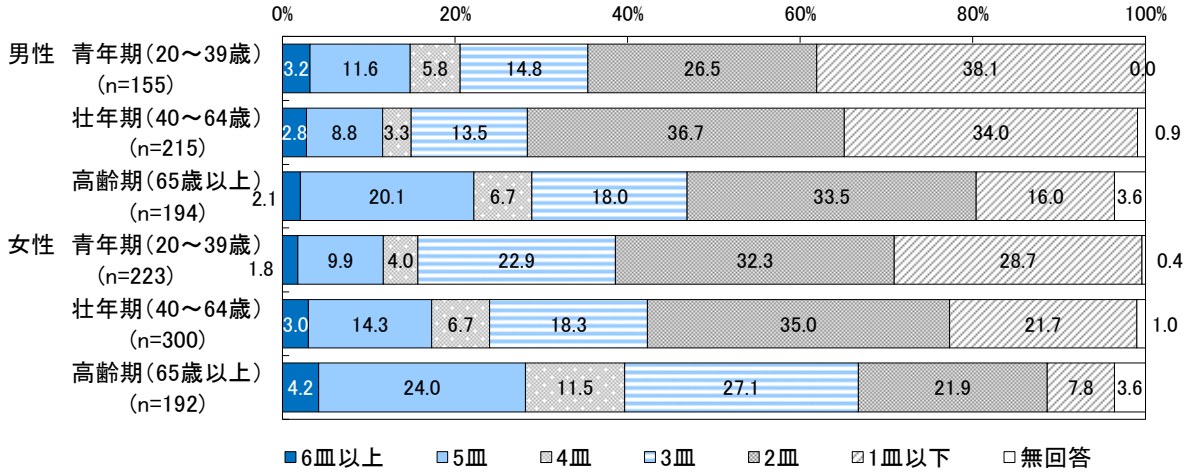
経年比較すると、『３皿以上』と回答した人の割合は、男女ともに令和４年度より低下している。

【１日に食べる野菜料理の量（性別）】



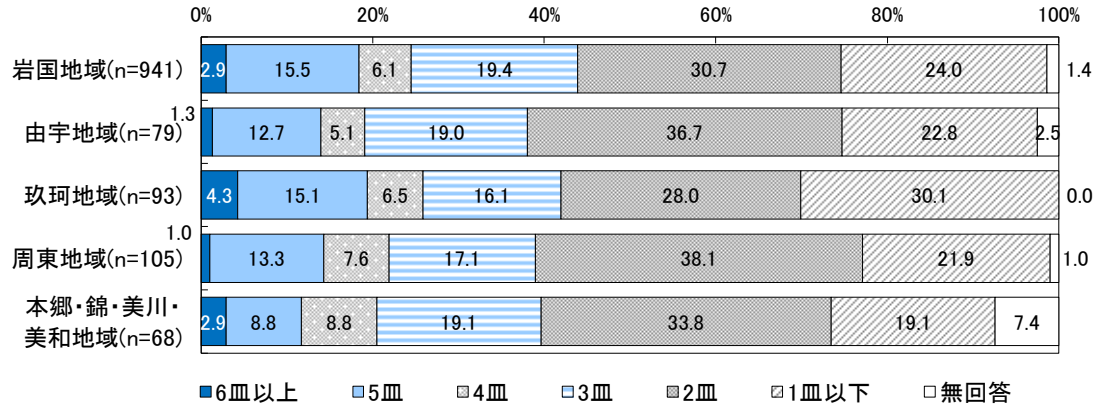
性別にみると、『３皿以上』と回答した人の割合は、男性で 36.7%、女性で 47.7%となっている。

【１日に食べる野菜料理の量（性・年齢別）】



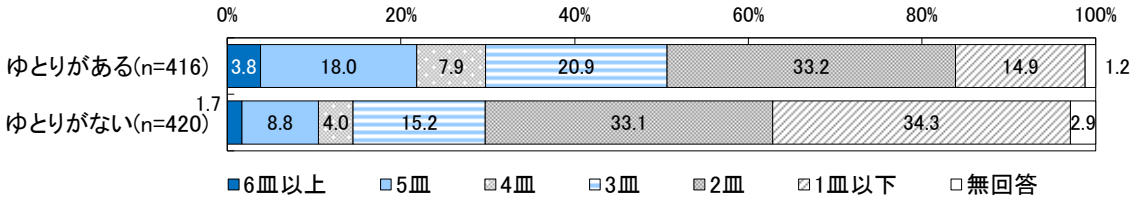
性・年齢別にみると、『３皿以上』と回答した人の割合は、男性壮年期で 28.4%、男性青年期で 35.4%、女性青年期で 38.6%となっている。

【１日に食べる野菜料理の量（居住地域別）】



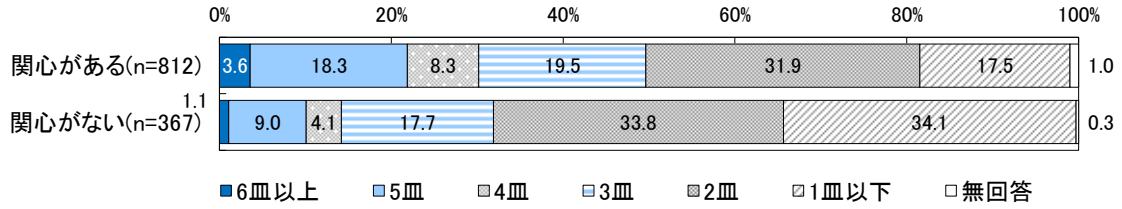
居住地域別にみると、『３皿以上』と回答した人の割合は、岩国地域で 43.9%、由宇地域で 38.1%、玖珂地域で 42.0%、周東地域で 39.0%、本郷・錦・美川・美和地域で 39.6%となっている。

【１日に食べる野菜料理の量（経済状況別）】



経済的状況別にみると、『３皿以上』と回答した人の割合は、経済的にゆとりがある人で 50.6%、経済的にゆとりがない人で 29.7%となっている。

【１日に食べる野菜料理の量（食育への関心度別）】



食育への関心度別にみると、『３皿以上』と回答した人の割合は、食育に関心がある人で49.7%、食育に関心がない人で31.9%となっている。

【評価指標】

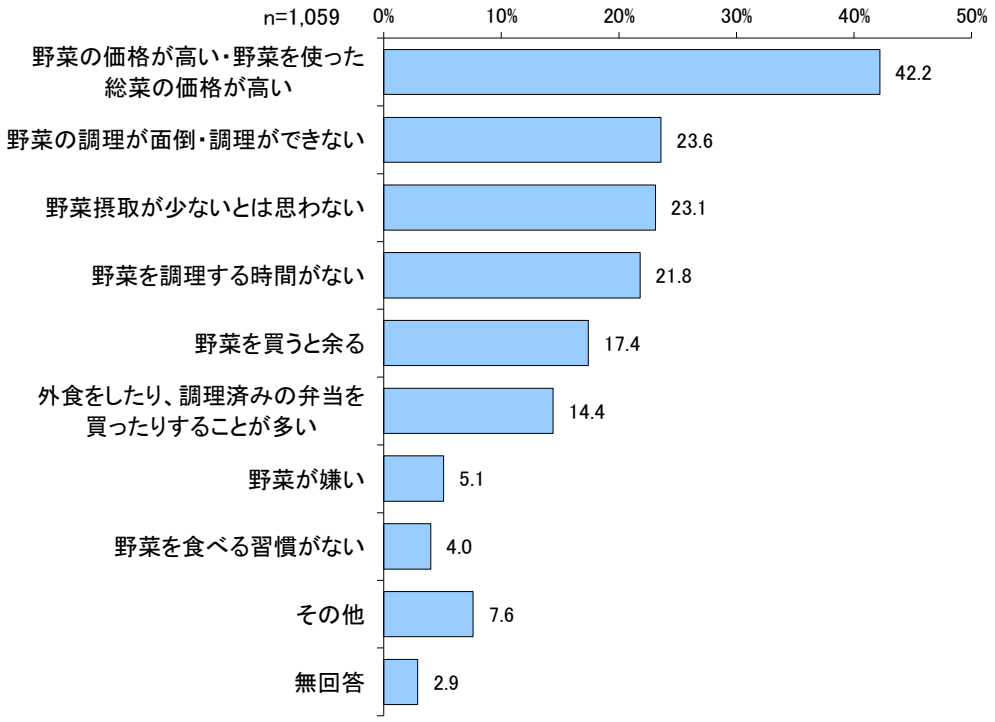
		平成30年度	令和4年度	令和7年度	目標値
野菜料理を１日３皿以上摂取する市民の割合	男性	34.2%	41.9%	36.7%	50.0%以上
	女性	44.3%	56.7%	47.7%	65.0%以上

野菜料理を１日３皿以上摂取する人の割合は、男女ともに目標値に達していない。

問 11 で３～６と回答した人のみ回答

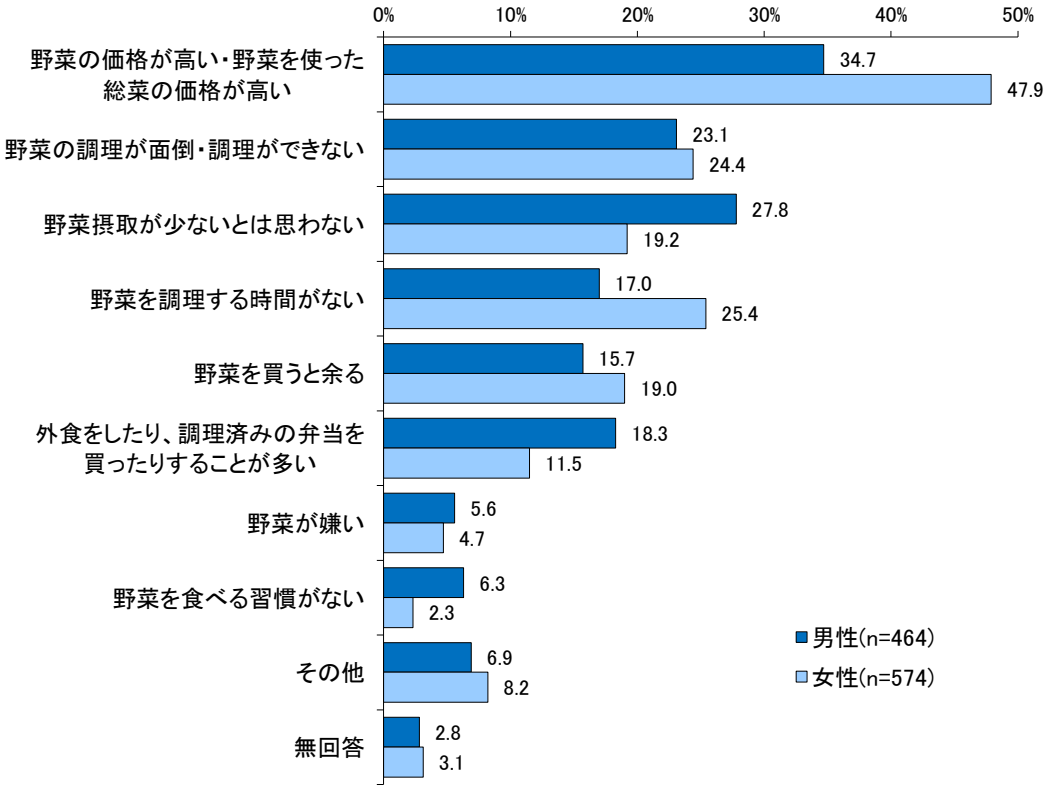
問 11－１　野菜摂取が少ない理由は何ですか。【○はあてはまるもの全て】

【野菜摂取が少ない理由】



野菜摂取が少ない理由について、「野菜の価格が高い・野菜を使った総菜の価格が高い」と回答した人の割合が 42.2％と最も高く、「野菜の調理が面倒・調理ができない」（23.6％）、「野菜摂取が少ないとは思わない」（23.1％）、「野菜を調理する時間がない」（21.8％）が続いている。

【野菜摂取が少ない理由（性別）】



性別にみると、「野菜の価格が高い・野菜を使った総菜の価格が高い」と回答した人の割合は、女性で 47.9%となっている。

「野菜摂取が少ないとは思わない」と回答した人の割合は、男性で 27.8%となっている。

「野菜を調理する時間がない」と回答した人の割合は、女性で 25.4%となっている。

【野菜摂取が少ない理由（性・年齢別）】

	回答数	野菜の価格が高い・野菜を使った総菜の価格が高い	野菜の調理が面倒・調理ができない	野菜摂取が少ないとは思わない	野菜を調理する時間がない	野菜を買うと余る
男性　青年期（20～39歳）	132	37.9%	21.2%	20.5%	21.2%	16.7%
壮年期（40～64歳）	188	35.6%	25.5%	23.9%	19.7%	12.8%
高齢期（65歳以上）	144	30.6%	21.5%	39.6%	9.7%	18.8%
女性　青年期（20～39歳）	196	50.5%	28.6%	12.2%	33.2%	19.4%
壮年期（40～64歳）	245	50.2%	23.3%	17.1%	28.6%	13.9%
高齢期（65歳以上）	131	39.7%	19.8%	33.6%	7.6%	28.2%

	回答数	外食をしたり、調理済みの弁当を買ったりすることが多い	野菜が嫌い	野菜を食べる習慣がない	その他	無回答
男性　青年期（20～39歳）	132	22.7%	6.1%	7.6%	8.3%	1.5%
壮年期（40～64歳）	188	19.1%	6.9%	8.0%	7.4%	－
高齢期（65歳以上）	144	13.2%	3.5%	2.8%	4.9%	7.6%
女性　青年期（20～39歳）	196	10.7%	8.2%	5.1%	5.1%	1.0%
壮年期（40～64歳）	245	13.5%	3.3%	0.8%	10.6%	2.9%
高齢期（65歳以上）	131	9.2%	2.3%	0.8%	8.4%	6.9%

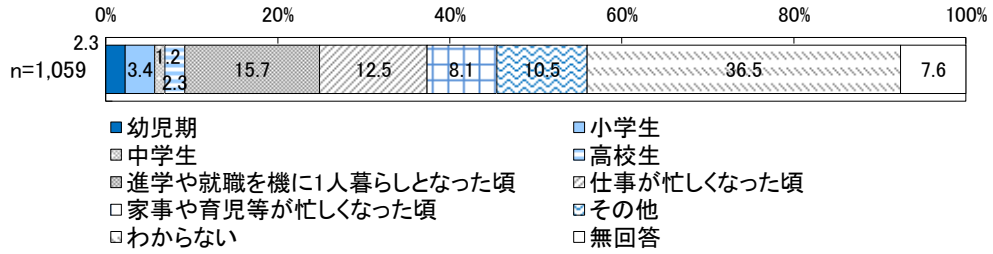
性・年齢別にみると、「野菜の価格が高い・野菜を使った総菜の価格が高い」と回答した人の割合は、女性青年期・壮年期で５割台となっている。

「野菜摂取が少ないとは思わない」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で３割台となっている。

問 11 で３～６と回答した人のみ回答

問 11－２　野菜をあまり食べなくなったのはいつ頃からですか。【○は１つ】

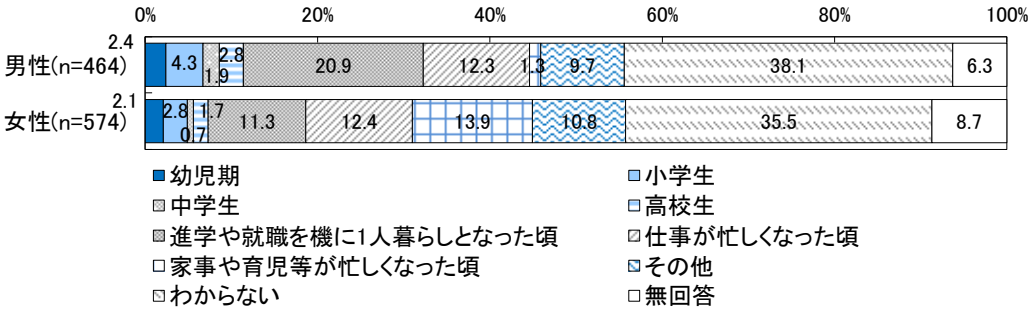
【野菜をあまり食べなくなった時期】



野菜をあまり食べなくなった時期について、「進学や就職を機に１人暮らしとなった頃」と回答した人の割合が 15.7%、「仕事が忙しくなった頃」と回答した人の割合が 12.5%となっている。

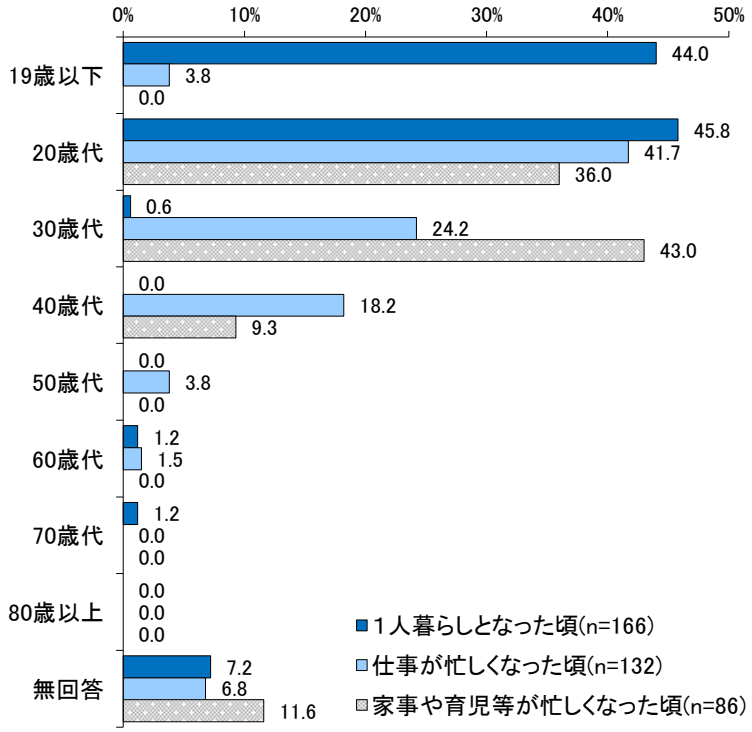
また、「わからない」と回答した人の割合が 36.5%となっている。

【野菜をあまり食べなくなった時期（性別）】



性別にみると、「進学や就職を機に１人暮らしとなった頃」と回答した人の割合は男性で 20.9%、「家事や育児等が忙しくなった頃」と回答した人の割合は女性で 13.9%となっている。

【野菜をあまり食べなくなった具体的年代】

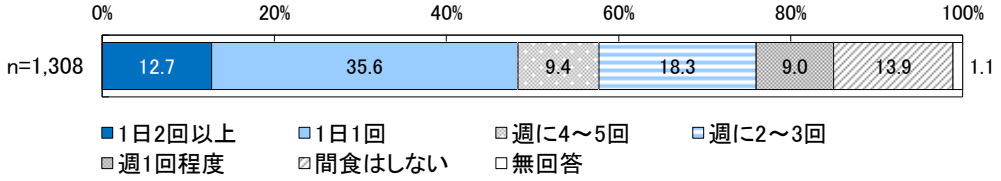


野菜をあまり食べなくなった具体的年代について、１人暮らしとなった頃では「20 歳代」と回答した人の割合が 45.8%、仕事が忙しくなった頃では「20 歳代」と回答した人の割合が 41.7%、家事や育児等が忙しくなった頃では「30 歳代」と回答した人の割合が 43.0%と最も高くなっている。

(7) 間食の頻度

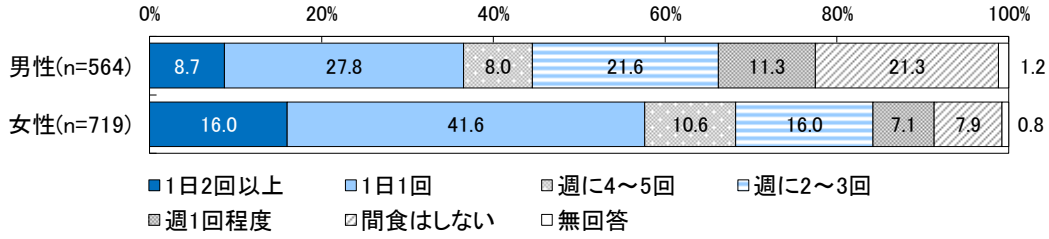
問 12　あなたは、朝・昼・夜の３食の食事以外に、どのくらいの頻度で間食をしますか。
【○は１つ】

【間食の頻度】



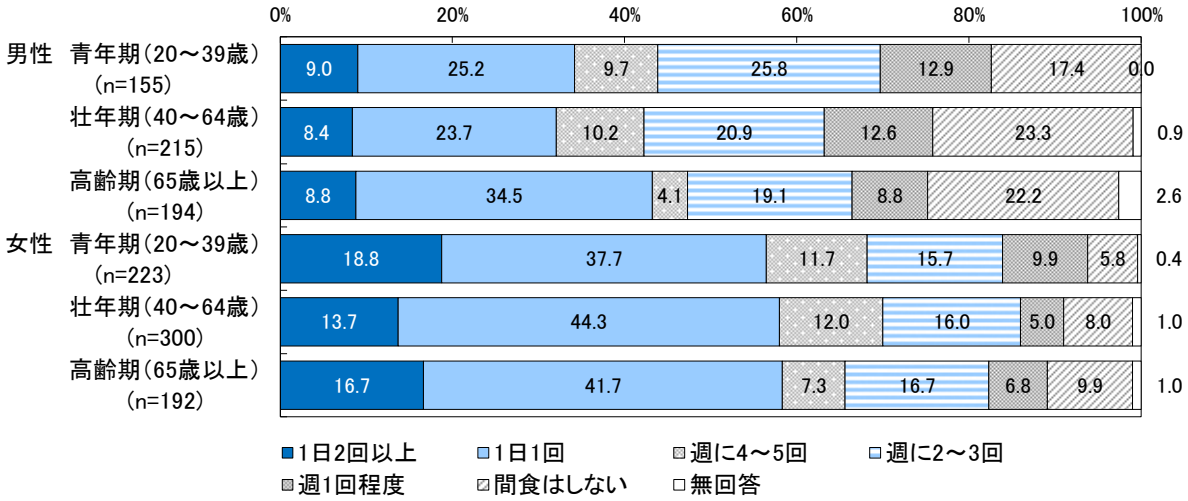
間食の頻度について、「１日２回以上」と回答した人の割合が 12.7%、「１日１回」と回答した人の割合が 35.6%となっている。

【間食の頻度（性別）】



性別にみると、「１日２回以上」と回答した人の割合は、男性で 8.7%、女性で 16.0%となっている。

【間食の頻度（性・年齢別）】

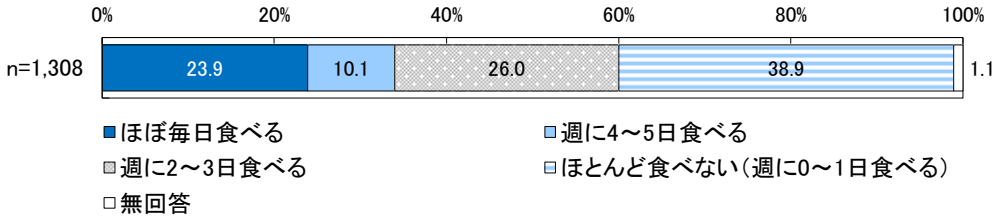


性・年齢別にみると、「１日２回以上」と回答した人の割合は、女性青年期で 18.8%、女性高齢期 16.7%となっている。

(8)　果物の摂取状況

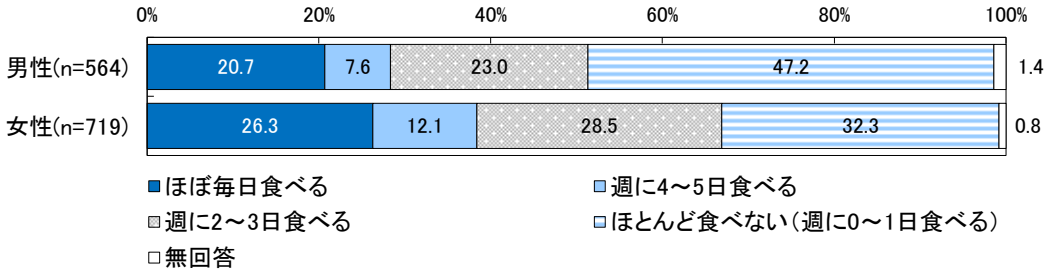
問 13　あなたは、普段果物を食べていますか。【○は１つ】

【果物の摂取頻度】



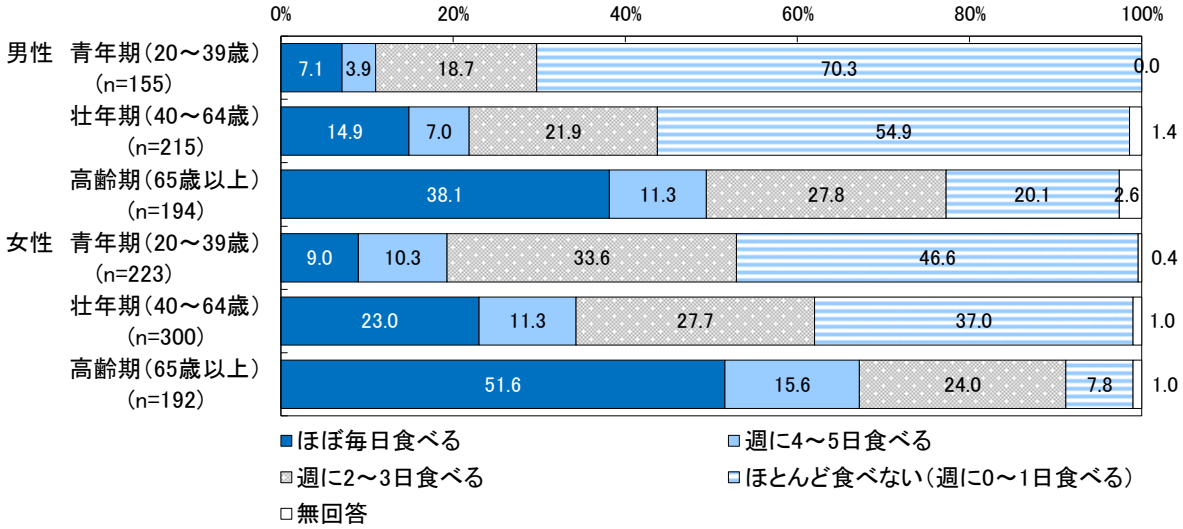
果物の摂取頻度について、「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合が 23.9%、「週に４～５日食べる」と回答した人の割合が 10.1%、「週に２～３日食べる」と回答した人の割合が 26.0%となっている。

【果物の摂取頻度（性別）】



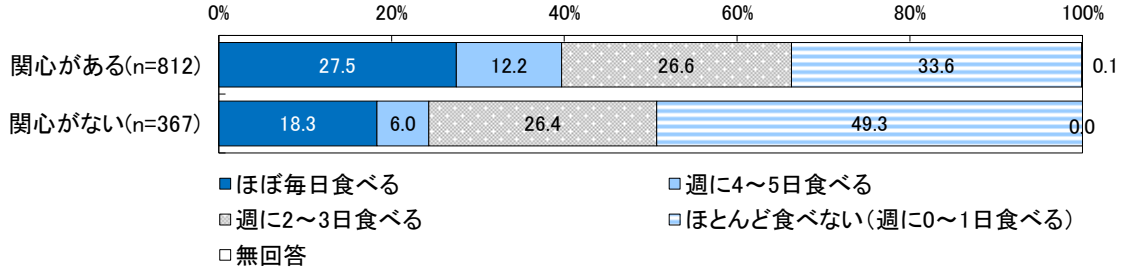
性別にみると、「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合は、男女ともに２割台となっている。

【果物の摂取頻度（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合は、男女ともに年齢が上がるほど高く、女性高齢期で 51.6%となっている。

【果物の摂取頻度（食育への関心度別）】

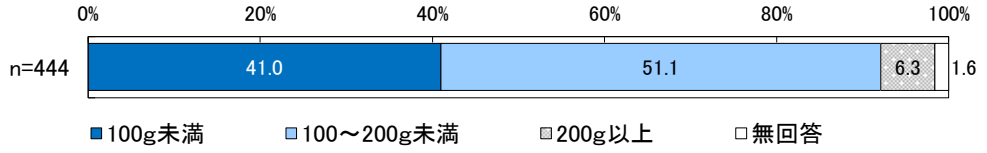


食育への関心度別にみると、「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合は、食育に関心がある人で 27.5%、食育に関心がない人で 18.3%となっている。

問 13 で「１　ほぼ毎日食べる」、「２　週に４～５日食べる」と回答した人のみが回答

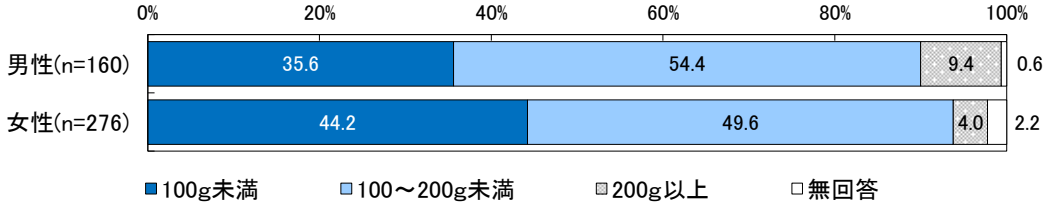
問 13－１　１日当たり、どのくらい食べますか。【○は１つ】

【１日に食べる果物の量】



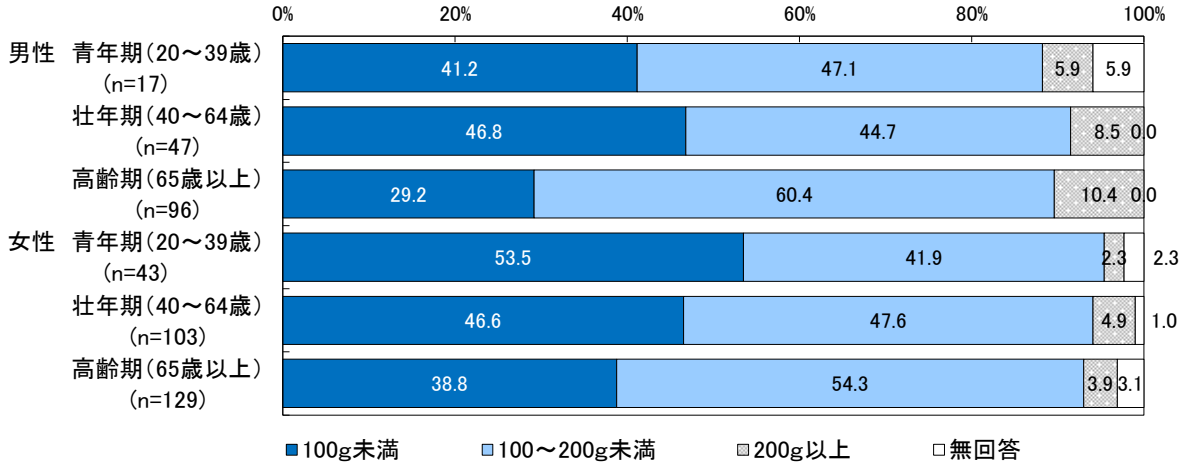
１日に食べる果物の量について、「100～200g 未満」と回答した人の割合が 51.1%となっている。

【１日に食べる果物の量（性別）】



性別にみると、「100～200g 未満」と回答した人の割合は、男性で 54.4%、女性で 49.6%となっている。

【１日に食べる果物の量（性・年齢別）】

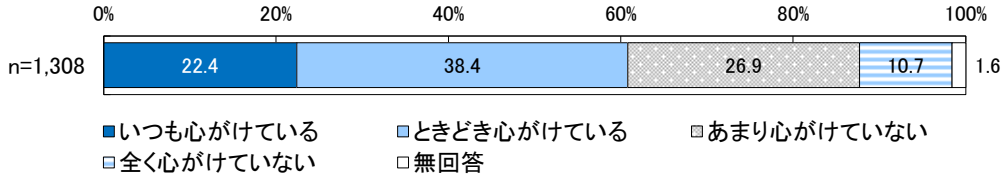


性・年齢別にみると、「100～200g 未満」と回答した人の割合は、男性高齢期で 60.4%、女性高齢期で 54.3%となっている。

(9)　適正体重維持の意識

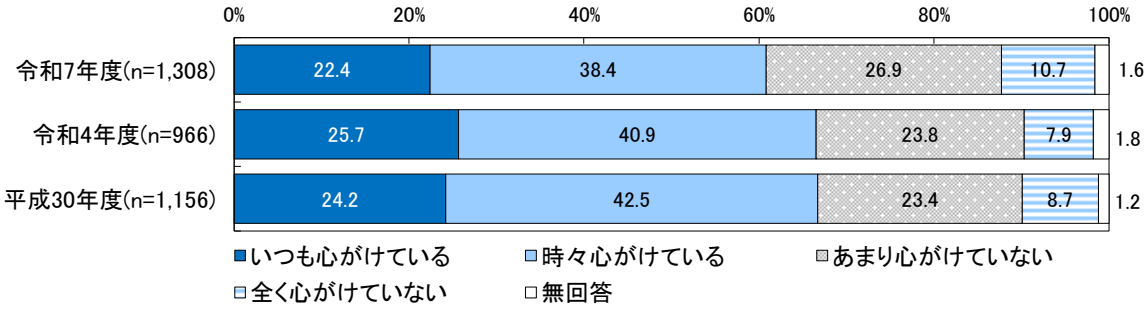
問 14　あなたは、「適正体重」を維持することをどの程度心がけていますか。【○は１つ】

【適正体重を維持することの意識の程度】



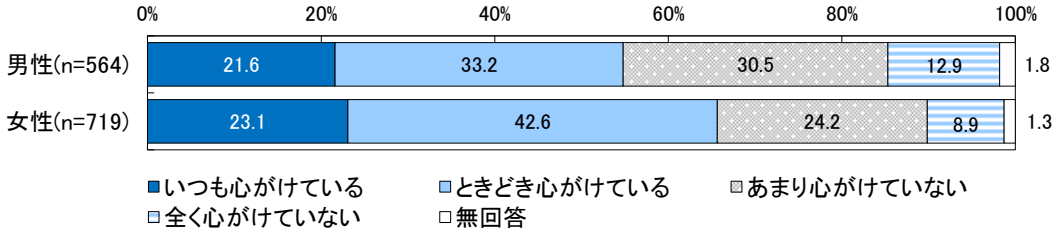
適正体重を維持することの意識の程度について、『心がけている』（「いつも心がけている」＋「ときどき心がけている」）と回答した人の割合が 60.8%、『心がけていない』（「全く心がけていない」＋「あまり心がけていない」）と回答した人の割合が 37.6%となっている。

【適正体重を維持することの意識の程度（経年比較）】



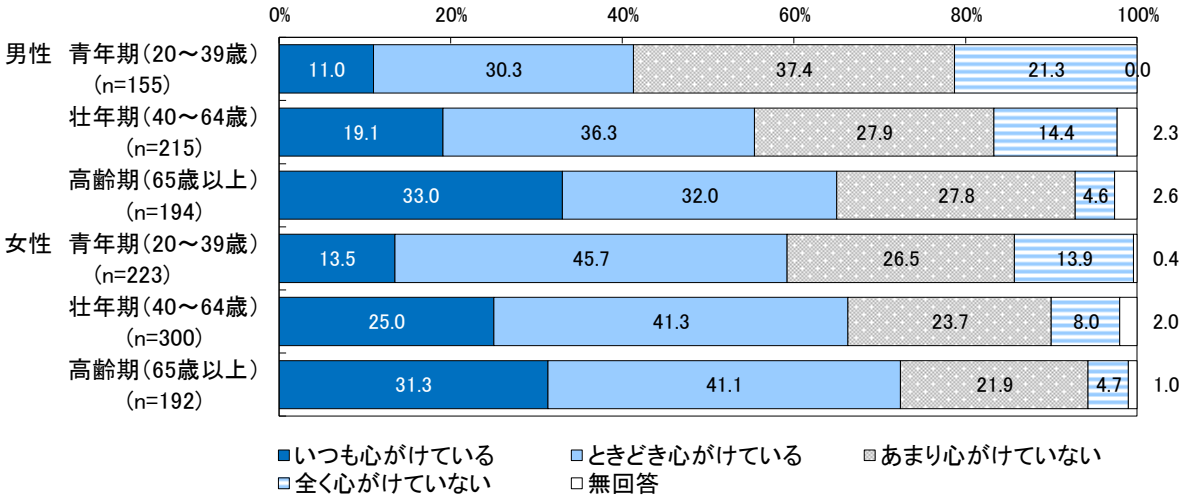
経年比較すると、『心がけている』と回答した人の割合は、低下している。

【適正体重を維持することの意識の程度（性別）】



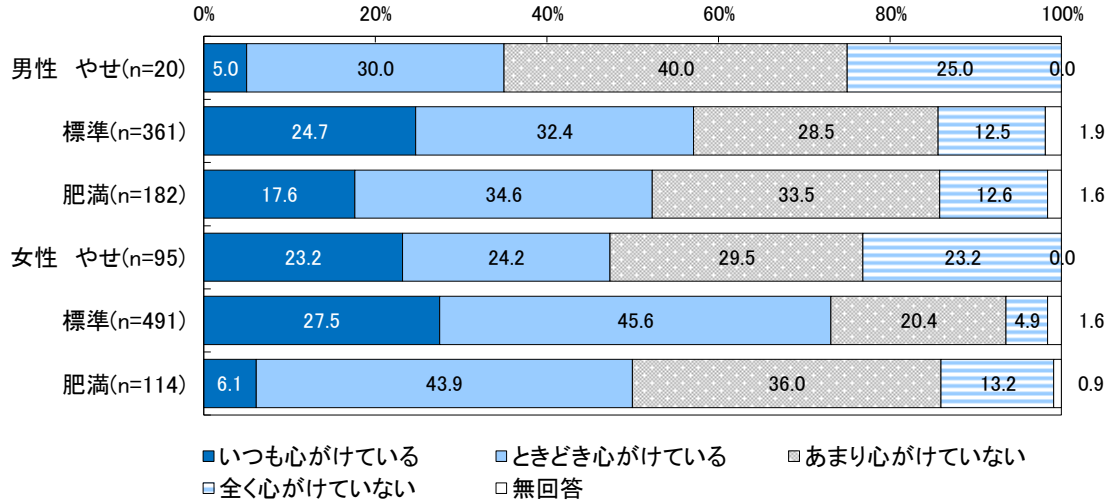
性別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男性で 54.8%、女性で 65.7%となっている。

【適正体重を維持することの意識の程度（性・年齢別）】



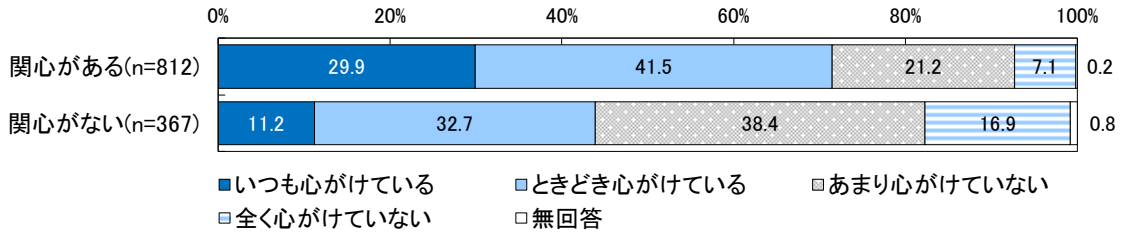
性・年齢別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男女ともに年齢が上がるほど高くなっている。

【適正体重を維持することの意識の程度（性・ＢＭＩ別）】



性・ＢＭＩ別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男性のやせの人で 35.0%、女性のやせの人で 47.4%、男性の標準・肥満の人、女性の肥満の人で５割台、女性の標準の人で 73.1%となっている。

【適正体重を維持することの意識の程度（食育への関心度別）】

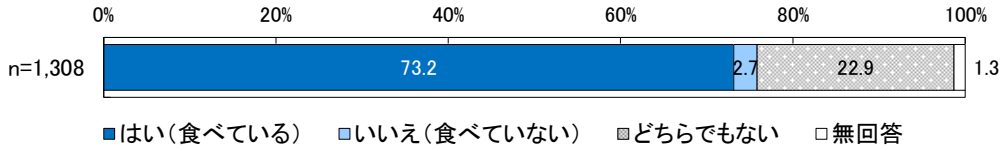


食育への関心度別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、食育に関心がある人で 71.4%、食育に関心がない人で 43.9%となっている。

(10)　食事をたのしく・おいしく食べている状況

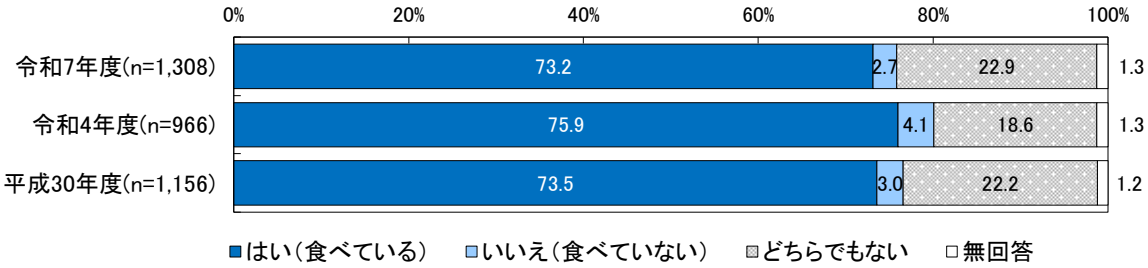
問 15　あなたは、食事を「たのしく　おいしく」食べていますか。【○は１つ】

【食事をたのしく・おいしく食べているか】



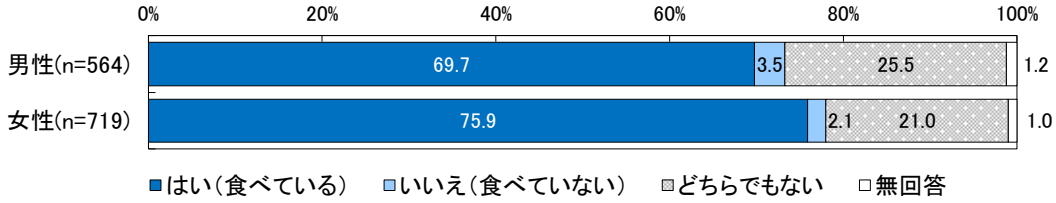
食事をたのしく・おいしく食べているかどうかについて、「はい（食べている）」と回答した人の割合が 73.2%、「いいえ（食べていない）」と回答した人の割合が 2.7%となっている。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（経年比較）】



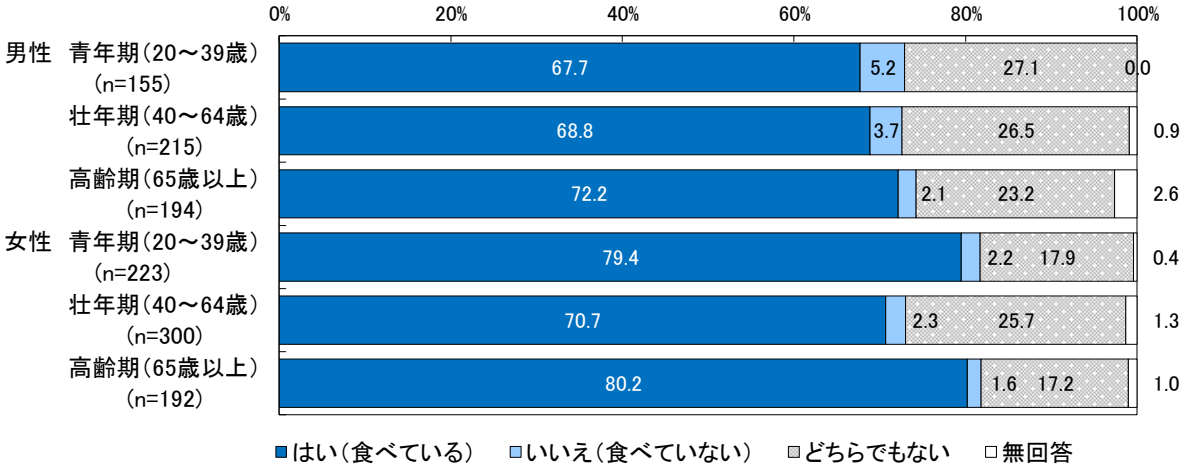
経年比較すると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（性別）】



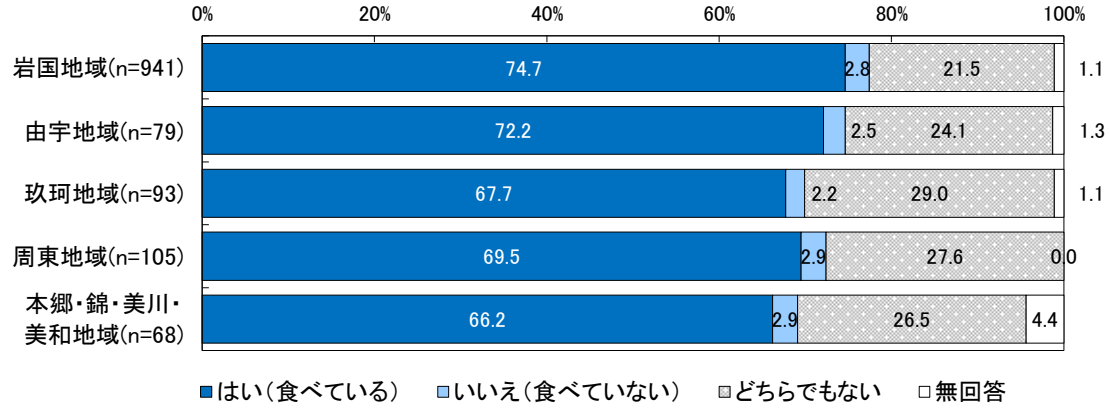
性別にみると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、男性で 69.7%、女性で 75.9%となっている。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（性・年齢別）】



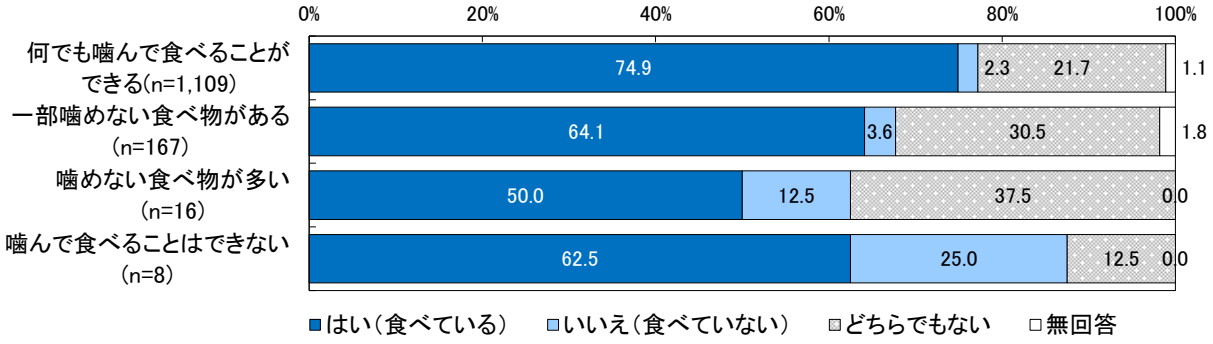
性・年齢別にみると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、女性高齢期・青年期で８割前後となっているが、男性青年期・壮年期では６割台となっている。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（居住地域別）】



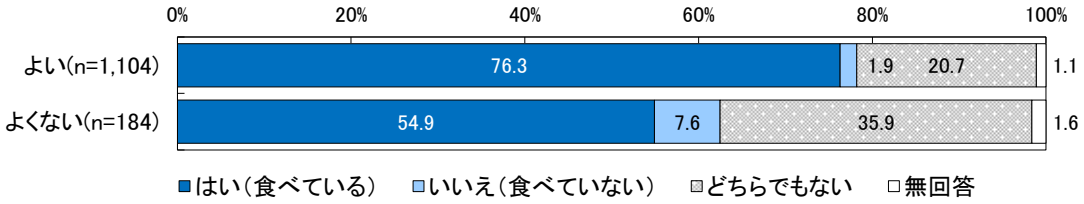
居住地域別にみると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、岩国地域で 74.7%、由宇地域で 72.2%、玖珂地域で 67.7%、周東地域で 69.5%、本郷・錦・美川・美和地域で 66.2%となっている。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（食べ物の咀嚼状況別）】



食べ物の咀嚼状況別にみると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、何でも噛んで食べることができる人で 74.9%となっているが、噛めない食べ物が多い人では 50.0%となっている。

【食事をたのしく・おいしく食べているか（主観的健康感別）】



主観的健康感別にみると、「はい（食べている）」と回答した人の割合は、健康状態がよい人で 76.3%、健康状態がよくない人で 54.9%となっている。

【評価指標】

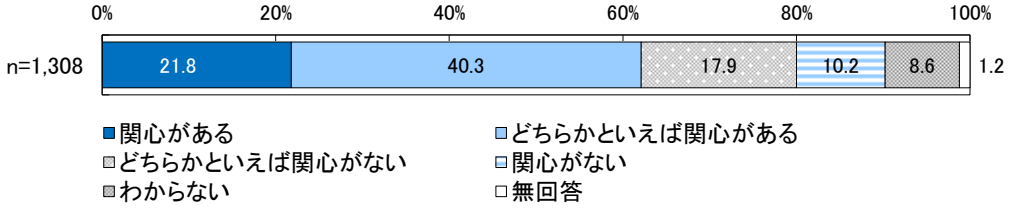
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
食事を「たのしく・おいしく」食べている市民の割合	73.5%	75.9%	73.2%	80.0%以上

食事を「たのしく・おいしく」食べている人の割合は、目標値に達していない。

(11) 食育への関心度

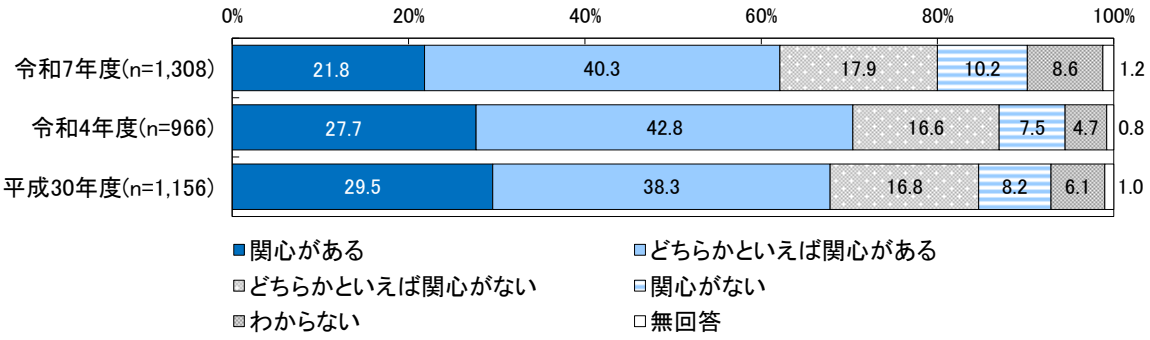
問 16　あなたは、「食育」に関心がありますか。【○は１つ】

【食育への関心度】



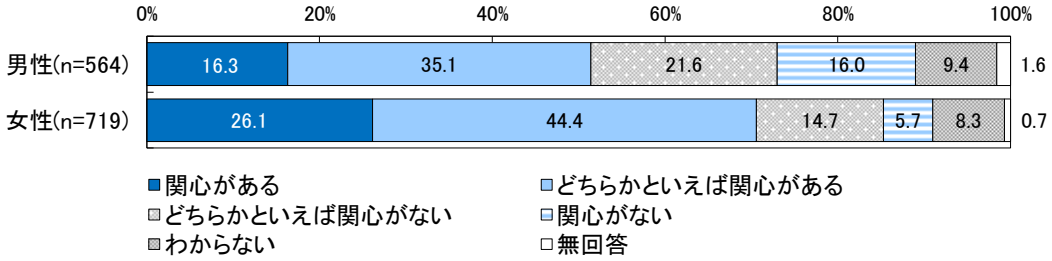
食育への関心度について、『関心がある』（「関心がある」＋「どちらかといえば関心がある」）と回答した人の割合が 62.1%、『関心がない』（「関心がない」＋「どちらかといえば関心がない」）と回答した人の割合が 28.1%となっている。

【食育への関心度（経年比較）】



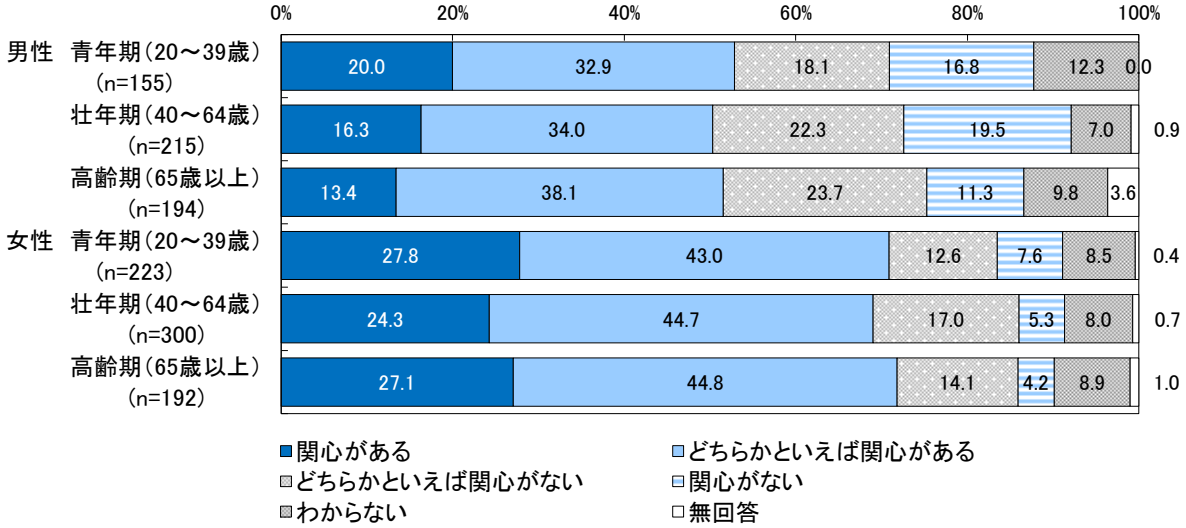
経年比較すると、『関心がある』と回答した人の割合は、令和４年度より低下している。

【食育への関心度（性別）】



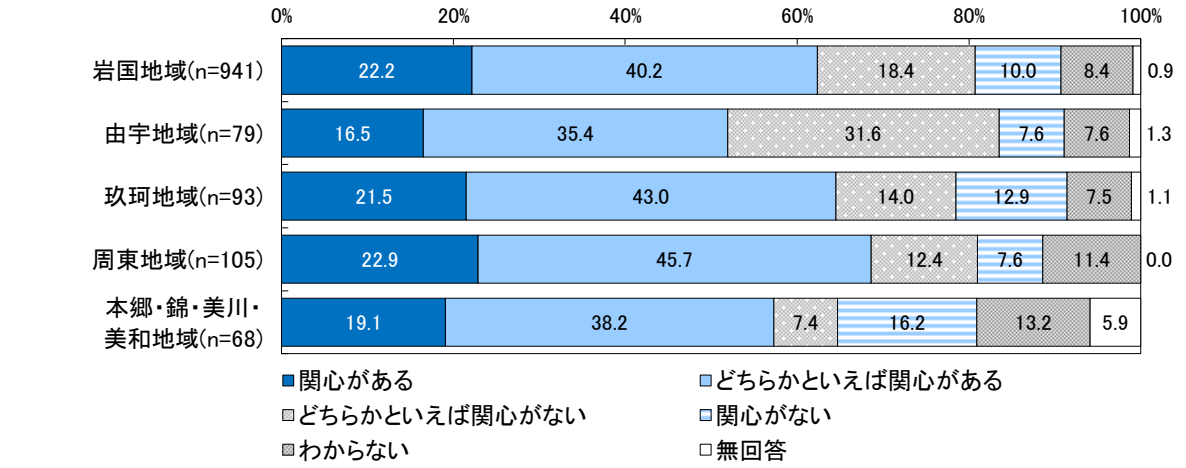
性別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性で 51.4%、女性で 70.5%となっている。

【食育への関心度（性・年齢別）】



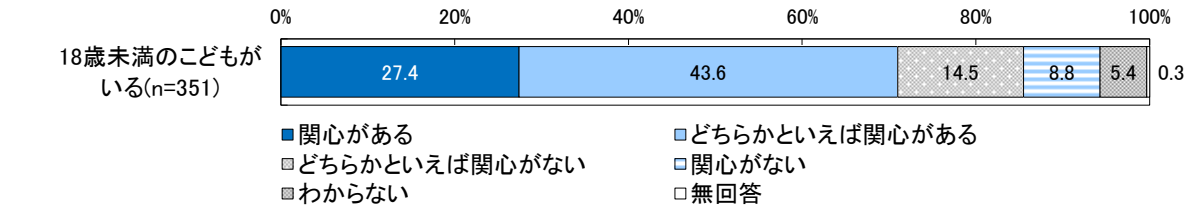
性・年齢別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、女性のいずれの年齢層においても７割前後となっているが、男性のいずれの年齢層においても５割台となっている。

【食育への関心度（居住地域別）】



居住地域別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、岩国地域で 62.4%、由宇地域で 51.9%、玖珂地域で 64.5%、周東地域で 68.6%、本郷・錦・美川・美和地域で 57.3%となっている。

【食育への関心度（18 歳未満のこどもがいる人）】



18 歳未満のこどもがいる人では、『関心がある』と回答した人の割合が 71.0%となっている。

【評価指標】

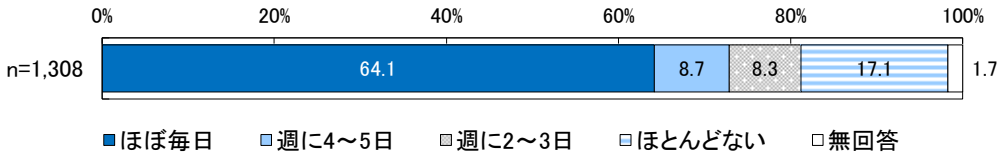
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
食育に関心を持っている市民の割合	67.8%	70.5%	62.1%	75.0%以上

食育に関心を持っている人の割合は、目標値に達していない。

(12)　共食の状況

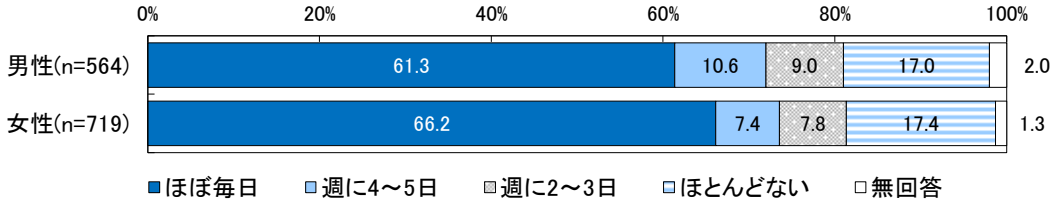
問 17　あなたは、家族と一緒に食事をすることはどのくらいありますか。【○は１つ】

【家族と一緒に食事をする頻度】



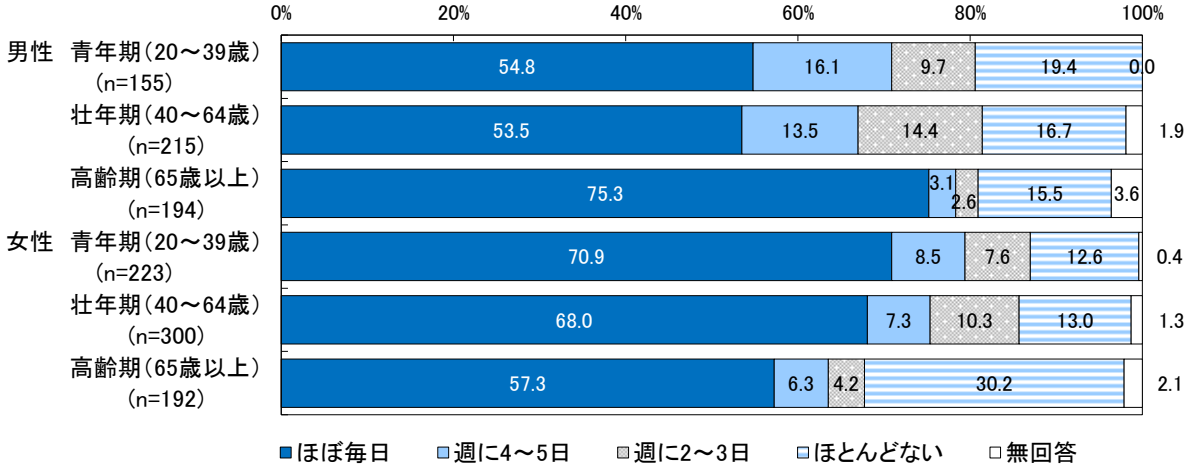
家族と一緒に食事をする頻度について、『ある』（「ほぼ毎日」＋「週に４～５日」＋「週に２～３日」）と回答した人の割合が 81.1%、「ほとんどない」と回答した人の割合が 17.1%となっている。

【家族と一緒に食事をする頻度（性別）】



性別にみると、『ある』と回答した人の割合は、男女ともに８割台となっている。

【家族と一緒に食事をする頻度（性・年齢別）】

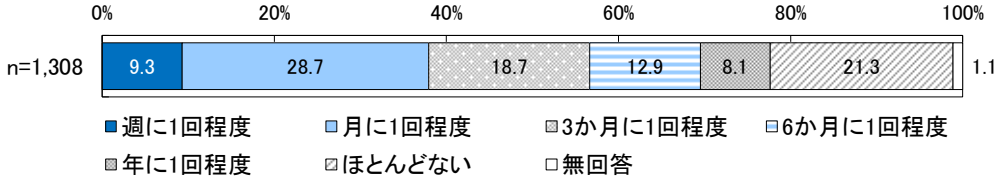


性・年齢別にみると、「ほとんどない」と回答した人の割合は、女性高齢期で 30.2%となっている。

(13)　家族以外の人との食事の場への参加状況

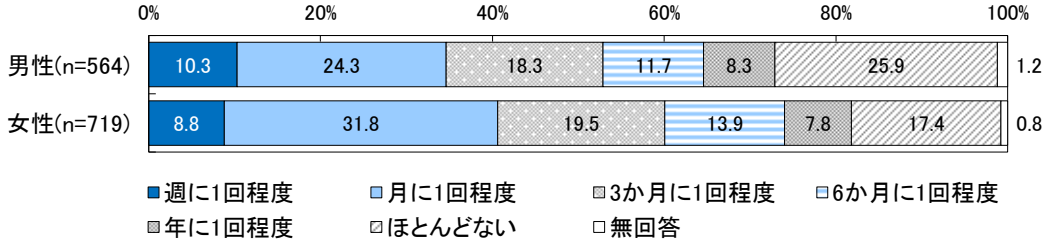
問 18　ここ１年間の様子についてお尋ねします。あなたは、家族以外の、友人、同僚、地域の人々等で食事をする場に参加したことはありますか。【○は１つ】

【家族以外の人との食事の場への参加状況】



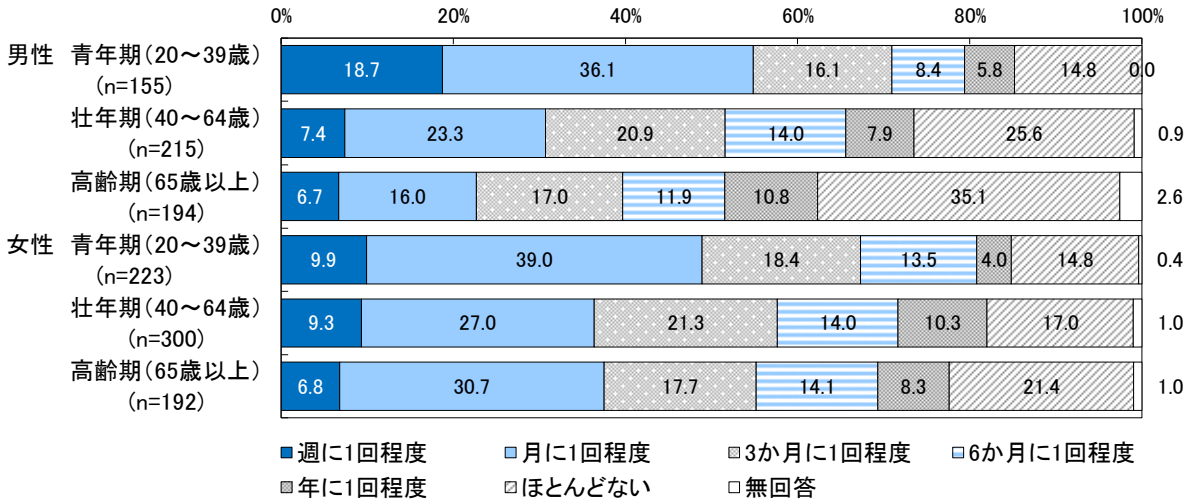
家族以外の人との食事の場への参加状況について、「週に１回程度」と回答した人の割合が 9.3%、「月に１回程度」と回答した人の割合が 28.7%、「ほとんどない」と回答した人の割合が 21.3%となっている。

【家族以外の人との食事の場への参加状況（性別）】



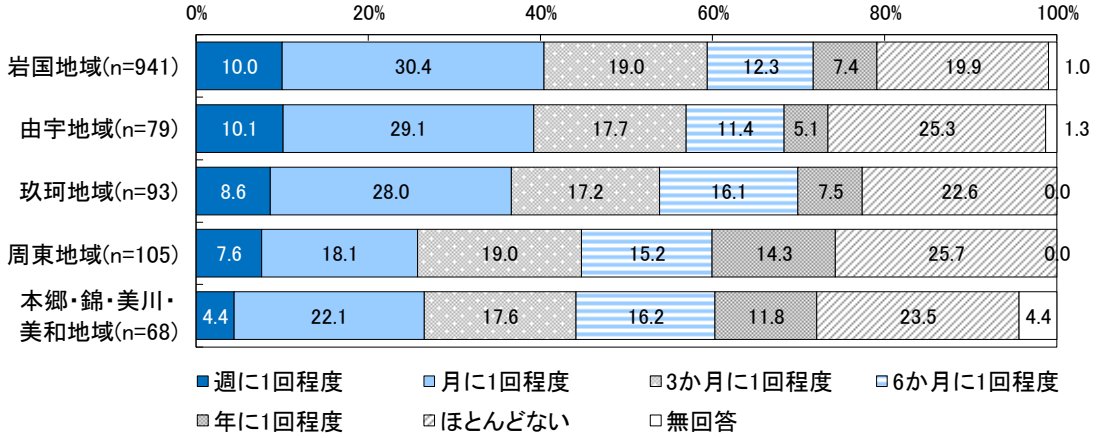
性別にみると、「ほとんどない」と回答した人の割合は、男性で 25.9%、女性で 17.4%となっている。

【家族以外の人との食事の場への参加状況（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「ほとんどない」と回答した人の割合は、男性高齢期で 35.1%となっている。

【家族以外の人との食事の場への参加状況（居住地域別）】

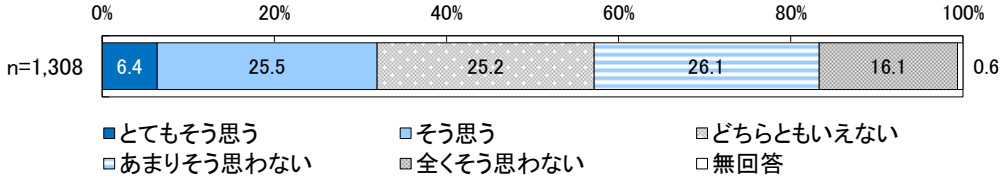


居住地域別にみると、『月に１回以上』と回答した人の割合は、岩国地域で 40.4%、由宇地域で 39.2%、玖珂地域で 36.6%、周東地域で 25.7%、本郷・錦・美川・美和地域で 26.5%となっている。

(14) 地域の人との食事会等の参加意向

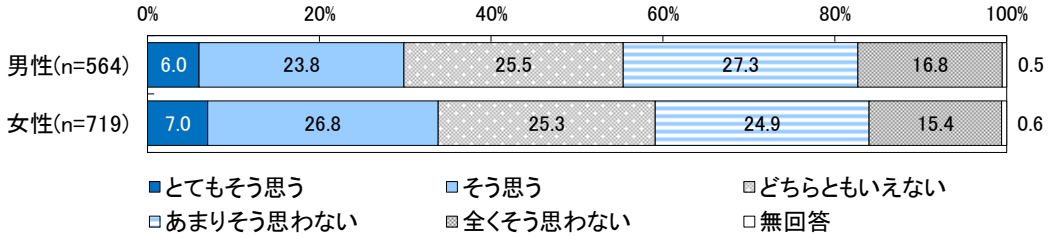
問 19　地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。【○は１つ】

【地域の人との食事会等の参加意向】



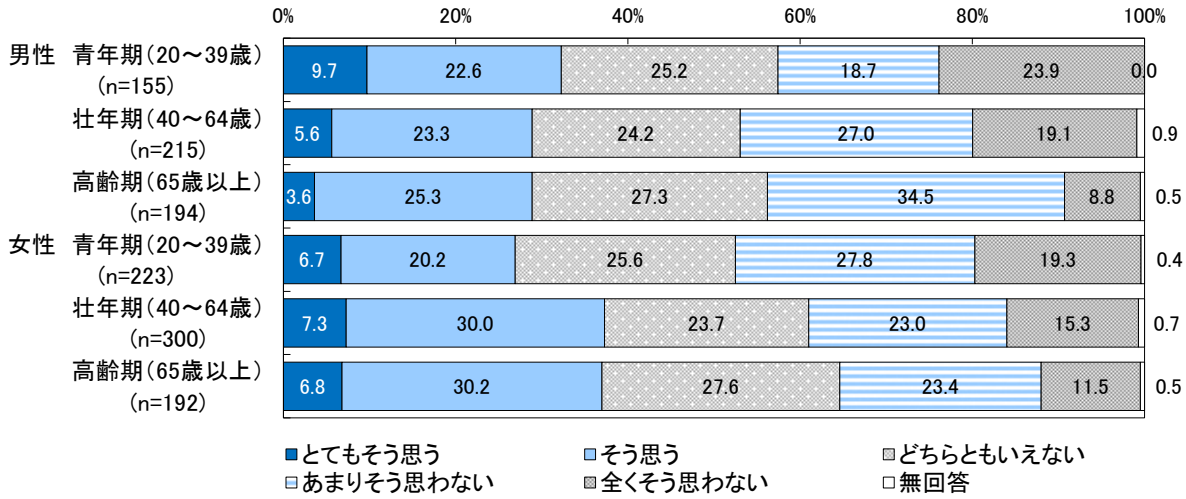
地域の人との食事会等の参加意向について、『参加したいと思う』（「とてもそう思う」＋「そう思う」）と回答した人の割合が 31.9%、『参加したいと思わない』（「全くそう思わない」＋「あまりそう思わない」）と回答した人の割合が 42.2%となっている。

【地域の人との食事会等の参加意向（性別）】



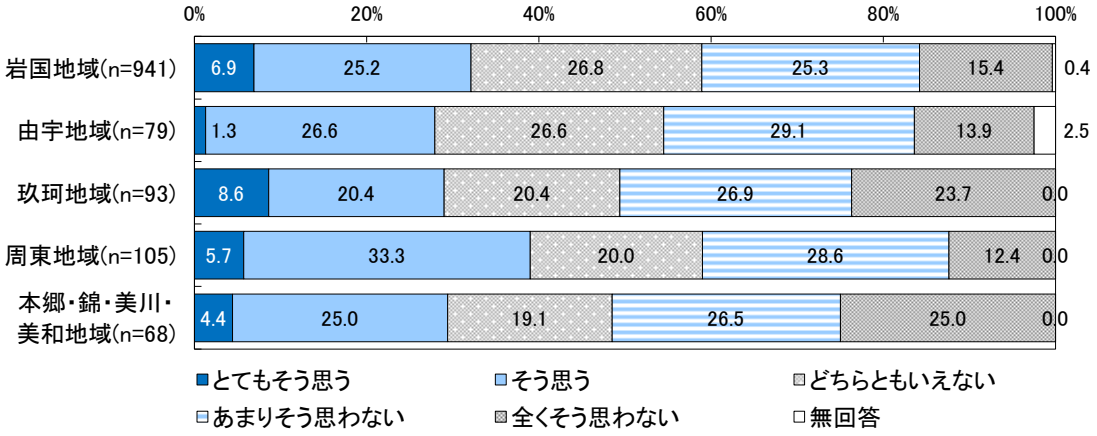
性別にみると、『参加したいと思う』と回答した人の割合は、男性で 29.8%、女性で 33.8%となっている。

【地域の人との食事会等の参加意向（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『参加したいと思う』と回答した人の割合は、男性青年期、女性壮年期・高齢期で３割台となっている。

【地域の人との食事会等の参加意向（居住地域別）】



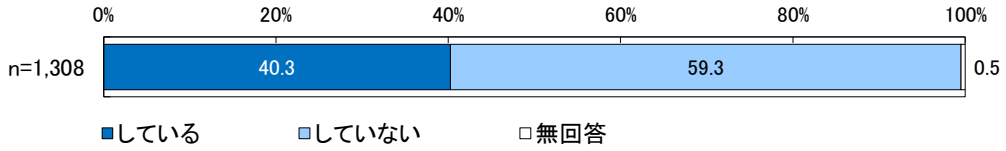
居住地域別にみると、『参加したいと思う』と回答した人の割合は、岩国地域で 32.1%、由宇地域で 27.9%、玖珂地域で 29.0%、周東地域で 39.0%、本郷・錦・美川・美和地域で 29.4%となっている。

4　運動

(1)　運動習慣の状況

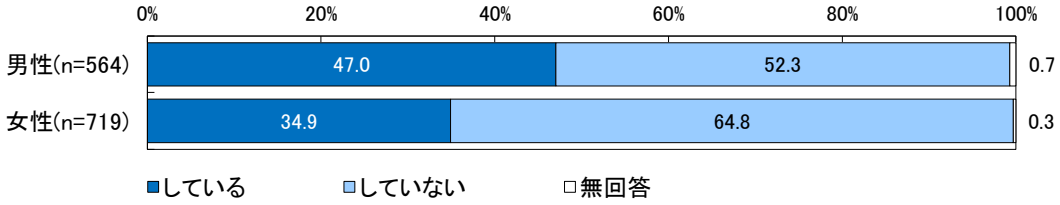
問 20　あなたは、普段運動をしていますか。【○は１つ】

【普段の運動状況】



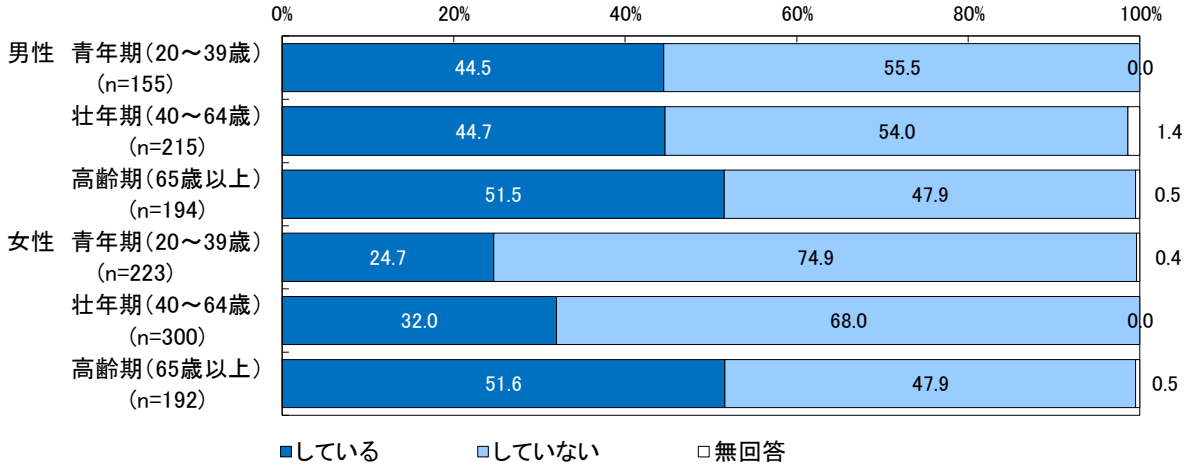
普段の運動状況について、「している」と回答した人の割合が 40.3%、「していない」と回答した人の割合が 59.3%となっている。

【普段の運動状況（性別）】



性別にみると、「している」と回答した人の割合は、男性で 47.0%、女性で 34.9%となっている。

【普段の運動状況（性・年齢別）】

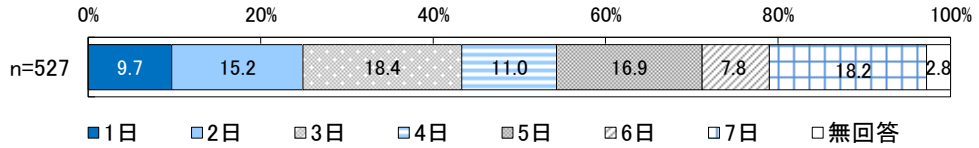


性・年齢別にみると、「している」と回答した人の割合は、女性青年期で 24.7%、女性壮年期で 32.0%と低くなっている。

問 20 で「１　している」と回答した人のみ回答

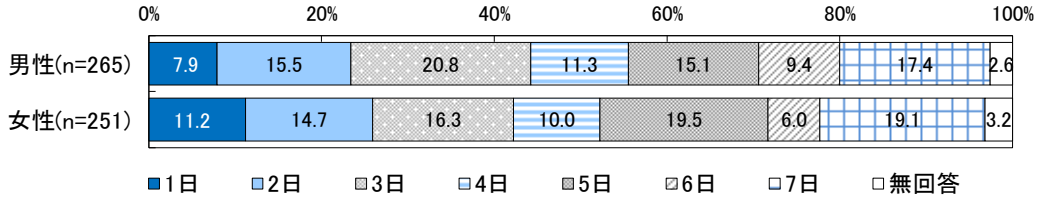
問 20（１） １週間に運動をする日数

【１週間の運動日数】



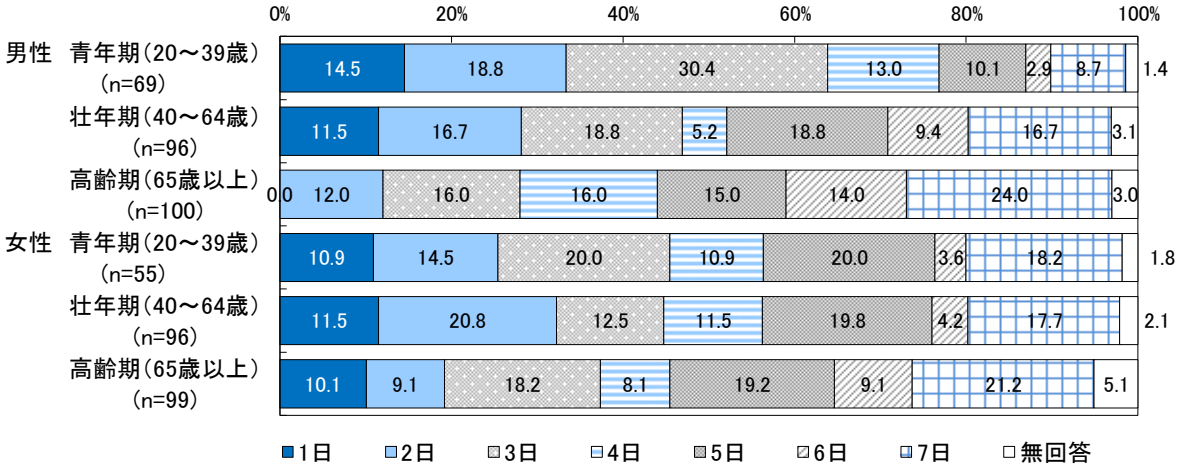
普段運動をしている人の１週間の運動日数について、『２日以上』と回答した人の割合が 87.5%となっている。

【１週間の運動日数（性別）】



性別にみると、『５日以上』の運動日数が多い人の割合は、男女ともに４割台となっている。

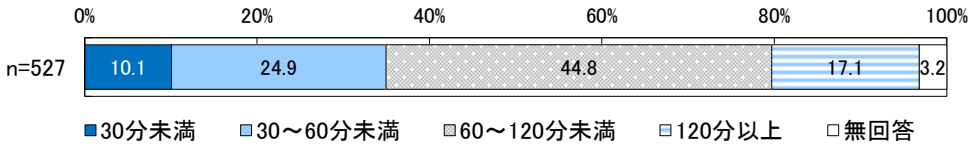
【１週間の運動日数（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『５日以上』の運動日数が多い人の割合は、男性高齢期で 53.0%となっている。

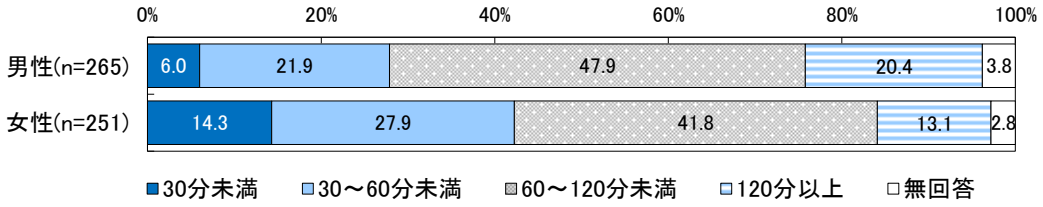
問 20（２）運動をする平均時間（１日当たり）

【１日当たりの平均運動時間】



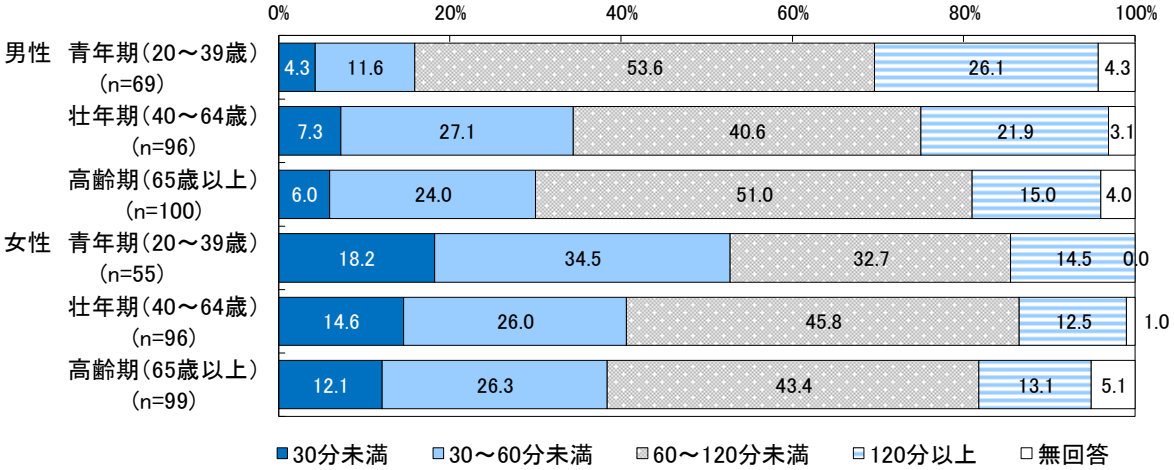
普段運動をしている人の１日当たりの平均運動時間について、『30 分以上』と回答した人の割合が 86.8%となっている。

【１日当たりの平均運動時間（性別）】



性別にみると、『30 分以上』と回答した人の割合は、男性で 90.2%、女性で 82.8%となっている。

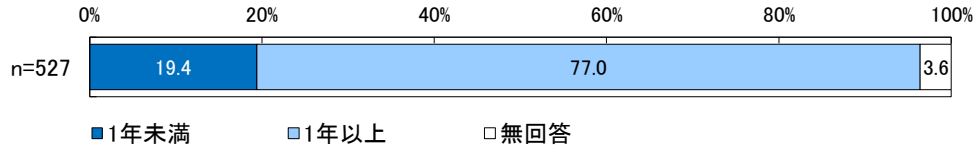
【１日当たりの平均運動時間（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『30 分以上』と回答した人の割合は、男性のいずれの年齢層においても９割前後となっている。

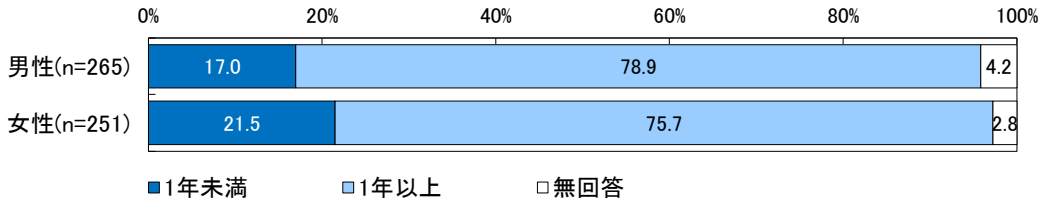
問 20（３）運動の継続年数【○は１つ】

【運動の継続年数】



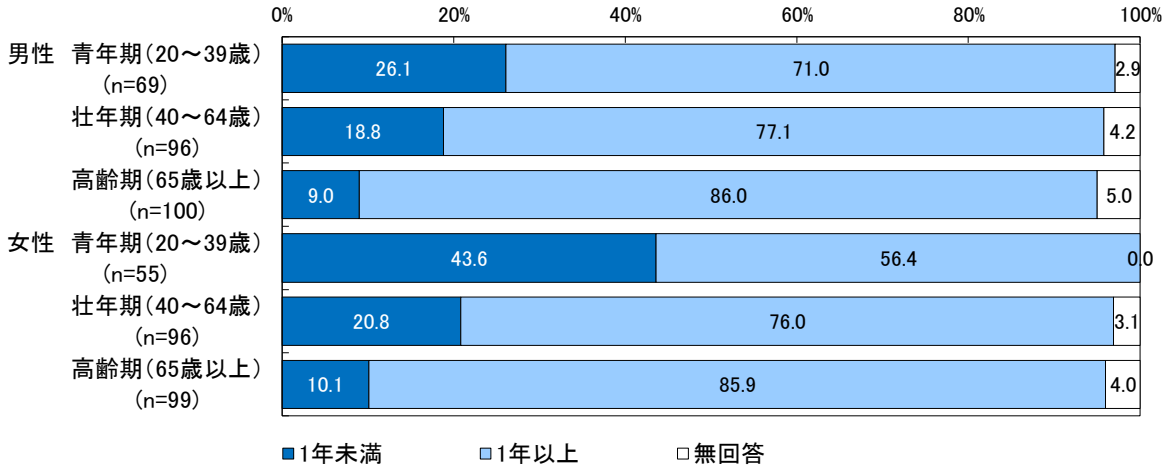
普段運動をしている人の継続年数について、「１年以上」と回答した人の割合が 77.0%となっている。

【運動の継続年数（性別）】



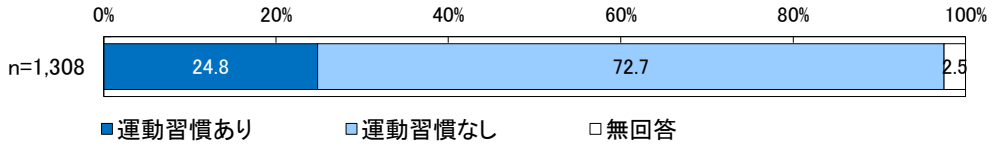
性別にみると、「１年以上」と回答した人の割合は、男女ともに７割台となっている。

【運動の継続年数（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「１年以上」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で８割台となっている。

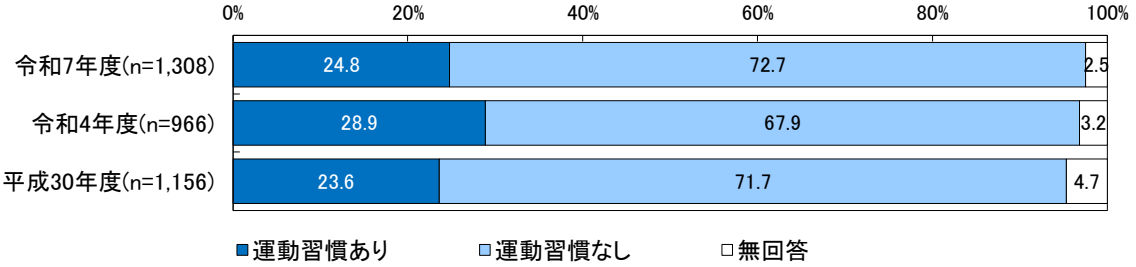
【運動習慣の有無】



＊「運動習慣あり」とは、1日 30 分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人のこと

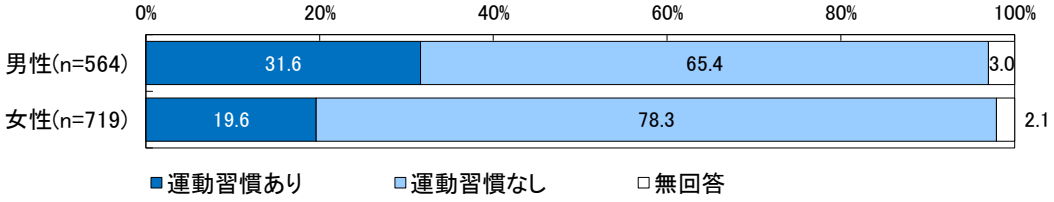
運動習慣の有無について、運動習慣がある人の割合は 24.8%、運動習慣がない人の割合は 72.7%となっている。

【運動習慣の有無（経年比較）】



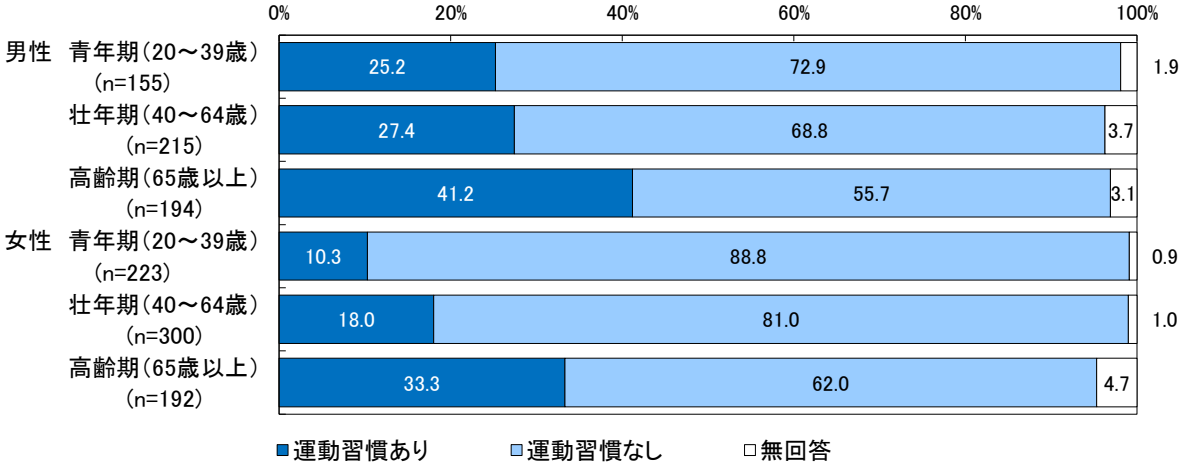
経年比較すると、運動習慣がある人の割合は、令和４年度より低下している。

【運動習慣の有無（性別）】



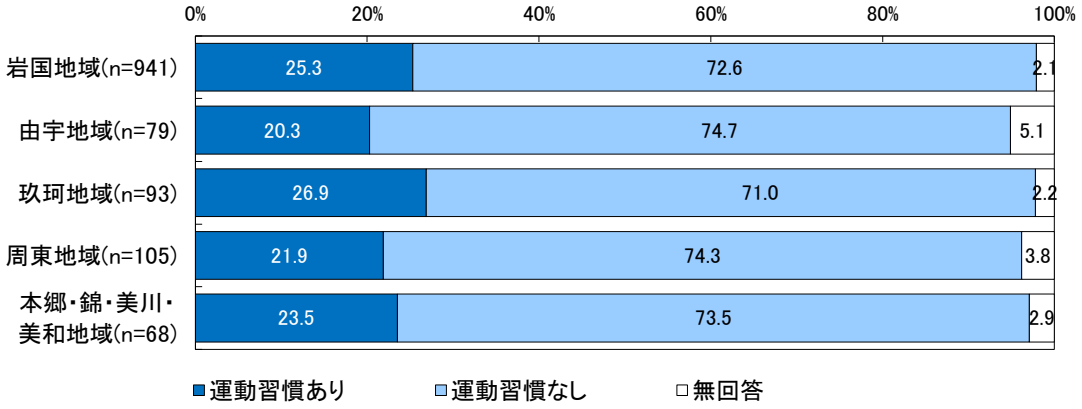
性別にみると、運動習慣がある人の割合は、男性で 31.6%、女性で 19.6%となっている。

【運動習慣の有無（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、運動習慣がある人の割合は、女性青年期で 10.3%、女性壮年期で 18.0%と低くなっている。

【運動習慣の有無（居住地域別）】



居住地域別にみると、運動習慣がある人の割合は、岩国地域で 25.3%、由宇地域で 20.3%、玖珂地域で 26.9%、周東地域で 21.9%、本郷・錦・美川・美和地域で 23.5%となっている。

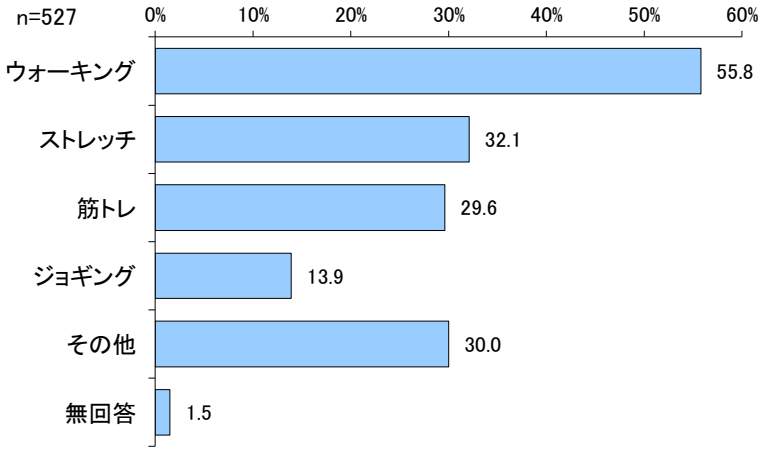
【評価指標】

	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
運動習慣（1 日 30 分以上の運動を週 2 日以上、1 年以上継続）がある市民の割合	23.6%	28.9%	24.8%	31.0%

運動習慣がある人の割合は、目標値に達していない。

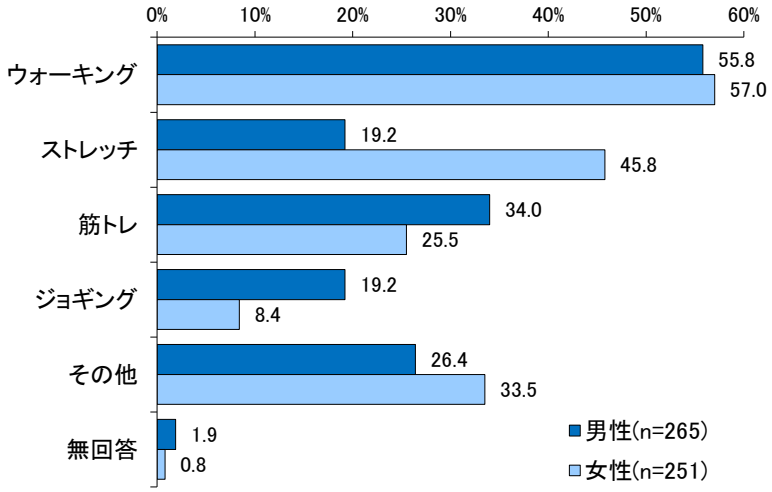
問 20（４）運動の内容【〇はあてはまるもの全て】

【運動の内容】



運動の内容について、「ウォーキング」と回答した人の割合が 55.8%と最も高く、「ストレッチ」（32.1%）、「筋トレ」（29.6%）が続いている。

【運動の内容（性別）】



性別にみると、男女ともに「ウォーキング」と回答した人の割合が最も高く、男性は「筋トレ」、女性は「ストレッチ」が続いている。

【運動の内容（性・年齢別）】

	回答数	ウォーキング	ストレッチ	筋トレ	ジョギング	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	69	29.0%	13.0%	55.1%	30.4%	26.1%	2.9%
壮年期(40～64歳)	96	57.3%	18.8%	35.4%	27.1%	24.0%	2.1%
高齢期(65歳以上)	100	73.0%	24.0%	18.0%	4.0%	29.0%	1.0%
女性　青年期(20～39歳)	55	50.9%	41.8%	30.9%	18.2%	32.7%	-
壮年期(40～64歳)	96	61.5%	50.0%	27.1%	8.3%	31.3%	1.0%
高齢期(65歳以上)	99	56.6%	43.4%	21.2%	3.0%	35.4%	1.0%

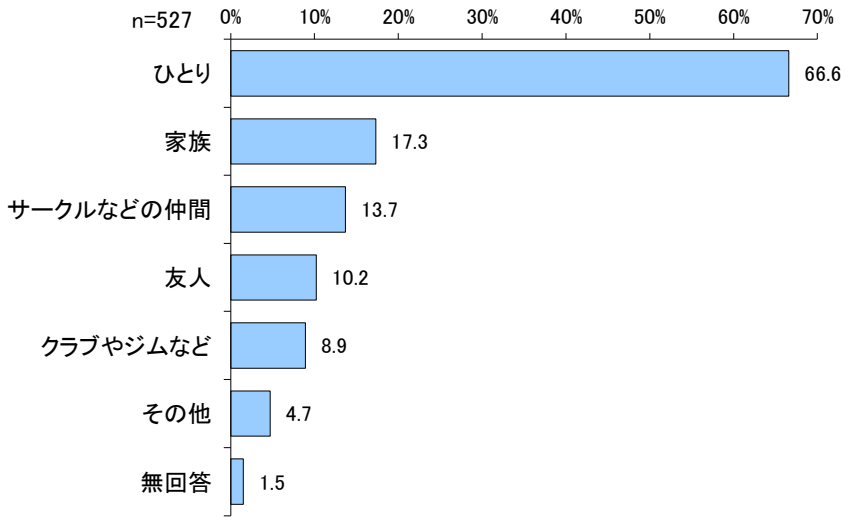
性・年齢別にみると、「ウォーキング」と回答した人の割合は、男性高齢期で 73.0%となっている。

「ストレッチ」と回答した人の割合は、女性壮年期で 50.0%となっている。

「筋トレ」と回答した人の割合は、男性青年期で 55.1%となっている。

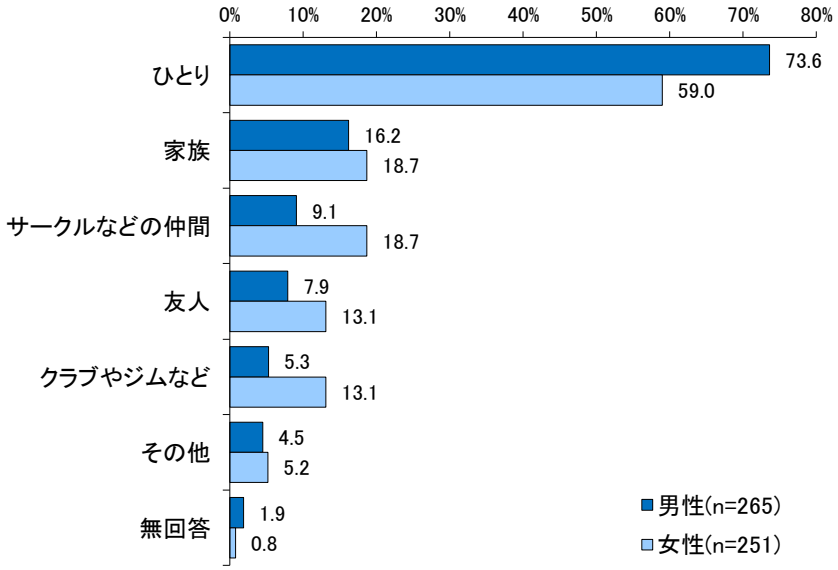
問 20（５）誰かと取り組んでいますか【○はあてはまるもの全て】

【一緒に取り組む人の有無】



一緒に取り組む人の有無について、「ひとり」と回答した人の割合が 66.6%と最も高く、「家族」（17.3%）、「サークルなどの仲間」（13.7%）が続いている。

【一緒に取り組む人の有無（性別）】



性別にみると、男女ともに「ひとり」と回答した人の割合が最も高くなっているが、女性では「サークルなどの仲間」と回答した人の割合が 18.7%となっている。

【一緒に取り組む人の有無（性・年齢別）】

	回答数	ひとり	家族	サークルなどの仲間	友人	クラブやジムなど	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	69	73.9%	8.7%	13.0%	11.6%	10.1%	4.3%	2.9%
壮年期(40～64歳)	96	76.0%	16.7%	6.3%	6.3%	2.1%	5.2%	2.1%
高齢期(65歳以上)	100	71.0%	21.0%	9.0%	7.0%	5.0%	4.0%	1.0%
女性　青年期(20～39歳)	55	56.4%	30.9%	10.9%	16.4%	12.7%	3.6%	－
壮年期(40～64歳)	96	66.7%	15.6%	13.5%	11.5%	14.6%	5.2%	1.0%
高齢期(65歳以上)	99	52.5%	15.2%	28.3%	13.1%	12.1%	6.1%	1.0%

性・年齢別にみると、「ひとり」と回答した人の割合は、男性のいずれの年齢層においても 7 割台となっている。

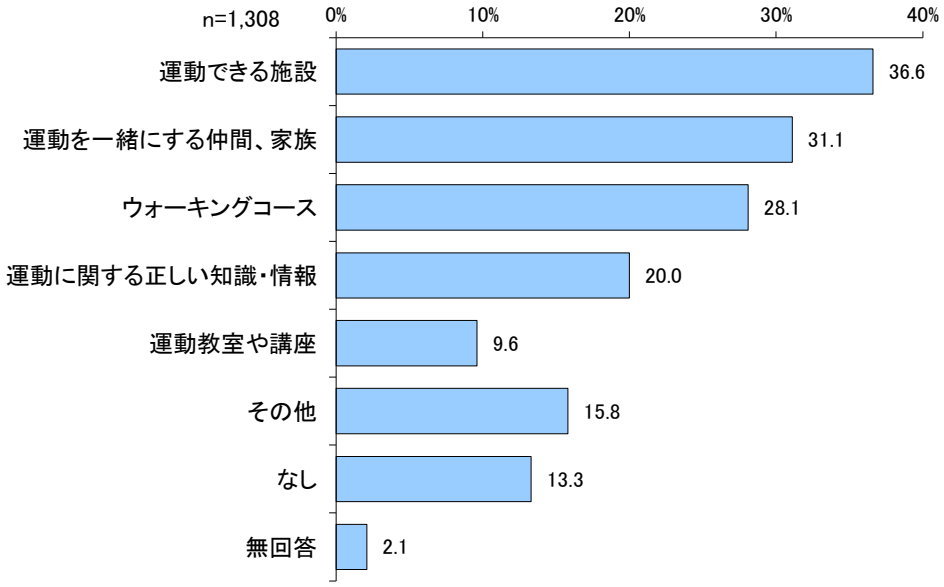
「家族」と回答した人の割合は、女性青年期で 30.9%となっている。

「サークルなどの仲間」と回答した人の割合は、女性高齢期で 28.3%となっている。

(2) 運動に取り組むために必要なもの

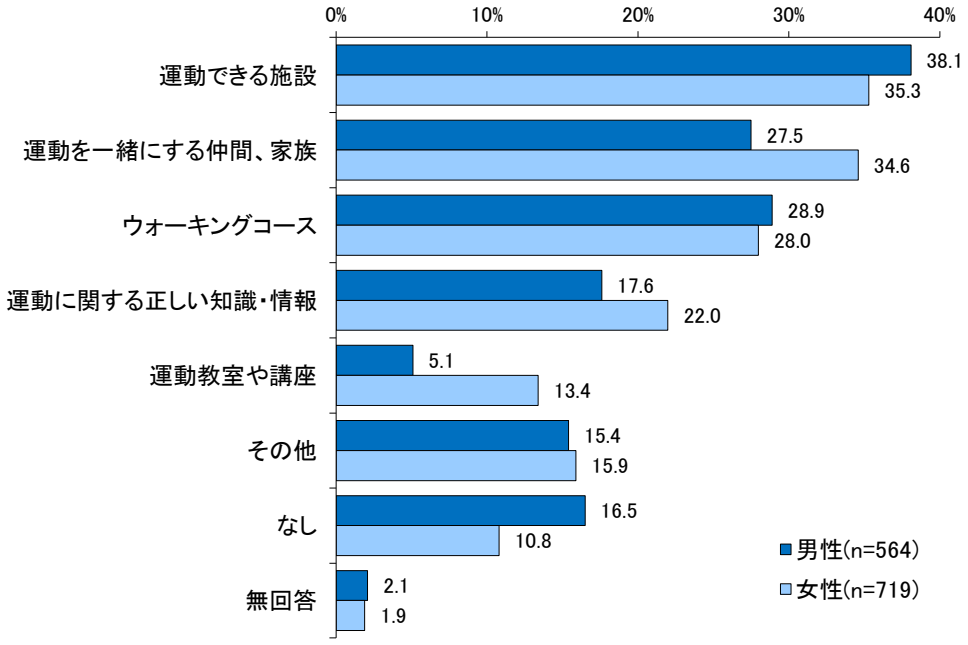
問 21　あなたが継続的に運動に取り組むために必要なものは何ですか。
【○はあてはまるもの全て】

【継続的に運動に取り組むために必要なもの】



継続的に運動に取り組むために必要なものについて、「運動できる施設」と回答した人の割合が 36.6%と最も高く、「運動を一緒にする仲間、家族」(31.1%)、「ウォーキングコース」(28.1%)が続いている。

【継続的に運動に取り組むために必要なもの（性別）】



性別にみると、男女ともに「運動できる施設」と回答した人の割合が最も高くなっているが、女性では「運動を一緒にする仲間、家族」と回答した人の割合も 34.6%となっている。

【継続的に運動に取り組むために必要なもの（性・年齢別）】

	回答数	運動できる施設	運動を一緒にする仲間、家族	ウォーキングコース	運動に関する正しい知識・情報	運動教室や講座	その他	なし	無回答
男性　青年期(20～39歳)	155	51.0%	37.4%	18.7%	18.7%	3.2%	17.4%	11.6%	－
壮年期(40～64歳)	215	34.9%	27.4%	31.2%	17.2%	5.1%	17.7%	17.2%	2.3%
高齢期(65歳以上)	194	31.4%	19.6%	34.5%	17.0%	6.7%	11.3%	19.6%	3.6%
女性　青年期(20～39歳)	223	43.0%	46.6%	31.8%	18.8%	8.1%	15.2%	8.1%	0.9%
壮年期(40～64歳)	300	36.3%	29.7%	25.7%	22.7%	13.7%	19.0%	9.3%	1.3%
高齢期(65歳以上)	192	25.0%	28.1%	27.1%	25.0%	19.3%	12.0%	16.1%	4.2%

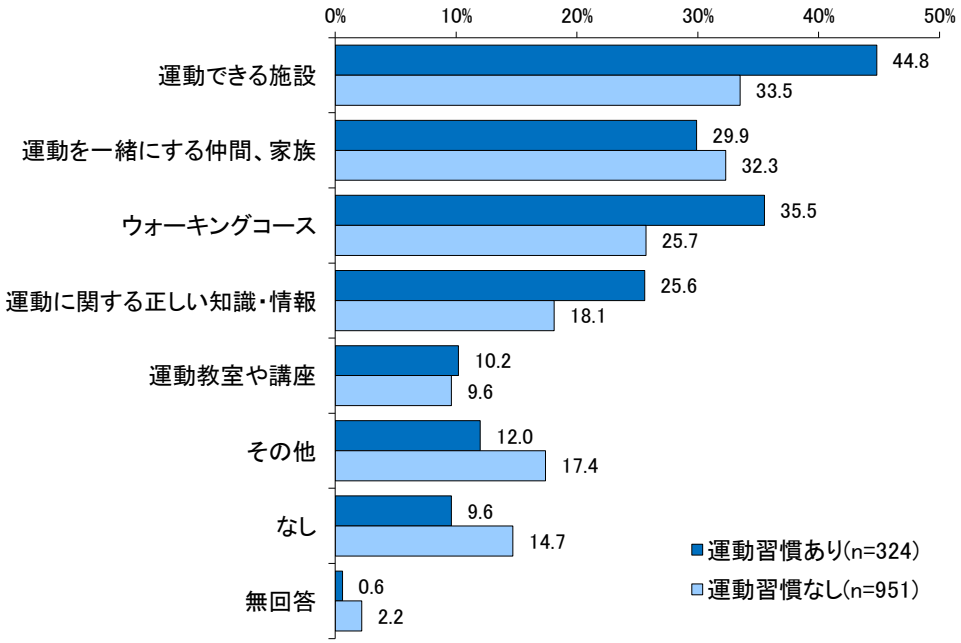
性・年齢別にみると、「運動できる施設」と回答した人の割合は、男性青年期で 51.0%となっている。

「運動を一緒にする仲間、家族」と回答した人の割合は、女性青年期で 46.6%となっている。

「ウォーキングコース」と回答した人の割合は、男性壮年期・高齢期、女性青年期で３割台となっている。

「運動に関する正しい知識・情報」と回答した人の割合は、女性壮年期・高齢期で２割台となっている。

【継続的に運動に取り組むために必要なもの（運動習慣の有無別）】



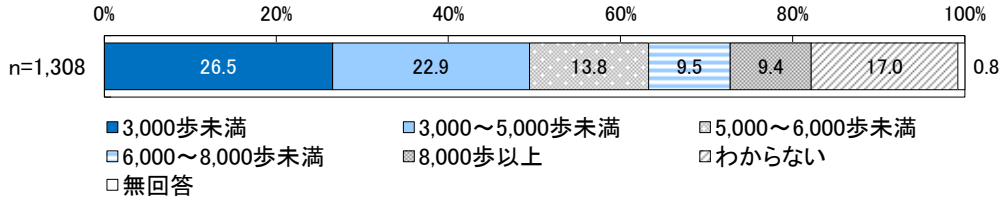
運動習慣の有無別にみると、運動習慣がある人では「運動できる施設」と回答した人の割合が 44.8%で最も高く、次いで「ウォーキングコース」（35.5%）となっている。

運動習慣がない人では「運動できる施設」、「運動を一緒にする仲間、家族」と回答した人の割合が３割台となっている。

(3) １日あたりの歩数

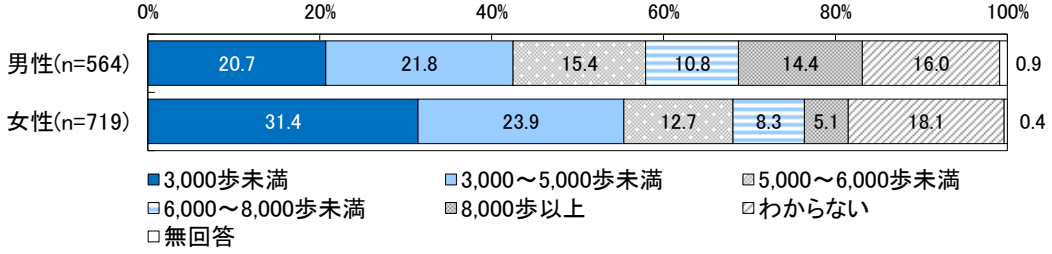
問 22　あなたは、１日にどのくらい歩きますか。（１日の平均）【○は１つ】

【１日あたりの歩数】



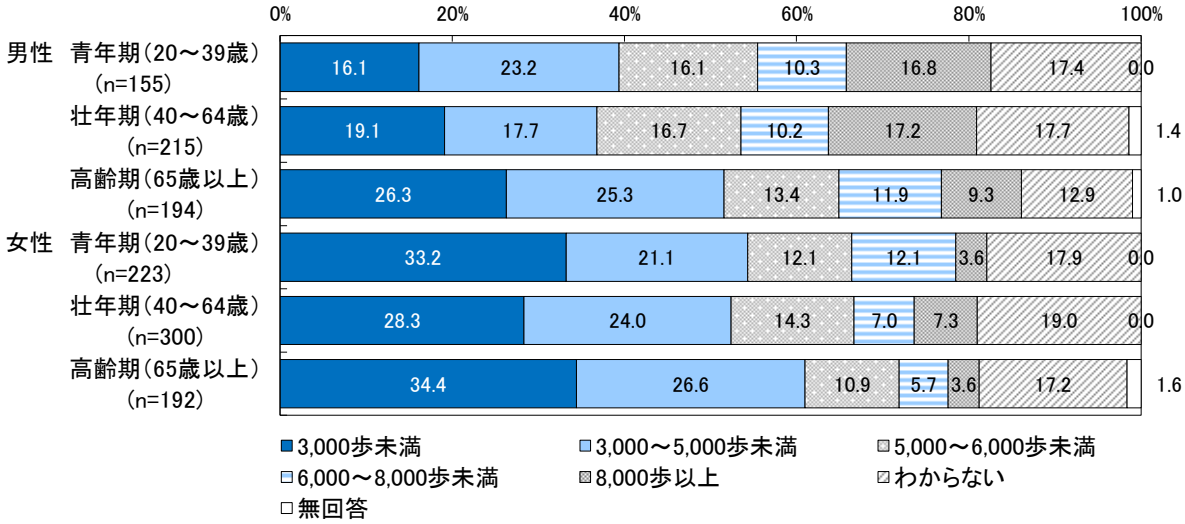
１日あたりの歩数について、「8,000 歩以上」と回答した人の割合が 9.4%、「8,000 歩未満」と回答した人の割合が 72.7%となっている。

【１日あたりの歩数（性別）】



性別にみると、「8,000 歩以上」と回答した人の割合は、男性で 14.4%、女性で 5.1%となっている。

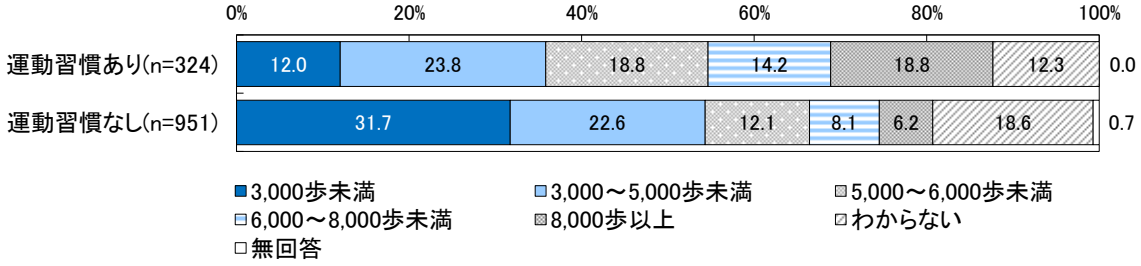
【１日あたりの歩数（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「8,000 歩以上」と回答した人の割合は、男性青年期で 16.8%、男性壮年期で 17.2%となっているが、女性青年期では 3.6%、女性壮年期では 7.3%となっている。

また、高齢期では「6,000 歩以上」と回答した人の割合は、男性で 21.2%、女性で 9.3%となっている。

【１日あたりの歩数（運動習慣の有無別）】

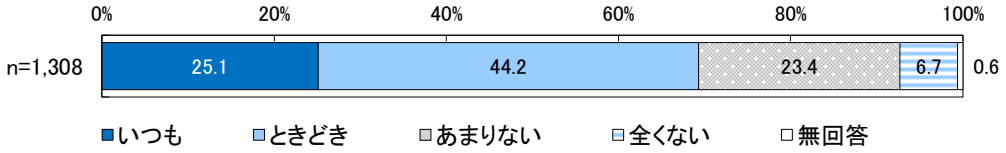


運動習慣の有無別にみると、「8,000 歩以上」と回答した人の割合は、運動習慣がある人で18.8%、運動習慣がない人で6.2%となっている。

(4) 健康維持・増進に取り組む状況

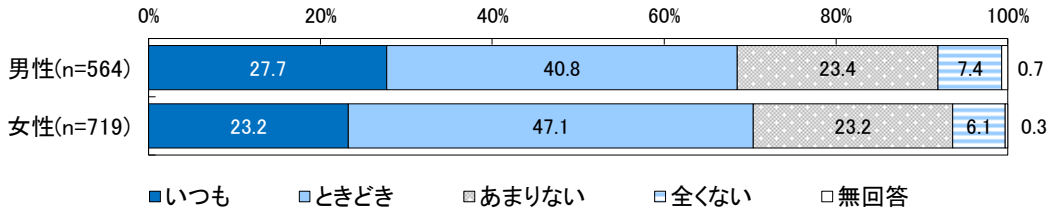
問 23　あなたは、日常生活において、健康の維持・増進のために、意識的に体を動かすように心がけていますか。【○は１つ】

【健康の維持・増進のために、意識的に体を動かす状況】



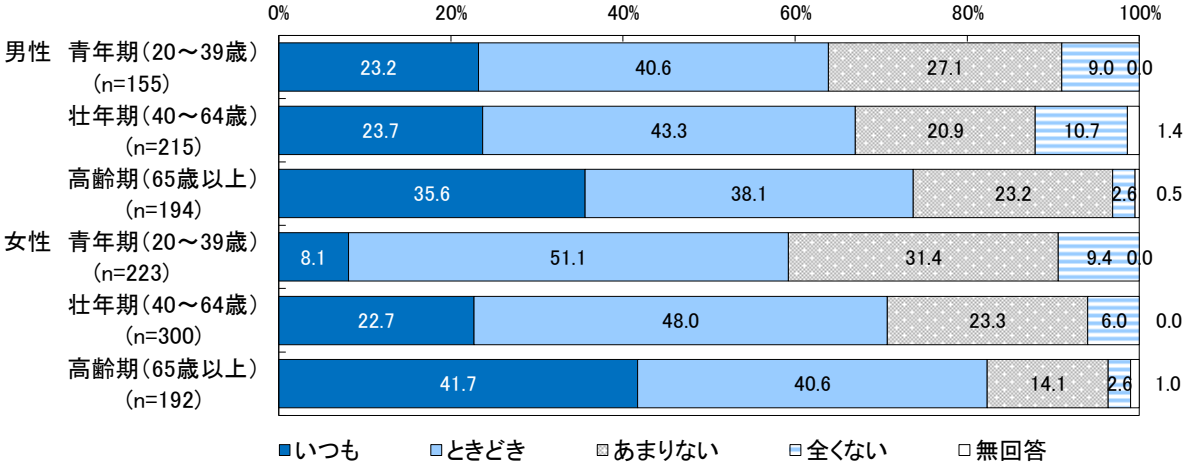
健康の維持・増進のために、意識的に体を動かす状況について、『心がけている』（「いつも」＋「ときどき」）と回答した人の割合が 69.3%、『心がけていない』（「全くない」＋「あまりない」）と回答した人の割合が 30.1%となっている。

【健康の維持・増進のために、意識的に体を動かす状況（性別）】



性別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男性で 68.5%、女性で 70.3%となっている。

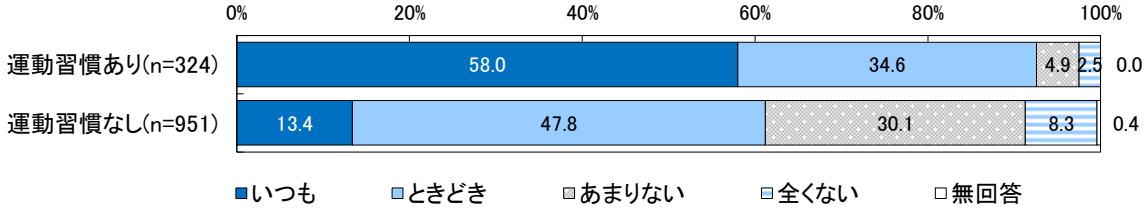
【健康の維持・増進のために、意識的に体を動かす状況（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『心がけている』と回答した人の割合は、男女ともに年齢が上がるほど高くなっている。

また、女性青年期では「いつも（心がけている）」と回答した人の割合が 8.1%と１割未満となっている。

【健康の維持・増進のために、意識的に体を動かす状況（運動習慣の有無別）】



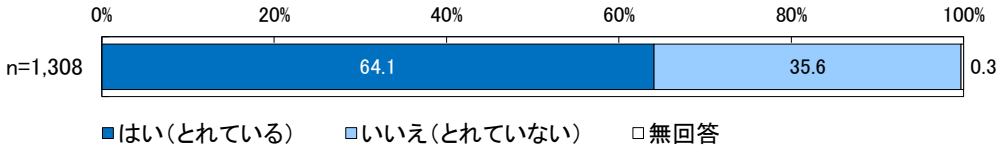
運動習慣の有無別にみると、「いつも（心がけている）」と回答した人の割合は、運動習慣がある人で 58.0%、運動習慣がない人で 13.4%となっている。

5　こころの健康

(1)　睡眠による休養の状況

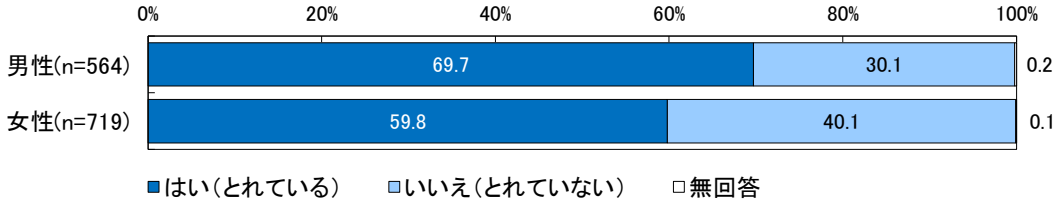
問 24　あなたは、睡眠による休養が十分にとれていますか。【○は１つ】

【睡眠による休養の状況】



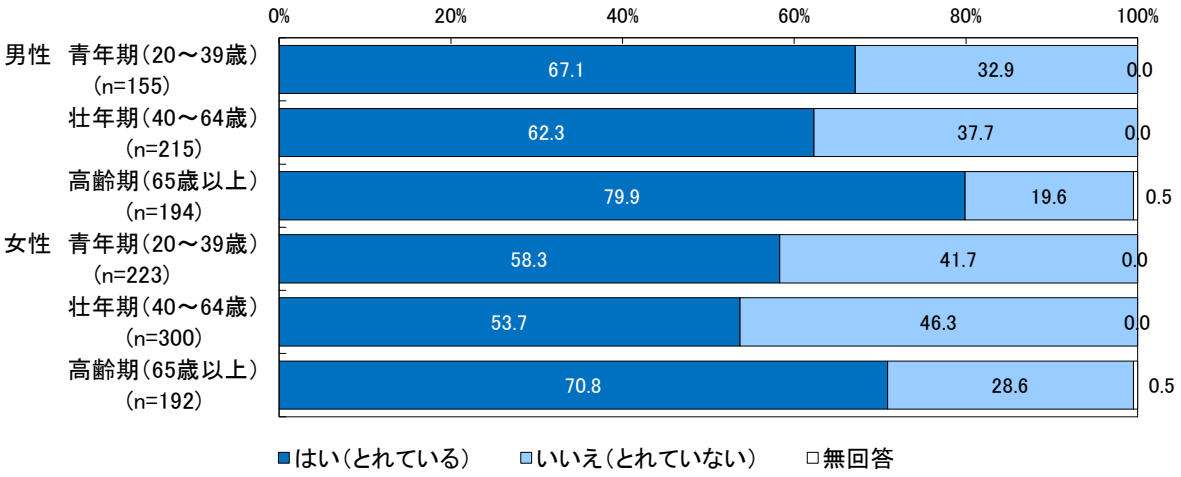
睡眠による休養の状況ついて、「はい（とれている)」と回答した人の割合が 64.1%、「いいえ（とれていない)」と回答した人の割合が 35.6%となっている。

【睡眠による休養の状況（性別)】



性別にみると、「はい（とれている)」と回答した人の割合は、男性で 69.7%、女性で 59.8%となっている。

【睡眠による休養の状況（性・年齢別)】

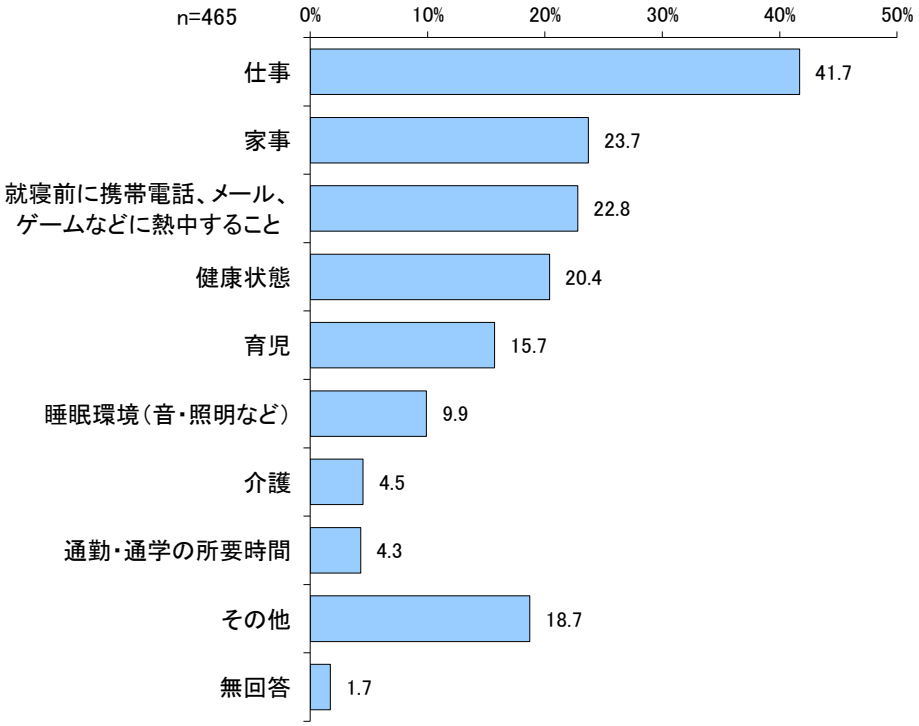


性・年齢別にみると、「いいえ（とれていない)」と回答した人の割合は、女性青年期・壮年期で４割台となっている。

問 24 で「２　いいえ」（睡眠による十分な休養がとれていない）と回答した人のみ回答

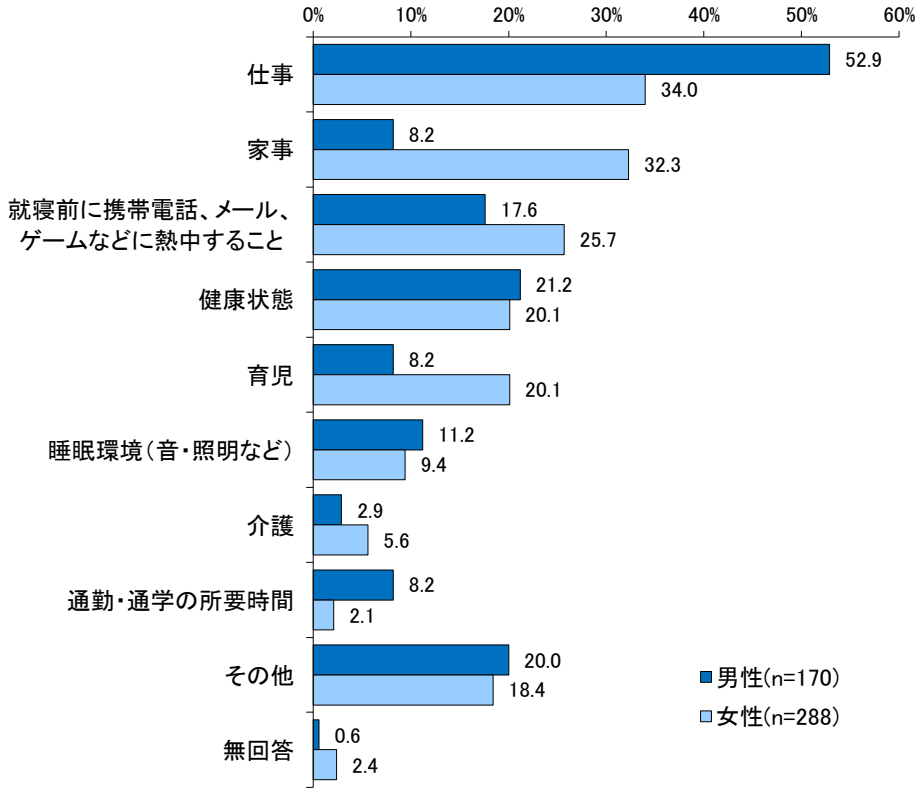
問 24－１　あなたの睡眠の妨げになっていることは何ですか。【○はあてはまるもの全て】

【睡眠の妨げになっていること】



睡眠の妨げになっていることについて、「仕事」と回答した人の割合が 41.7%と最も高く、「家事」（23.7%）、「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」（22.8%）、「健康状態」（20.4%）が続いている。

【睡眠の妨げになっていること（性別）】



性別にみると、「仕事」と回答した人の割合は、男女ともに最も高くなっており、男性では52.9%となっている。

また、女性では「家事」と回答した人の割合が32.3%で続いている。

【睡眠の妨げになっていること（性・年齢別）】

	回答数	仕事	家事	就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること	健康状態	育児
男性　青年期(20～39歳)	51	74.5%	15.7%	27.5%	11.8%	15.7%
壮年期(40～64歳)	81	56.8%	6.2%	16.0%	19.8%	7.4%
高齢期(65歳以上)	38	15.8%	2.6%	7.9%	36.8%	－
女性　青年期(20～39歳)	93	44.1%	38.7%	35.5%	8.6%	44.1%
壮年期(40～64歳)	139	38.1%	36.7%	23.7%	23.0%	12.2%
高齢期(65歳以上)	55	5.5%	10.9%	14.5%	30.9%	－

	回答数	睡眠環境（音・照明など）	介護	通勤・通学の所要時間	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	51	9.8%	2.0%	11.8%	9.8%	－
壮年期(40～64歳)	81	13.6%	1.2%	9.9%	18.5%	－
高齢期(65歳以上)	38	7.9%	7.9%	－	36.8%	2.6%
女性　青年期(20～39歳)	93	11.8%	1.1%	3.2%	7.5%	－
壮年期(40～64歳)	139	8.6%	7.2%	2.2%	20.1%	0.7%
高齢期(65歳以上)	55	7.3%	7.3%	－	32.7%	10.9%

性・年齢別にみると、「仕事」と回答した人の割合は、男性青年期で 74.5%、男性壮年期で 56.8%となっている。

「家事」と回答した人の割合は、女性青年期・壮年期で３割台となっている。

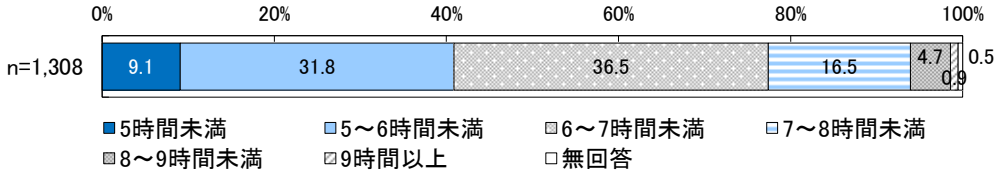
「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」と回答した人の割合は、女性青年期で 35.5%、男性青年期で 27.5%となっている。

「健康状態」と回答した人の割合は、男性高齢期、女性高齢期で３割台となっている。

(2)　１日あたりの睡眠時間

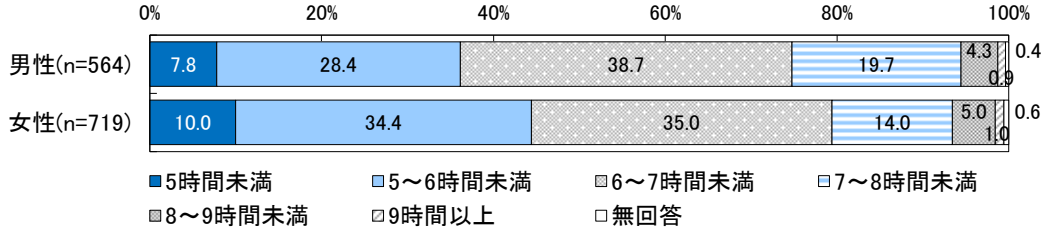
問 25　あなたは、１日にどのくらい睡眠時間をとりますか。【○は１つ】

【１日あたりの睡眠時間】



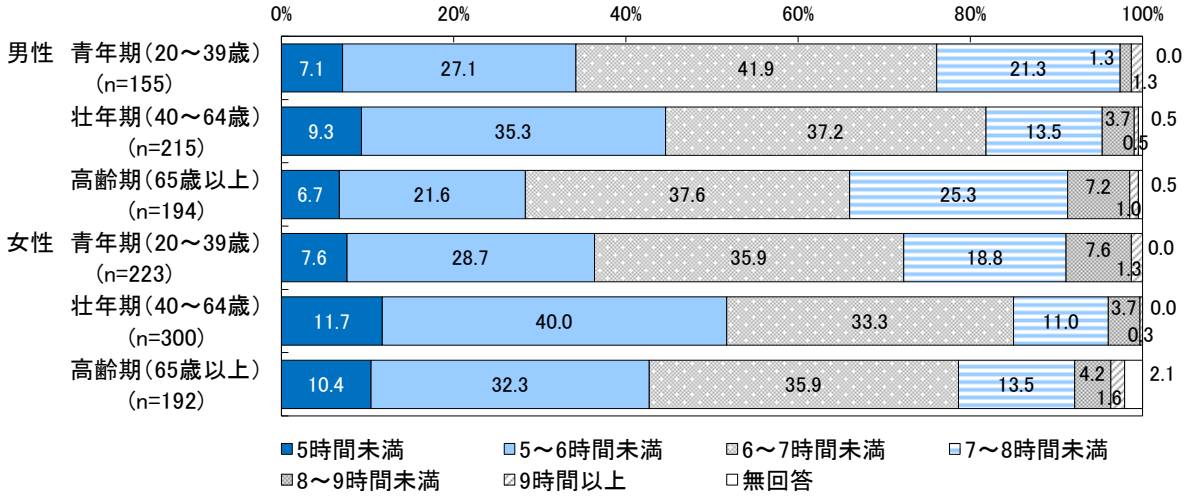
１日あたりの睡眠時間について、『６時間以上』と回答した人の割合が 58.6%、『６時間未満』と回答した人の割合が 40.9%となっている。

【１日あたりの睡眠時間（性別）】



性別にみると、『６時間以上』と回答した人の割合は、男性で 63.6%、女性で 55.0%となっている。

【１日あたりの睡眠時間（性・年齢別）】

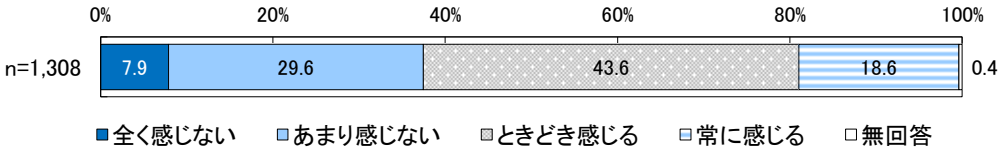


性・年齢別にみると、『６時間未満』と回答した人の割合は、女性壮年期で 51.7%、男性壮年期で 44.6%、女性高齢期で 42.7%となっている。

(3)　心の悩みやストレスの程度

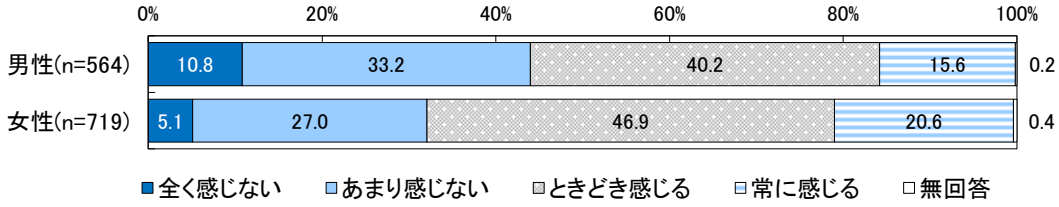
問 26　あなたは現在、心の悩みやストレスを感じていますか。【○は１つ】

【心の悩みやストレスの程度】



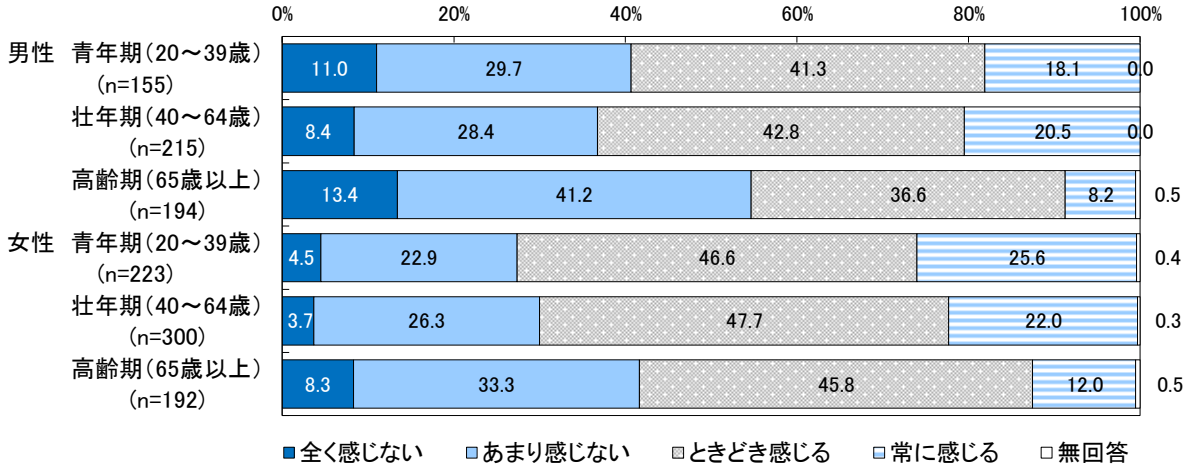
心の悩みやストレスの程度について、『感じない』（「全く感じない」＋「あまり感じない」）と回答した人の割合が 37.5%、『感じる』（「常に感じる」＋「ときどき感じる」）と回答した人の割合が 62.2%となっている。

【心の悩みやストレスの程度（性別）】



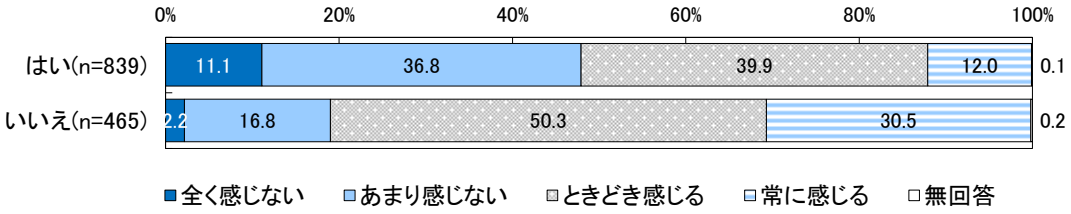
性別にみると、『感じる』と回答した人の割合は、男性で 55.8%、女性で 67.5%となっている。

【心の悩みやストレスの程度（性・年齢別）】



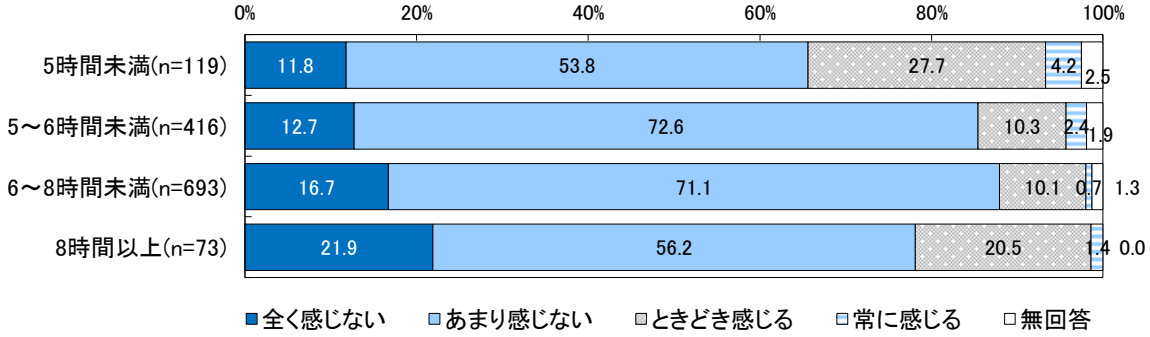
性・年齢別にみると、『感じる』と回答した人の割合は、女性青年期で 72.2%、女性壮年期で 69.7%、男性壮年期で 63.3%となっている。

【心の悩みやストレスの程度（睡眠による休養の状況別）】



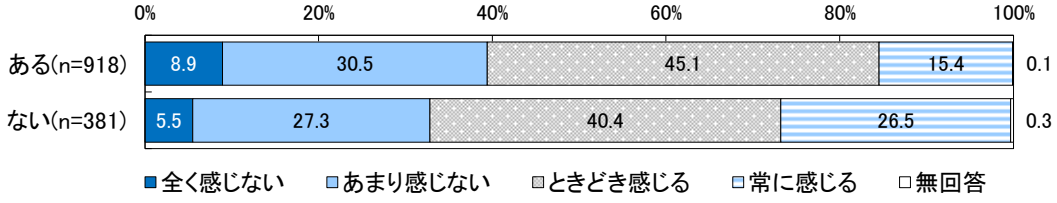
睡眠による休養の状況別にみると、睡眠による休養がとれていない人では「常に感じる」と回答した人の割合が 30.5%となっている。

【心の悩みやストレスの程度（１日あたりの睡眠時間別）】



睡眠時間別にみると、５時間未満の人では「常に感じる」と回答した人の割合が 4.2%、「ときどき感じる」と回答した人の割合が 27.7%となっている。

【心の悩みやストレスの程度（ストレス解消法の有無別）】

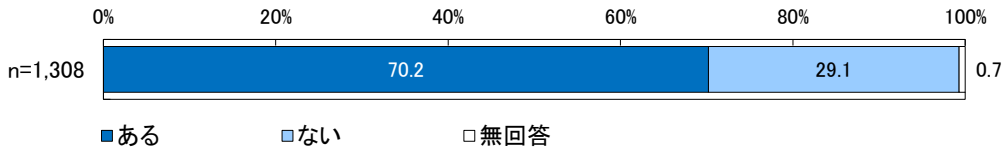


ストレス解消法の有無別にみると、ストレス解消法のない人では「常に感じる」と回答した人の割合が 26.5%となっている。

(4) ストレス解消法の有無

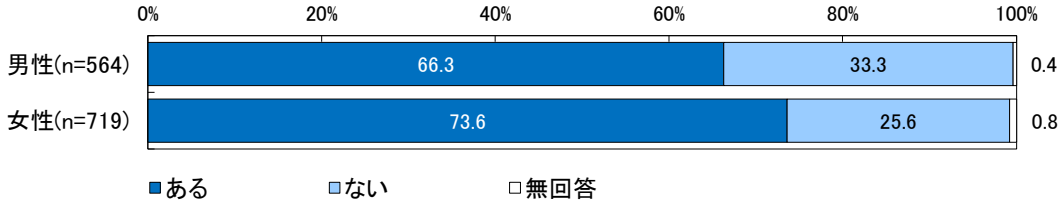
問 27　あなたは、自分なりにストレス解消法をもっていますか。【○は１つ】

【ストレス解消法の有無】



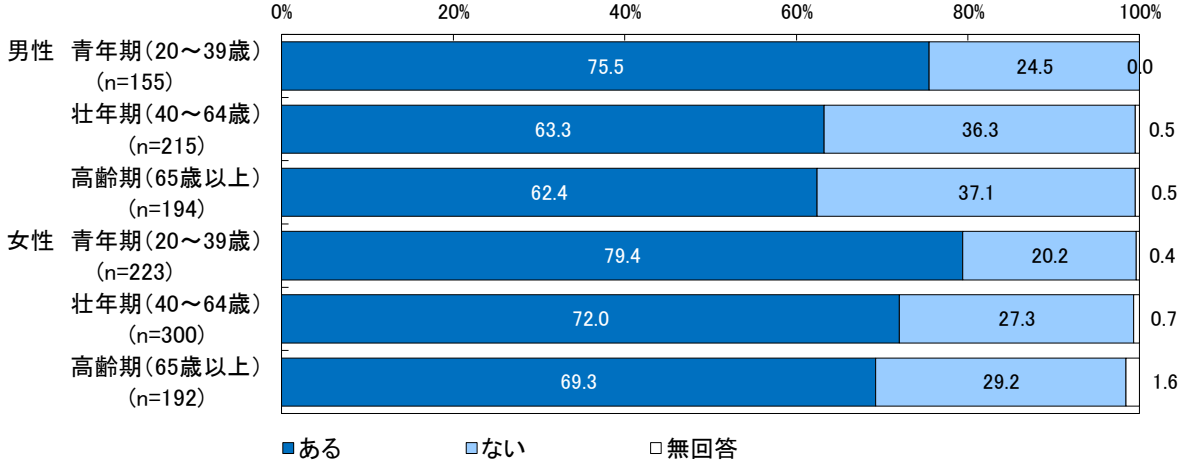
ストレス解消法の有無について、「ある」と回答した人の割合が 70.2%、「ない」と回答した人の割合が 29.1%となっている。

【ストレス解消法の有無（性別）】



性別にみると、「ある」と回答した人の割合は、男性で 66.3%、女性で 73.6%となっている。

【ストレス解消法の有無（性・年齢別）】

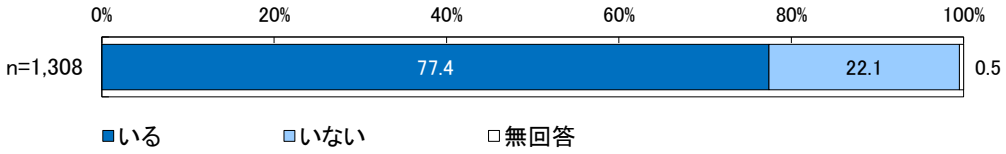


性・年齢別にみると、「ない」と回答した人の割合は、男性壮年期・高齢期で３割台となっている。

(5)　相談相手の状況

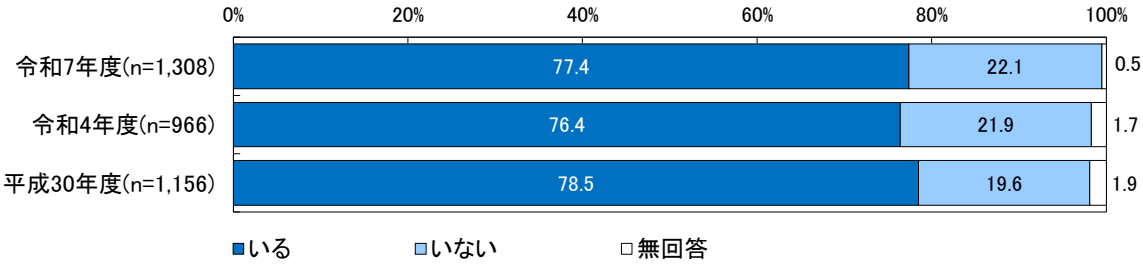
問 28　あなたは、悩みやストレスを感じた時に、相談する人がいますか。【○は１つ】

【相談相手の有無】



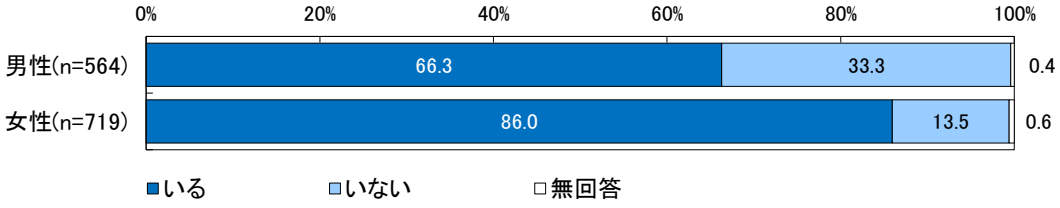
相談相手の有無について、「いる」と回答した人の割合が 77.4%、「いない」と回答した人の割合が 22.1%となっている。

【相談相手の有無（経年比較）】



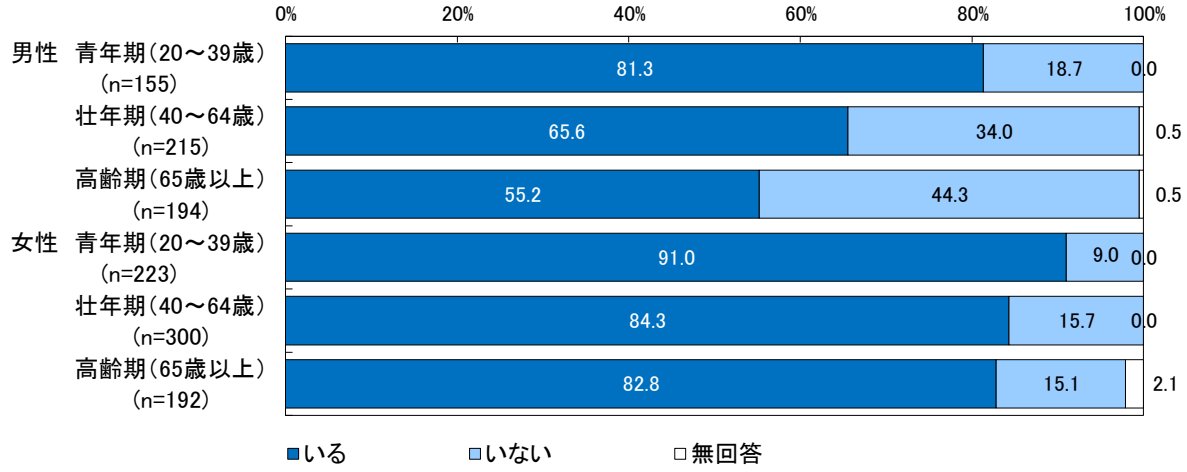
経年比較すると、「いる」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

【相談相手の有無（性別）】



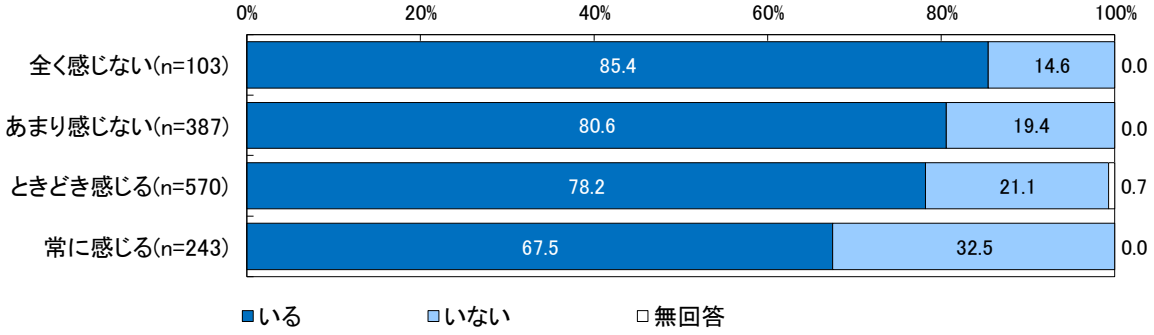
性別にみると、「いない」と回答した人の割合は、男性で 33.3%、女性で 13.5%となっている。

【相談相手の有無（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「いない」と回答した人の割合は、男性壮年期で 34.0%、男性高齢期で 44.3%となっている。

【相談相手の有無（ストレスの程度別）】



ストレスの程度別にみると、ストレスを常に感じる人では相談相手が「いない」と回答した人の割合が 32.5%となっている。

【評価指標】

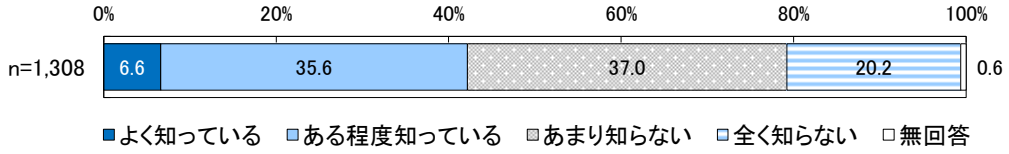
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
悩みやストレスを感じた時に相談できる人のいる市民の割合	78.5%	76.4%	77.4%	86.0%

悩みやストレスを感じた時に相談できる人のいる人の割合は、目標値に達していない。

(6) 相談窓口の認知度

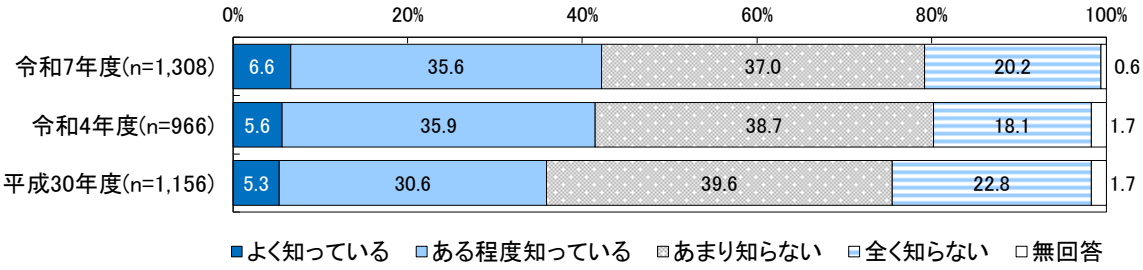
問 29　あなたは、心や人間関係の悩みについて相談に応じる行政、職場、学校、専門機関等の相談窓口を知っていますか。【○は１つ】

【相談窓口の認知度】



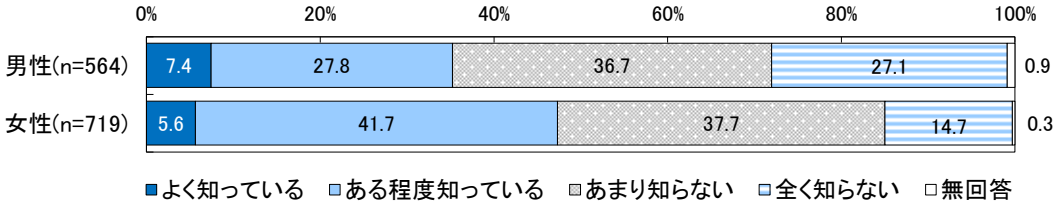
相談窓口の認知度について、『知っている』（「よく知っている」＋「ある程度知っている」）と回答した人の割合が 42.2%、『知らない』（「全く知らない」＋「あまり知らない」）と回答した人が 57.2%となっている。

【相談窓口の認知度（経年比較）】



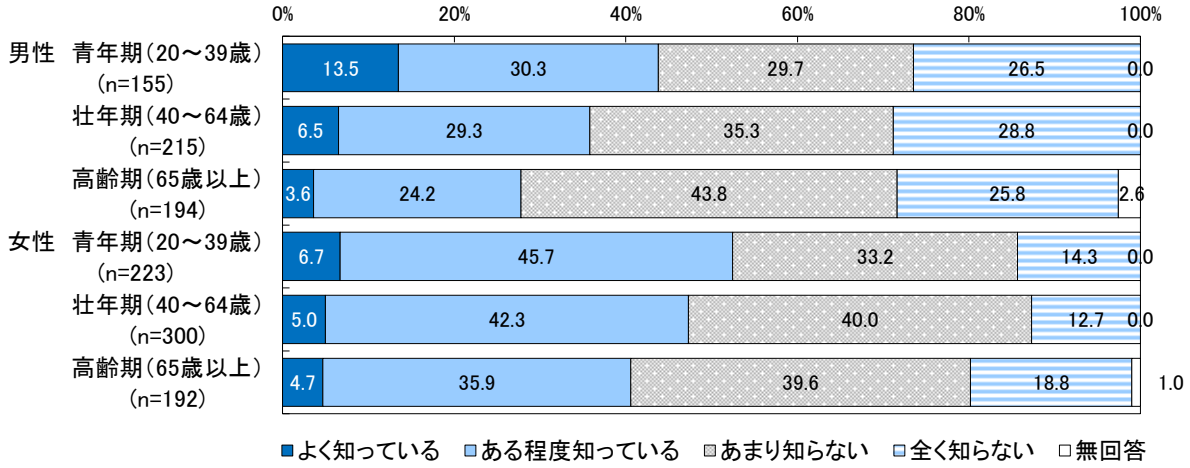
経年比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、令和４年度から大きな変化はみられない。

【相談窓口の認知度（性別）】



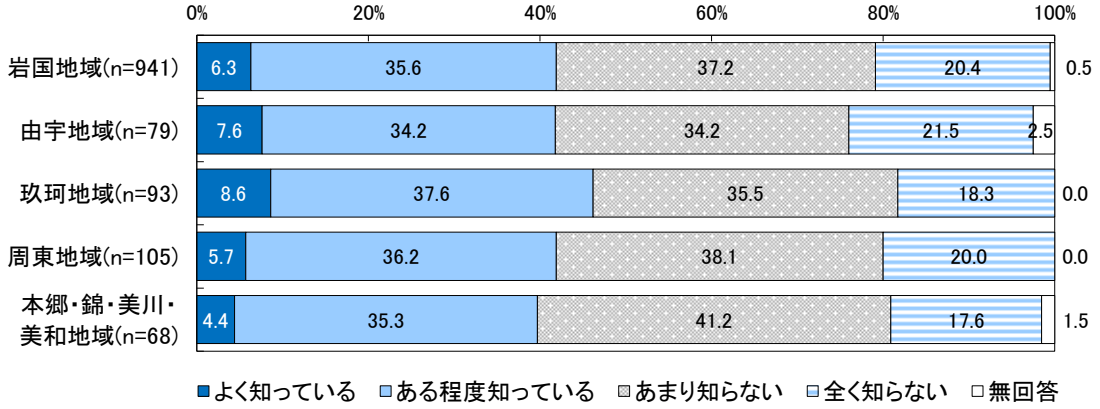
性別にみると、『知らない』と回答した人の割合は、男性で 63.8%、女性で 52.4%となっている。

【相談窓口の認知度（性・年齢別）】



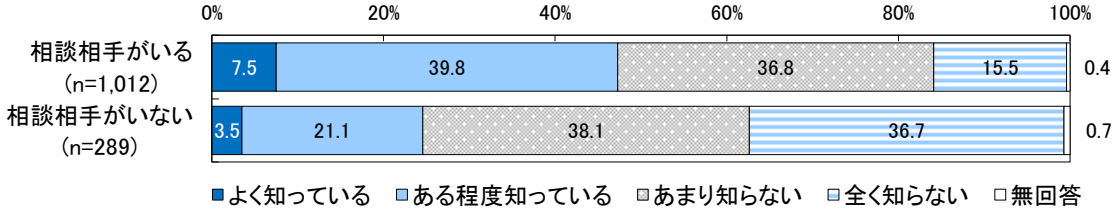
性・年齢別にみると、『知らない』と回答した人の割合は、男性壮年期・高齢期で６割台となっている。

【相談窓口の認知度（居住地域別）】



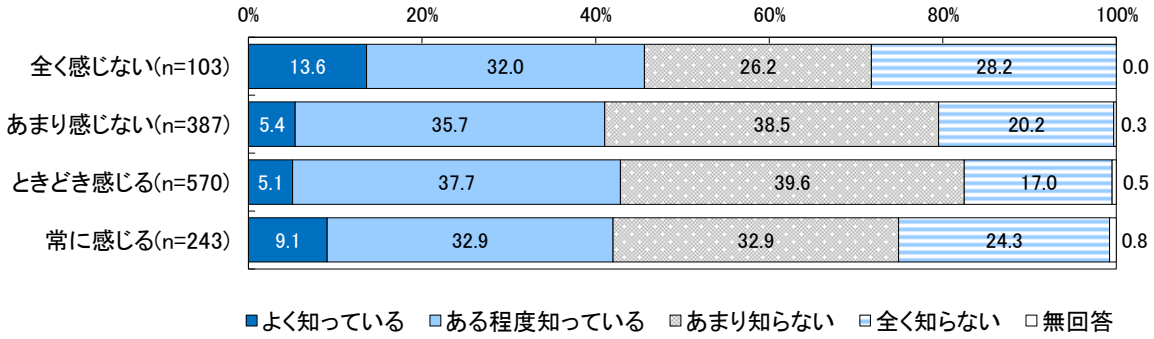
居住地域別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、岩国地域で 41.9%、由宇地域で 41.8%、玖珂地域で 46.2%、周東地域で 41.9%、本郷・錦・美川・美和地域で 39.7%となっている。

【相談窓口の認知度（相談相手の有無別）】



相談相手の有無別にみると、相談相手がいない人は、「全く知らない」と回答した人の割合が 36.7%となっている。

【相談窓口の認知度（ストレスの程度別）】



ストレスの程度別にみると、ストレスを常に感じる人では相談窓口を「全く知らない」と回答した人の割合が 24.3%となっている。

【評価指標】

	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
こころや人間関係の悩みについて相談に応じる相談窓口を知っている市民の割合	35.9%	41.5%	42.2%	43.0%

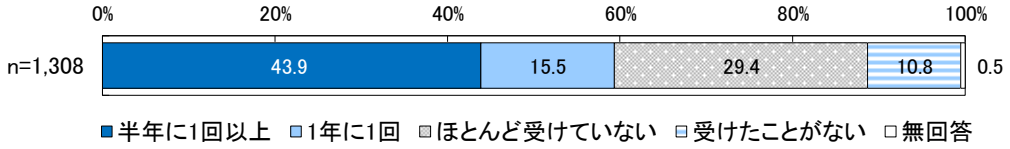
こころや人間関係の悩みについて相談に応じる相談窓口を知っている人の割合は、目標値に達していないが上昇している。

6　歯と口腔

(1)　歯科健診の受診状況

問 30　あなたは、定期的に歯科健診を受けていますか。【○は１つ】

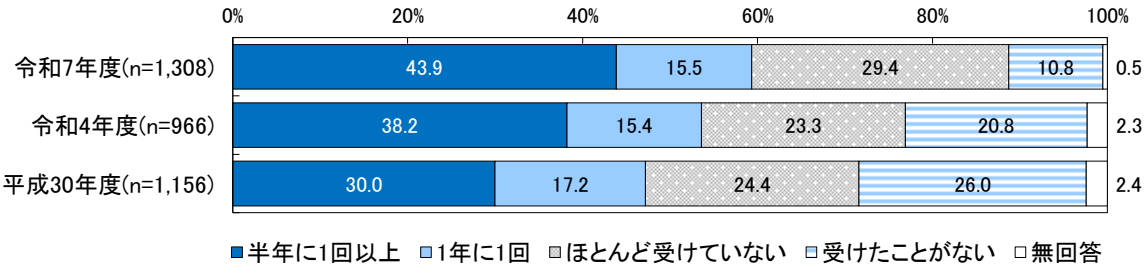
【歯科健診の受診状況】



歯科健診の受診状況について、『１年に１回以上』（「半年に１回以上」+「１年に１回」）と回答した人の割合が 59.4%となっている。

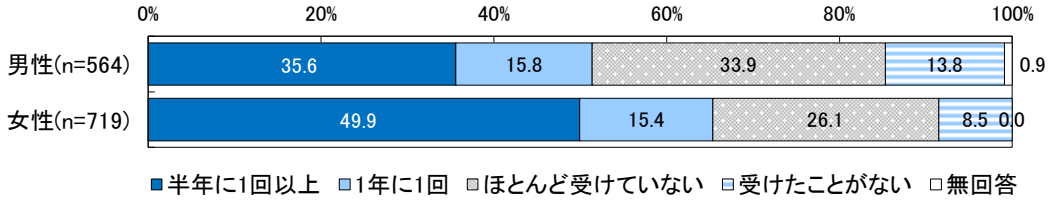
また、「受けたことがない」と回答した人の割合が 10.8%となっている。

【歯科健診の受診状況（経年比較）】



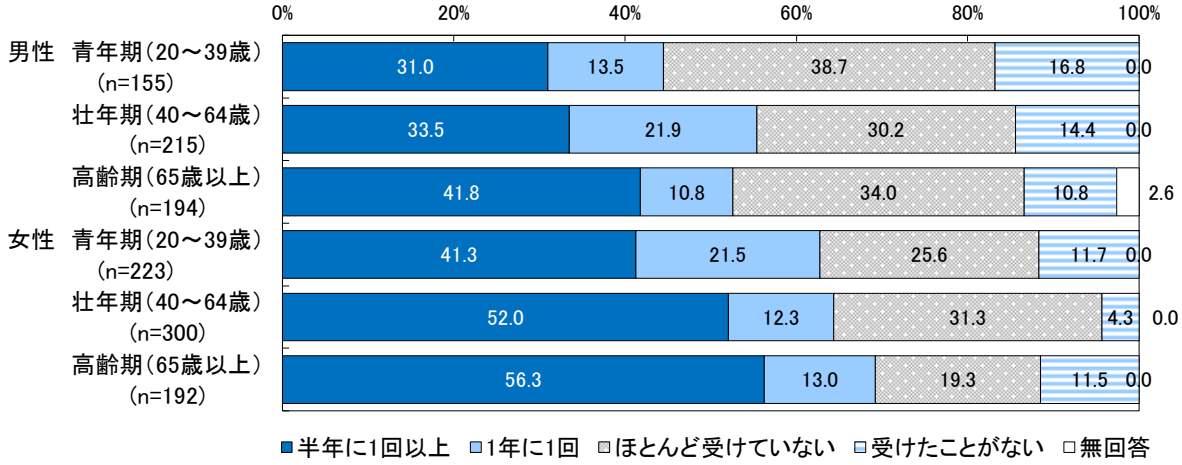
経年比較すると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、上昇している。

【歯科健診の受診状況（性別）】



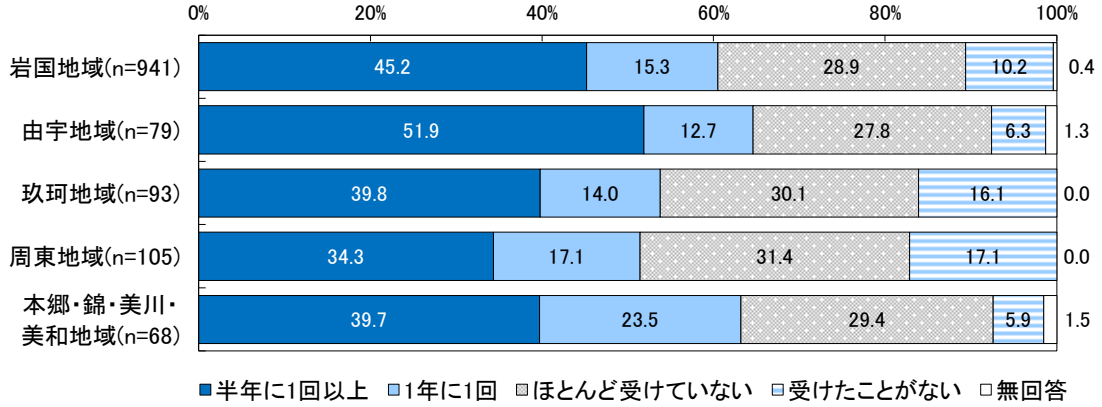
性別にみると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、男性で 51.4%、女性で 65.3%となっている。

【歯科健診の受診状況（性・年齢別）】



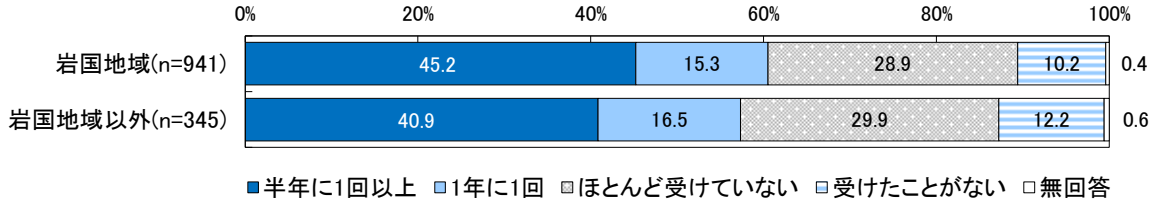
性・年齢別にみると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、女性ではいずれの年齢層も６割を超えているが、男性青年期では 44.5%となっている。

【歯科健診の受診状況（居住地域別）】



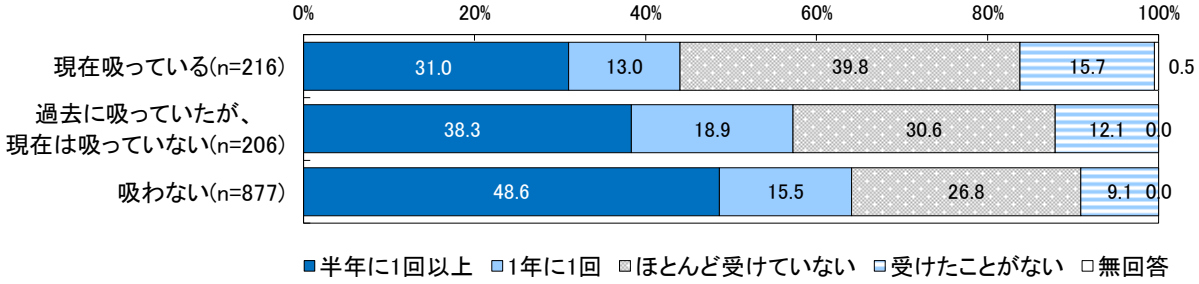
居住地域別にみると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、岩国地域で 60.5%、由宇地域で 64.6%、玖珂地域で 53.8%、周東地域で 51.4%、本郷・錦・美川・美和地域で 63.2%となっている。

【歯科健診の受診状況（居住地域別（再掲））】



岩国地域と岩国地域以外の地域別にみると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、岩国地域で 60.5%、岩国地域以外で 57.4%となっている。

【歯科健診の受診状況（喫煙状況別）】



喫煙状況別にみると、『１年に１回以上』と回答した人の割合は、現在吸っている人で 44.0%、過去に吸っていたが現在は吸っていない人で 57.2%、吸わない人で 64.1%となっている。

【評価指標】

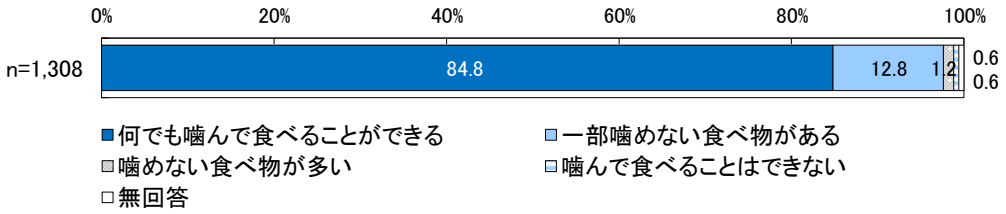
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
年１回以上歯科健康診査を受けている市民の割合	47.2%	53.6%	59.4%	65.0%

年１回以上歯科健康診査を受けている人の割合は、目標値に達していないが上昇している。

(2) 咀嚼状況

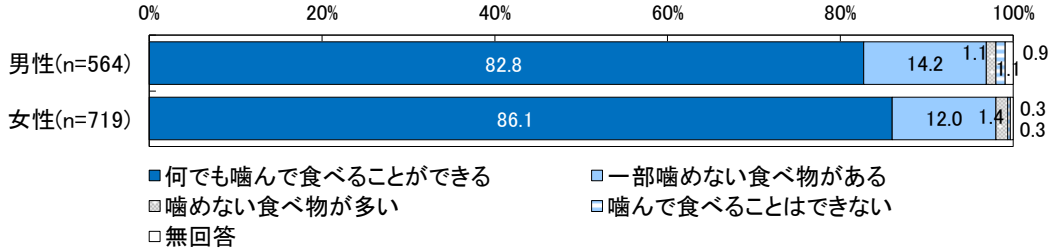
問 31　あなたは現在、食べ物を噛んで食べることができていますか。【○は１つ】

【食べ物の咀嚼状況】



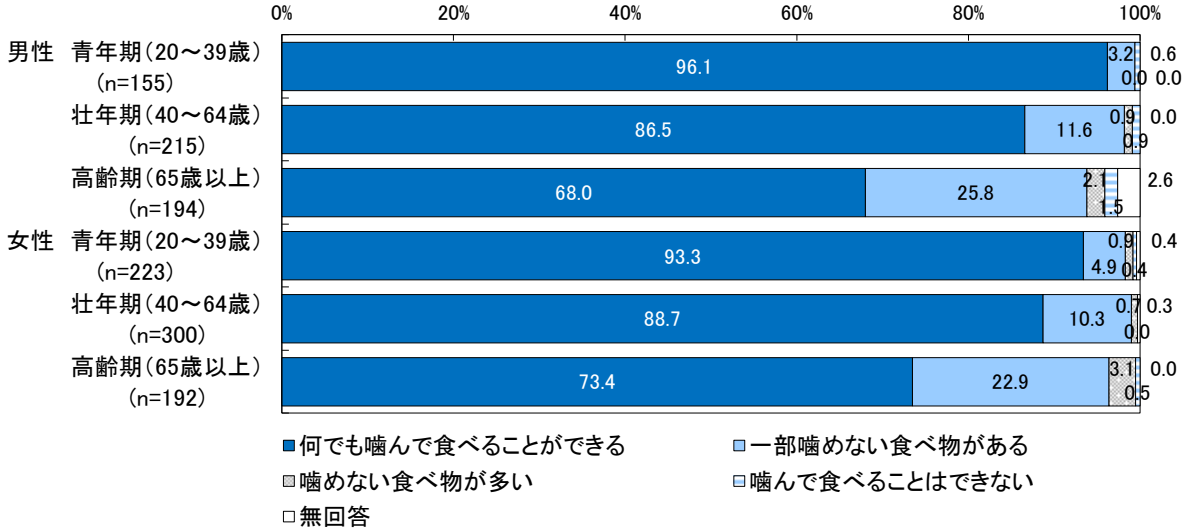
食べ物の咀嚼状況について、「何でも噛んで食べることができる」と回答した人の割合が 84.8%、「一部噛めない食べ物がある」と回答した人の割合が 12.8%となっている。

【食べ物の咀嚼状況（性別）】



性別にみると、「何でも噛んで食べることができる」と回答した人の割合は、男女ともに８割台となっている。

【食べ物の咀嚼状況（性・年齢別）】

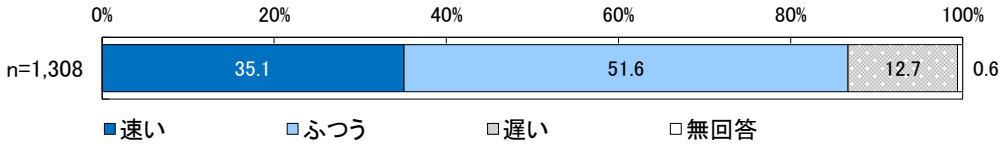


性・年齢別にみると、「何でも噛んで食べることができる」と回答した人の割合は、男性高齢期で 68.0%、女性高齢期で 73.4%となっている。

(3) 食べる速さの程度

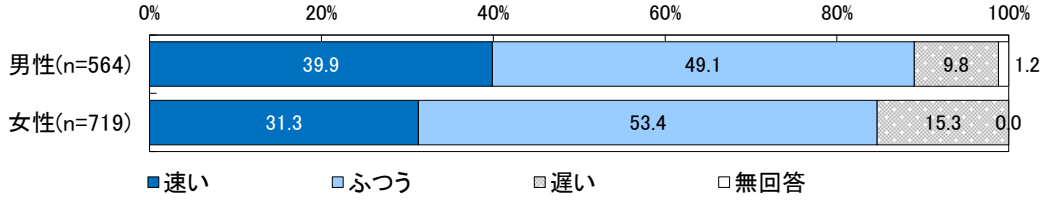
問 32　あなたは、人と比較して食べる速度が速いですか。【○は１つ】

【食べる速さの程度】



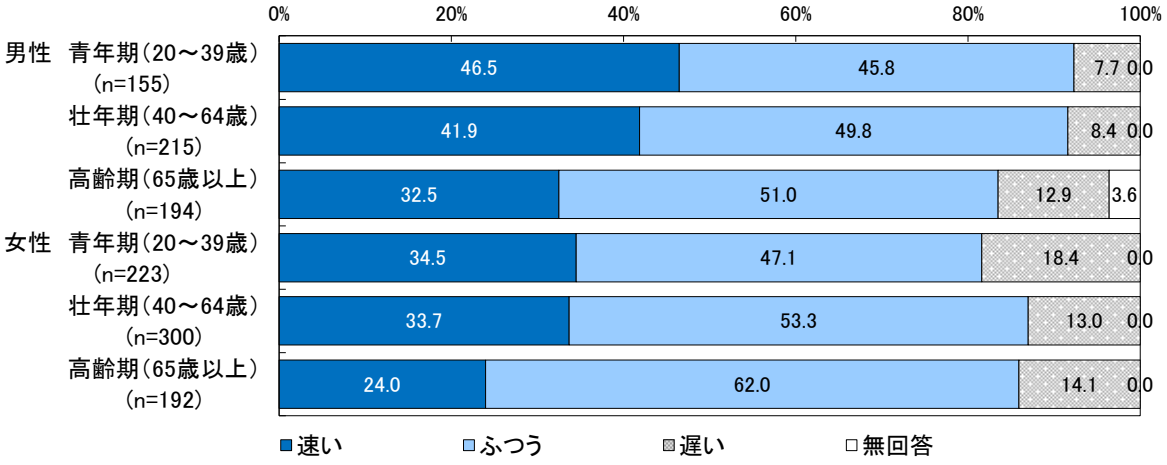
食べる速さの程度について、「速い」と回答した人の割合が 35.1%、「遅い」と回答した人の割合が 12.7%となっている。

【食べる速さの程度（性別）】



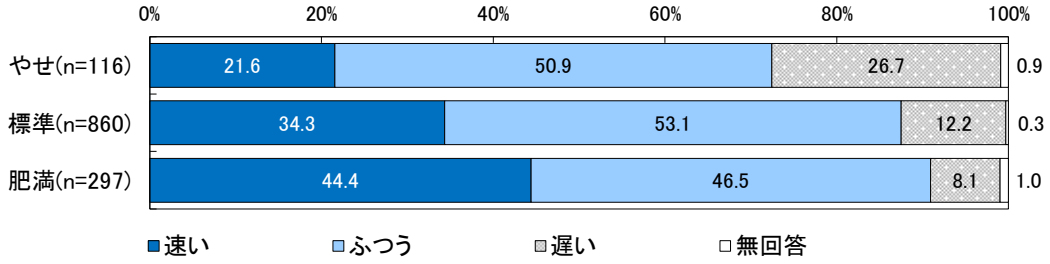
性別にみると、「速い」と回答した人の割合は、男女ともに３割台となっている。

【食べる速さの程度（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「速い」と回答した人の割合は、男性青年期・壮年期で４割台となっている。

【食べる速さの程度（ＢＭＩ別）】

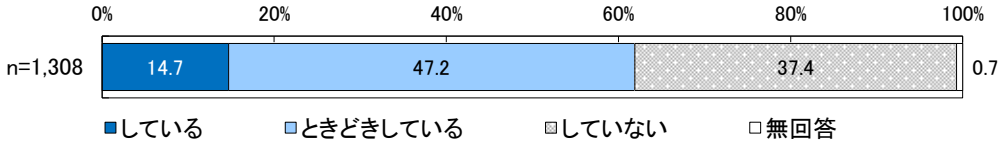


ＢＭＩ別にみると、「速い」と回答した人の割合は、やせに該当する人で 21.6%、標準に該当する人で 34.3%、肥満に該当する人で 44.4%となっている。

(4)　ゆっくりよく噛んで食べることを意識している状況

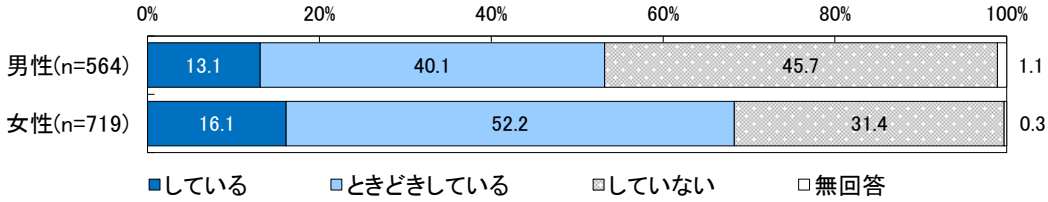
問 33　あなたは、ゆっくりよく噛んで食べることを意識していますか。【○は１つ】

【ゆっくりよく噛んで食べることを意識する状況】



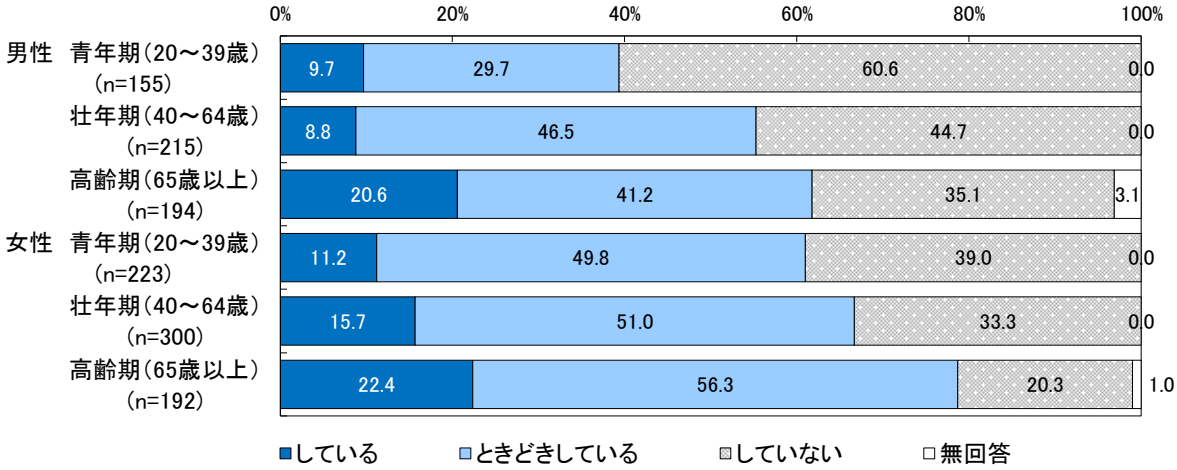
ゆっくりよく噛んで食べることを意識する状況について、『している』(「している」+「ときどきしている」) と回答した人の割合が 61.9%、「していない」と回答した人の割合が 37.4%となっている。

【ゆっくりよく噛んで食べることを意識する状況（性別）】



性別にみると、『している』と回答した人の割合は、男性で 53.2%、女性で 68.3%となっている。

【ゆっくりよく噛んで食べることを意識する状況（性・年齢別）】



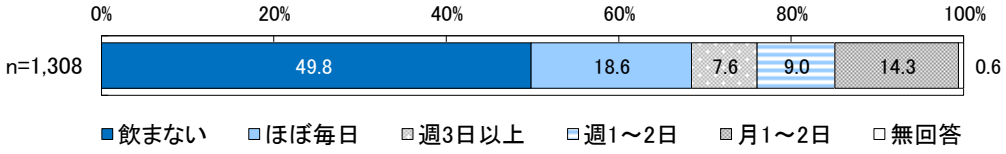
性・年齢別にみると、「していない」と回答した人の割合は、男女ともに若い年齢層で高く、男性青年期では 60.6%となっている。

7　飲酒

(1)　飲酒頻度

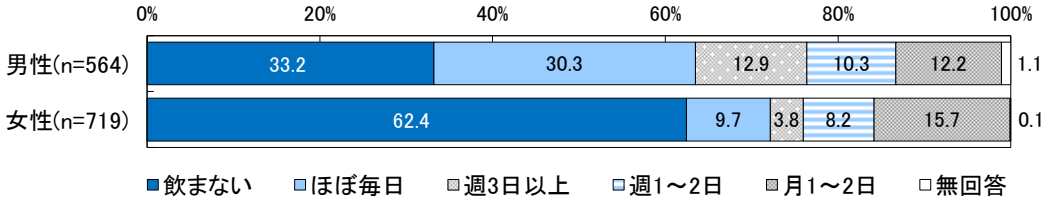
問 34　あなたは、週に何日くらいお酒を飲みますか。【○は１つ】

【飲酒頻度】



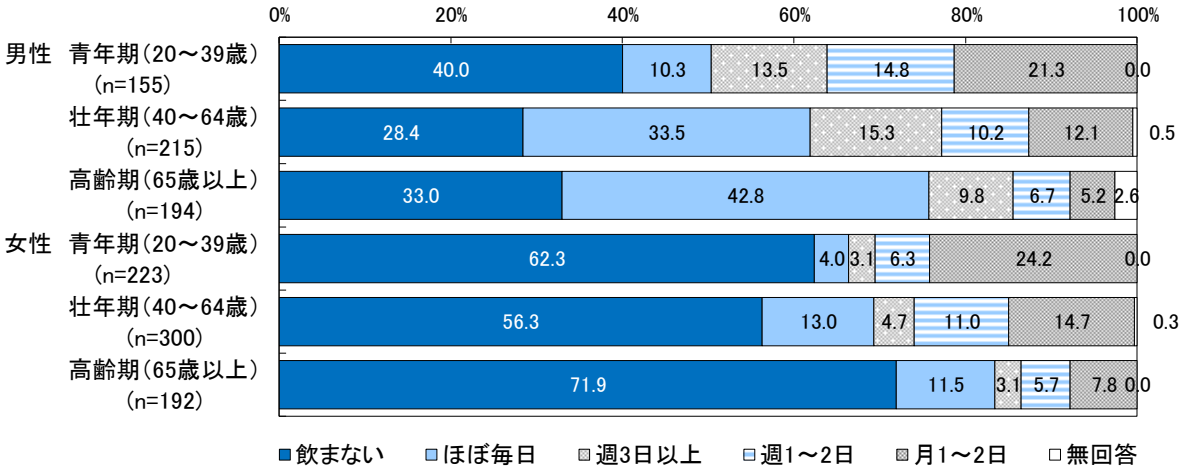
飲酒頻度について、「ほぼ毎日」と回答した人の割合が 18.6%、「週３日以上」と回答した人の割合が 7.6%となっている。

【飲酒頻度（性別）】



性別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、男性で 30.3%、女性で 9.7%となっている。

【飲酒頻度（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、男性高齢期で 42.8%、男性壮年期で 33.5%となっている。

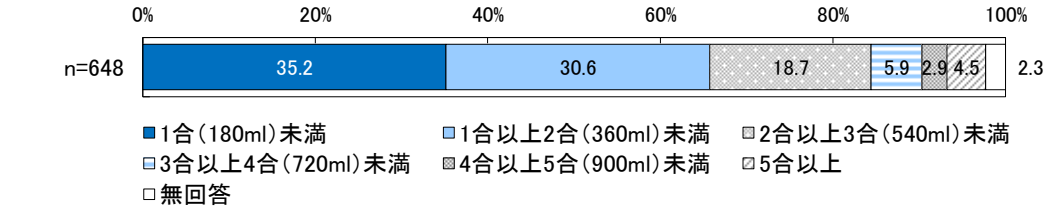
(2) 飲酒量

問 34 で２～５と回答した人のみ回答

問 34－１　お酒を飲む日は、１日にどのくらいの量を飲みますか。（清酒に換算）

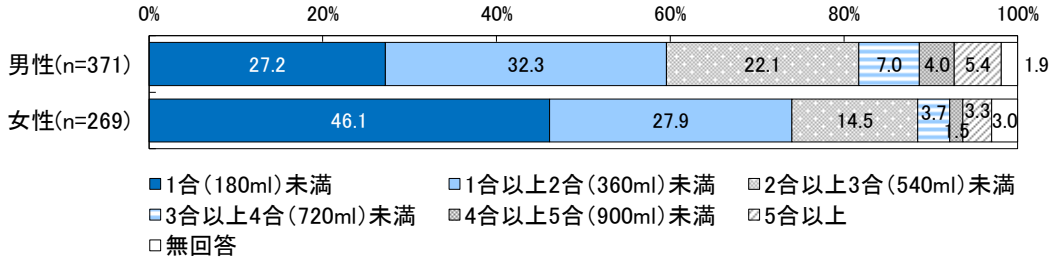
【○は１つ】

【飲酒量】



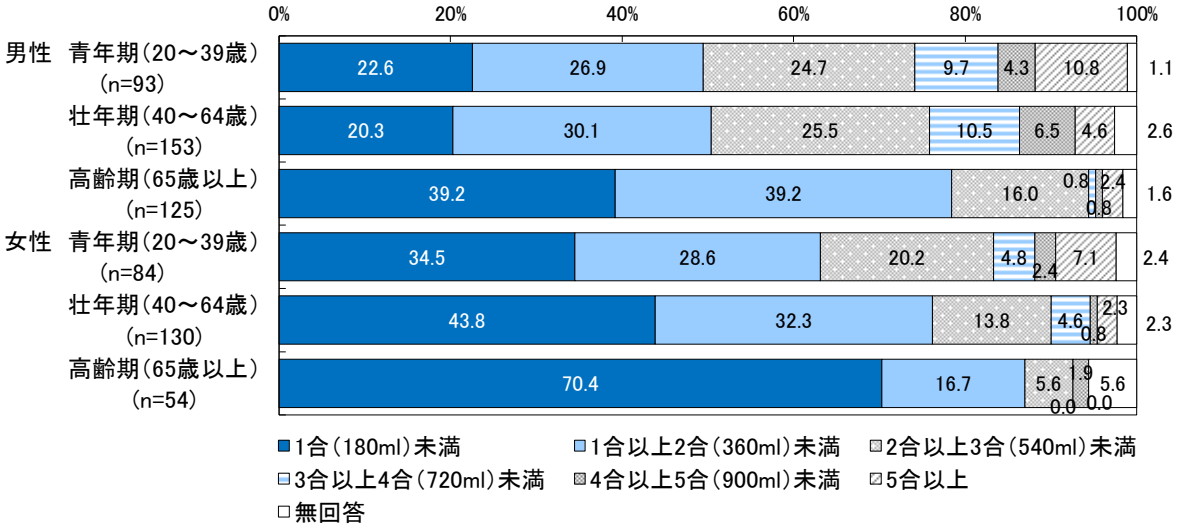
飲酒量について、『２合以上』と回答した人の割合が 32.0%となっている。

【飲酒量（性別）】



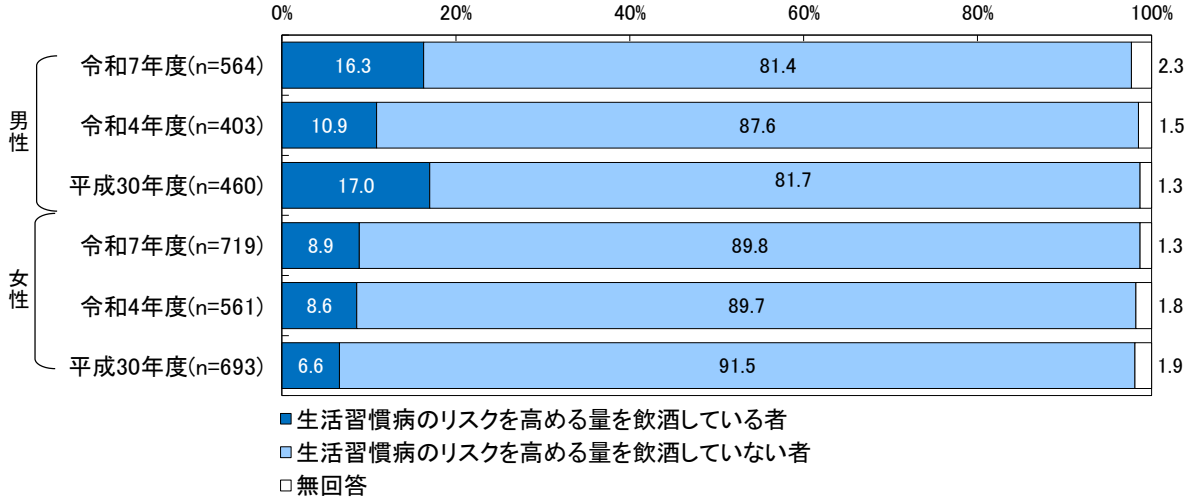
性別にみると、男性では『２合以上』と回答した人の割合が 38.5%、女性では『１合以上』と回答した人の割合が 50.9%となっている。

【飲酒量（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、男性では『２合以上』と回答した人の割合は、青年期・壮年期で４割台、女性では『１合以上』と回答した人の割合は、青年期で 63.1%、壮年期で 53.8%となっている。

【生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（性別・経年比較）】



経年比較すると、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は、男性で令和４年より上昇している。

＊「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」とは、１日当たりの純アルコール摂取量が男性で 40ｇ以上、女性で 20ｇ以上の者とし、以下の方法で算出。（国民健康・栄養調査の算出方法に同じ）

①男性：「毎日×２合以上」＋「週５～６日×２合以上」＋「週３～４日×３合以上」＋「週１～２日×５合以上」＋「月１～３日×５合以上」
②女性：「毎日×１合以上」＋「週５～６日×１合以上」＋「週３～４日×１合以上」＋「週１～２日×３合以上」＋「月１～３日×５合以上」

【評価指標】

		平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒（1 日当たり純アルコール摂取量が男性 40g以上、女性 20g以上）している市民の割合	男性	17.0%	10.9%	16.3%	10.0%
	女性	6.6%	8.6%	8.9%	5.8%

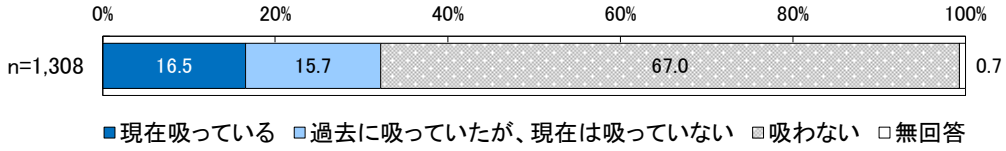
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は、男女ともに目標値に達していない。

8　喫煙

(1)　喫煙状況

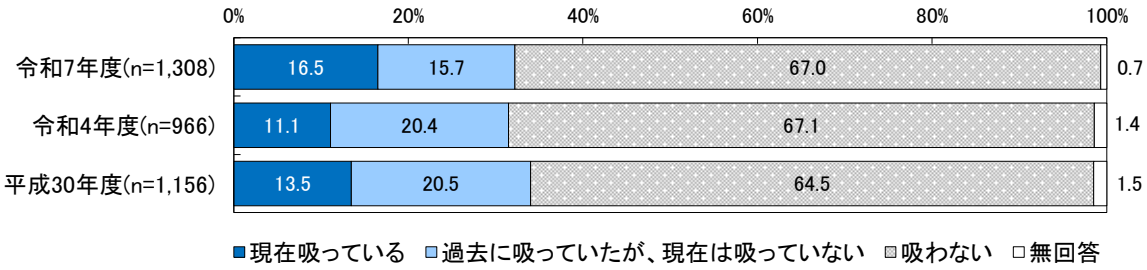
問 35　あなたは、たばこを吸いますか。【○は１つ】

【喫煙状況】



喫煙状況について、「現在吸っている」と回答した人の割合が 16.5%、「過去に吸っていたが、現在は吸っていない」と回答した人の割合が 15.7%、「吸わない」と回答した人の割合が 67.0%となっている。

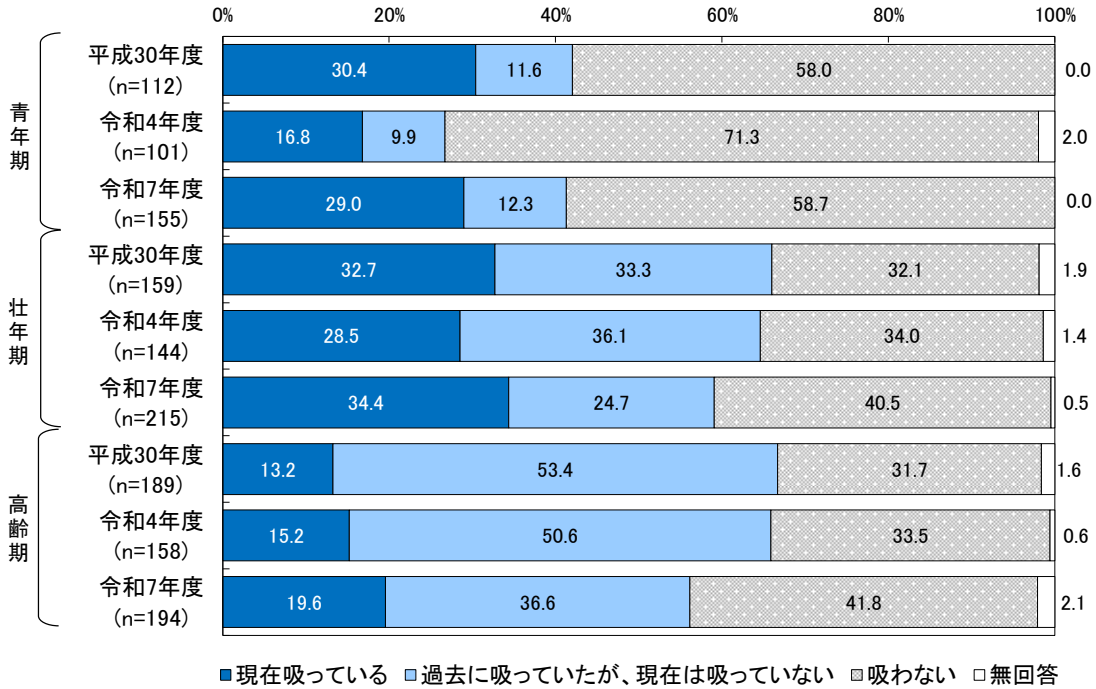
【喫煙状況（経年比較）】



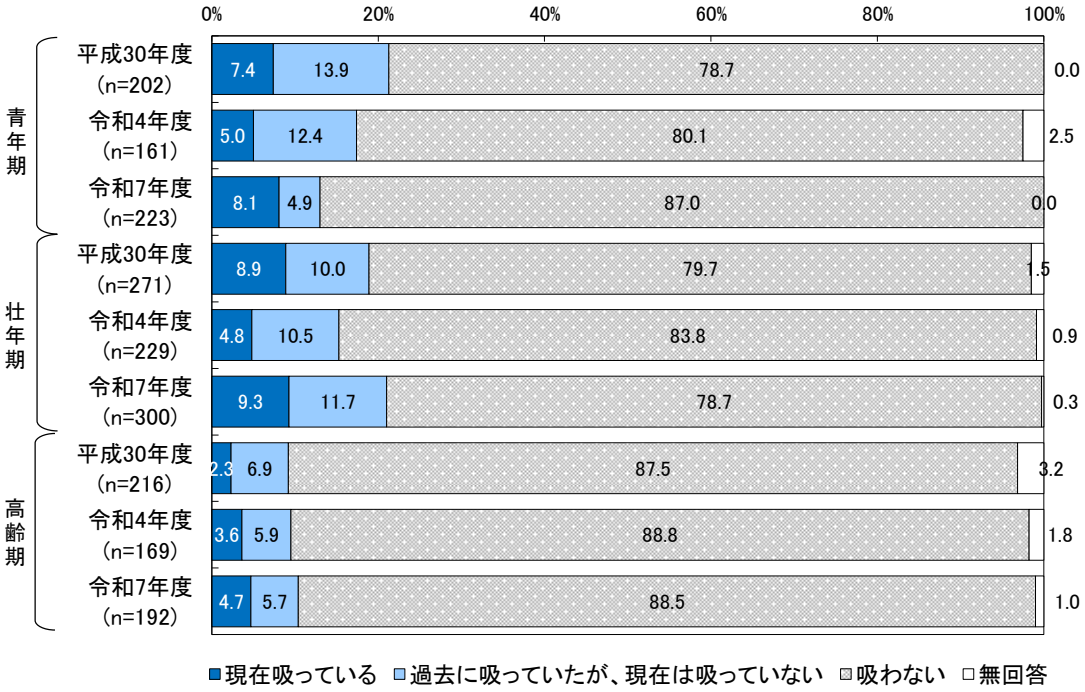
経年比較すると、「現在吸っている」と回答した人の割合は、令和４年度より上昇している。

【喫煙状況（経年比較/性・年齢別）】

＜男性＞

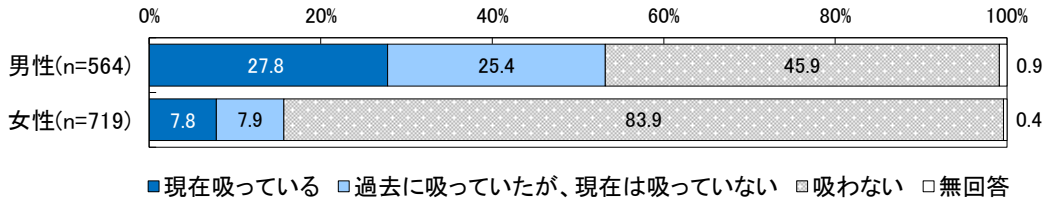


＜女性＞



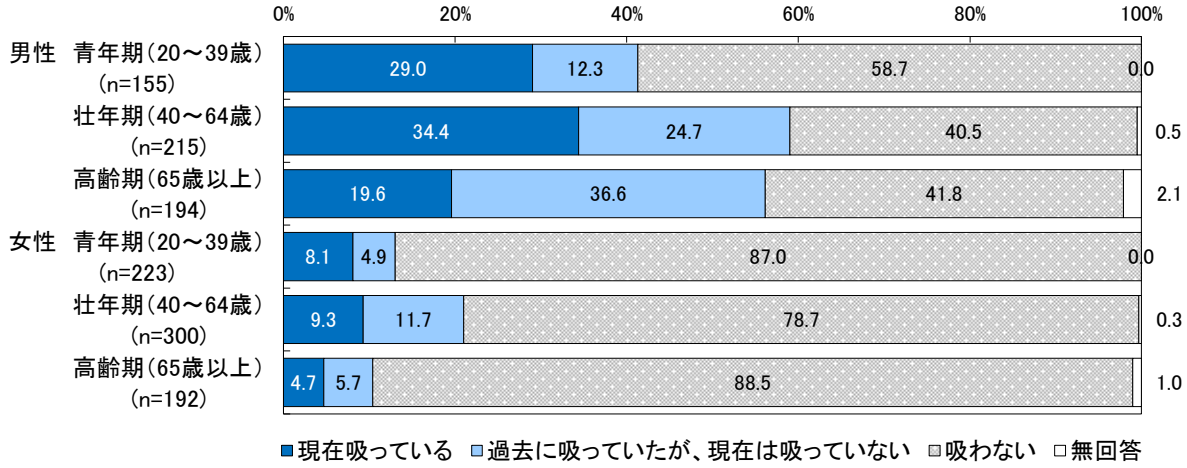
性・年齢別に経年比較すると、男女ともに「現在吸っている」と回答した人の割合が青年期、壮年期で令和４年度より上昇している。

【喫煙状況（性別）】



性別にみると、「現在吸っている」と回答した人の割合は、男性で 27.8%、女性で 7.8%となっている。

【喫煙状況（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「現在吸っている」と回答した人の割合は、男性壮年期で 34.4%、男性青年期で 29.0%となっている。

【評価指標】

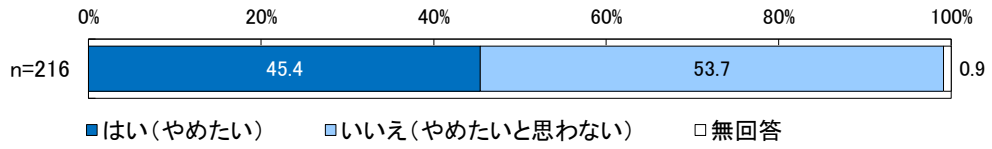
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
市民の喫煙率（喫煙をやめたい者がやめる）	13.5%	11.1%	16.5%	9.5%

喫煙率について、目標値に達していない。

問 35 で「１　現在吸っている」と回答した人のみ回答

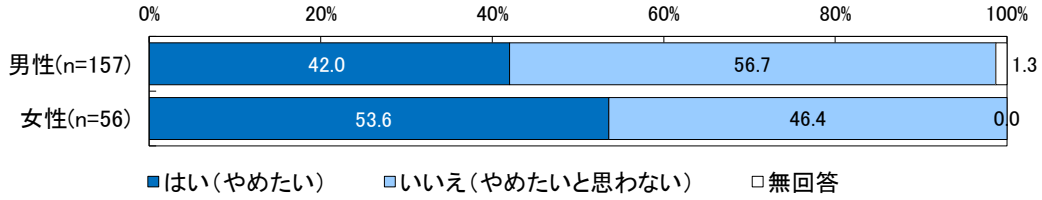
問 35－１　たばこをやめたいと思いますか。【○は１つ】

【禁煙意向】



禁煙意向について、「はい（やめたい）」と回答した人の割合が 45.4%、「いいえ（やめたいと思わない）」と回答した人の割合が 53.7%となっている。

【禁煙意向（性別）】

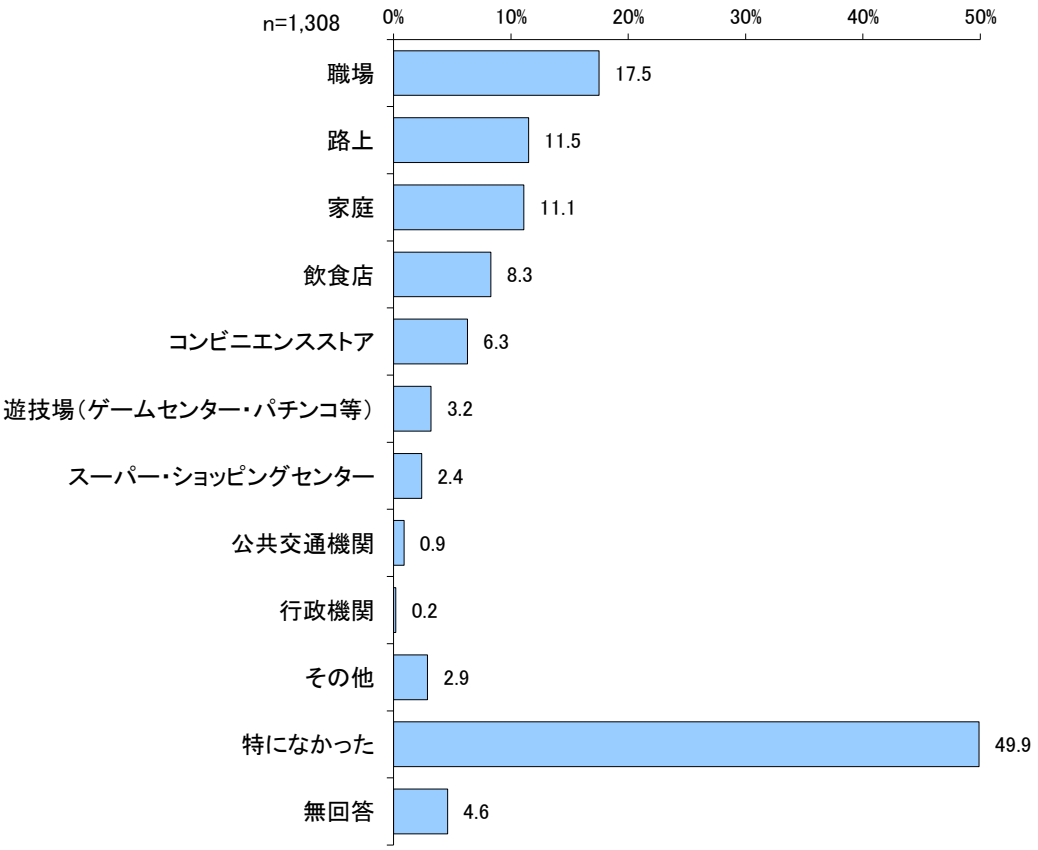


性別にみると、「はい（やめたい）」と回答した人の割合は、男性で 42.0%、女性で 53.6%となっている。

(2) 受動喫煙の状況

問 36　あなたがこの１か月間に、「受動喫煙」（自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う）の機会が多くあった場所はどこですか。【○はあてはまるもの全て】

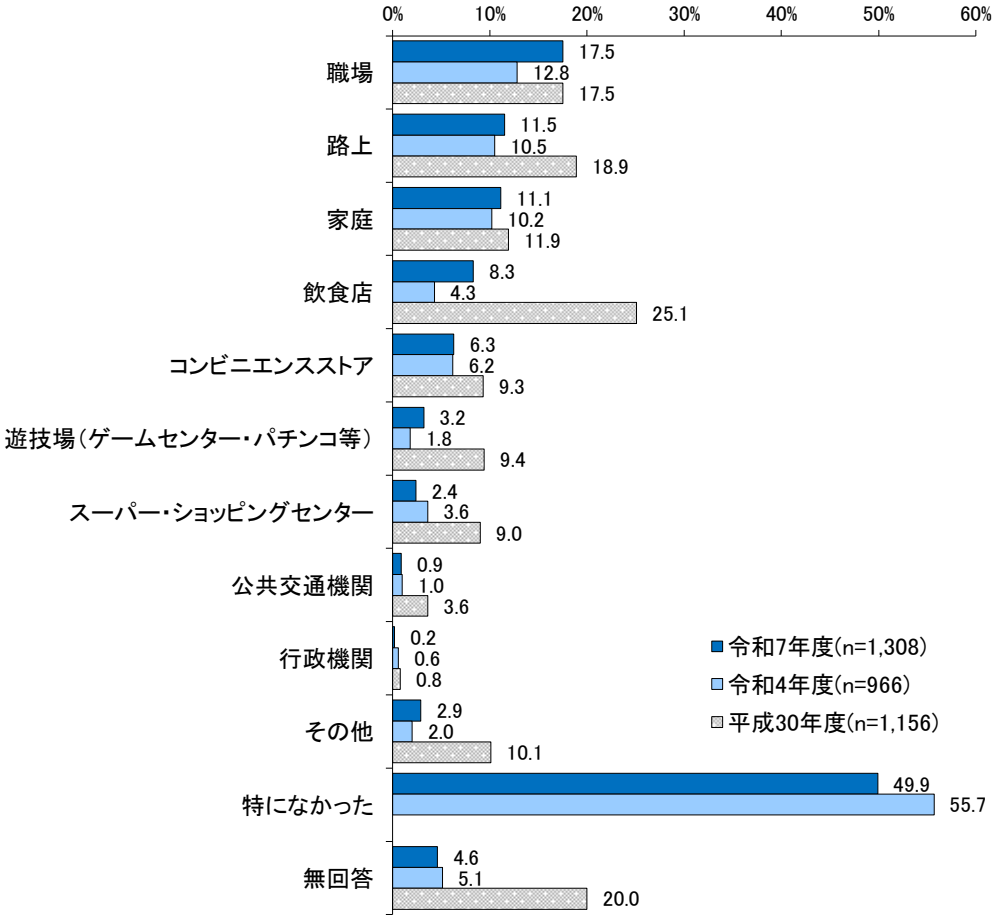
【受動喫煙の機会が多くあった場所】



受動喫煙の機会が多くあった場所について、「職場」と回答した人の割合が 17.5%と最も高く、「路上」（11.5%）、「家庭」（11.1%）が続いている。

また、「特になかった」と回答した人の割合が 49.9%となっている。

【受動喫煙の機会が多くあった場所（経年比較）】

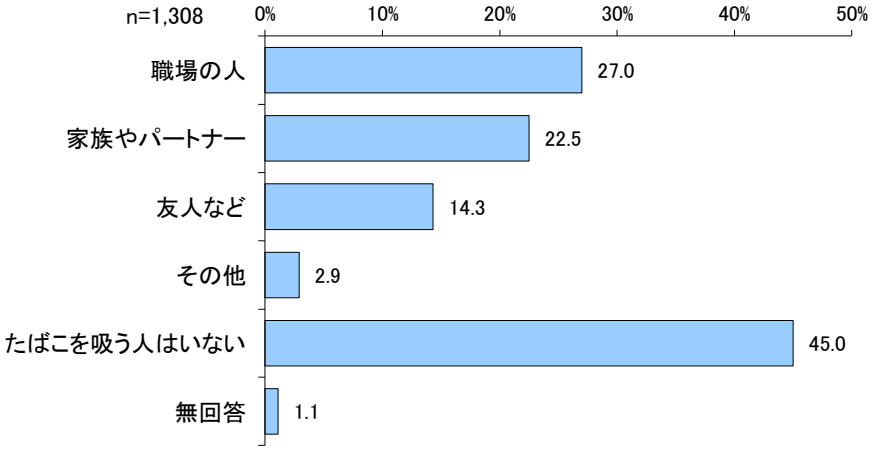


経年比較すると、「飲食店」と回答した人の割合は、低下している。

(3)　身近な人の喫煙状況

問 37　あなたの身近な人で、たばこを吸う人はいますか。【○はあてはまるもの全て】

【身近な人の喫煙状況】



身近な人の喫煙状況について、「職場の人」と回答した人の割合が 27.0%、「家族やパートナー」と回答した人の割合が 22.5%、「友人など」と回答した人の割合が 14.3%となっている。

【身近な人の喫煙状況（性・年齢別）】

	回答数	職場の人	家族やパートナー	友人など	その他	たばこを吸う人はいない	無回答
男性　青年期(20～39歳)	155	56.1%	17.4%	31.6%	－	23.2%	－
壮年期(40～64歳)	215	54.0%	15.8%	20.9%	1.4%	31.6%	0.5%
高齢期(65歳以上)	194	15.5%	6.2%	18.6%	3.1%	55.7%	4.1%
女性　青年期(20～39歳)	223	19.7%	37.7%	11.7%	2.2%	41.3%	0.4%
壮年期(40～64歳)	300	21.3%	30.7%	6.3%	3.0%	47.0%	0.7%
高齢期(65歳以上)	192	2.1%	20.8%	4.7%	6.8%	66.7%	0.5%

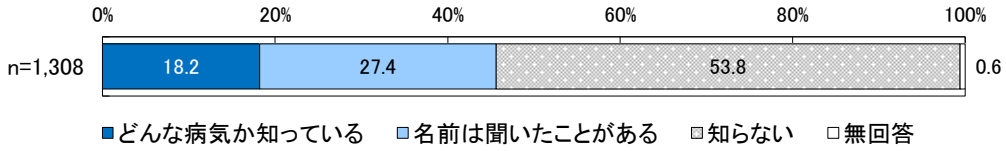
性・年齢別にみると、「職場の人」と回答した人の割合は、男性青年期・壮年期で５割台となっている。

「家族やパートナー」と回答した人の割合は、女性青年期・壮年期で３割台となっている。

(4)　ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

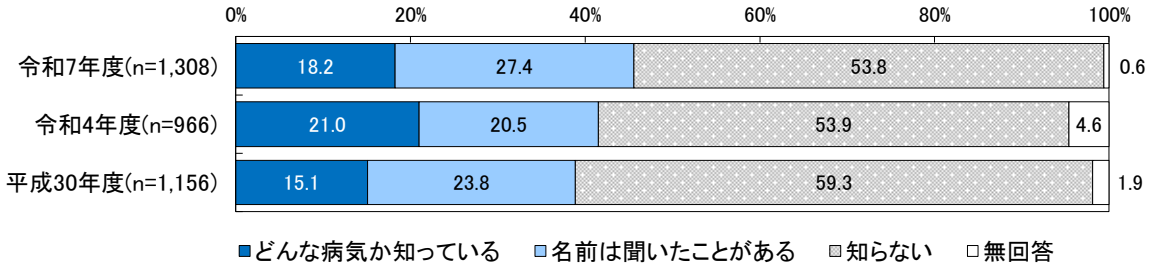
問 38　あなたは、「ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）」という病気を知っていますか。【○は１つ】

【ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度】



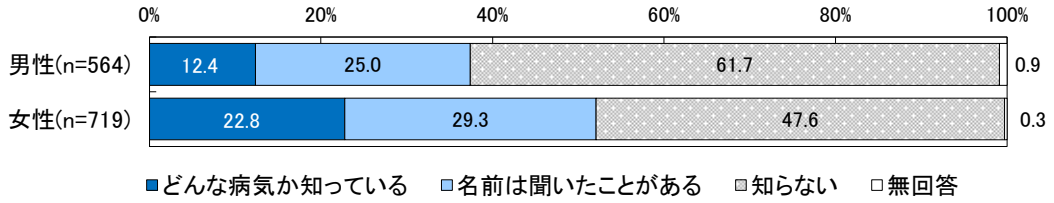
ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度について、「どんな病気か知っている」と回答した人の割合が 18.2%、「知らない」と回答した人の割合が 53.8%となっている。

【ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（経年比較）】



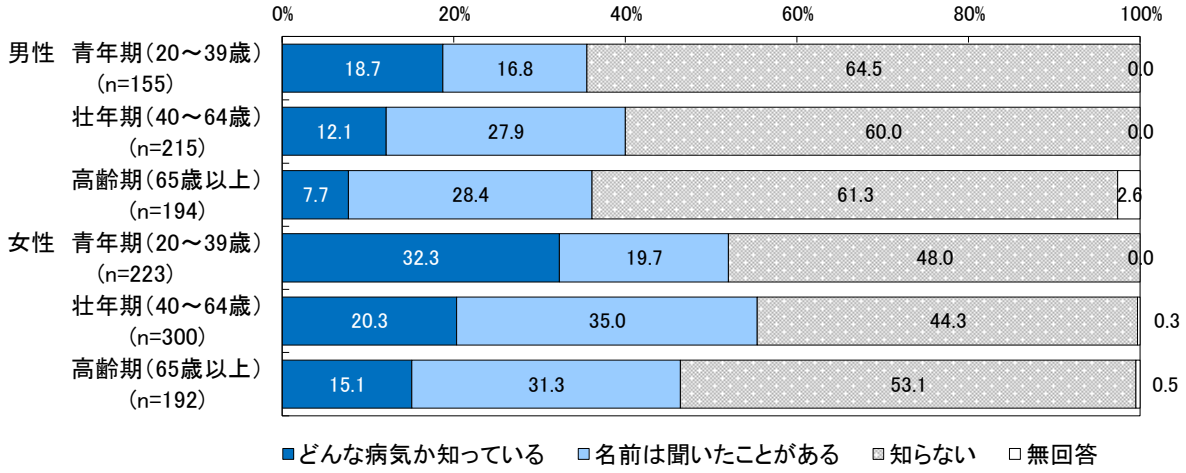
経年比較すると、「どんな病気か知っている」と回答した人の割合は、令和４年度より低下している。

【ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（性別）】



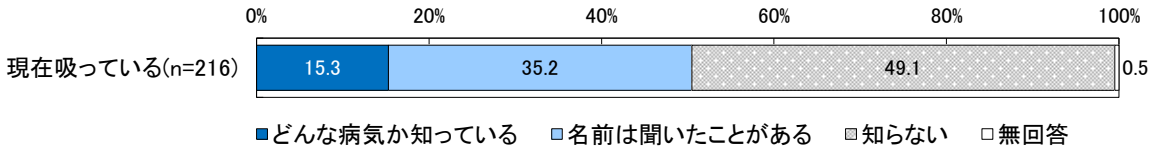
性別にみると、「どんな病気か知っている」と回答した人の割合は、男性で 12.4%、女性で 22.8%となっている。

【ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「どんな病気か知っている」と回答した人の割合は、男性のいずれの年齢層、女性高齢期で２割未満となっている。

【ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（たばこを現在吸っている人）】



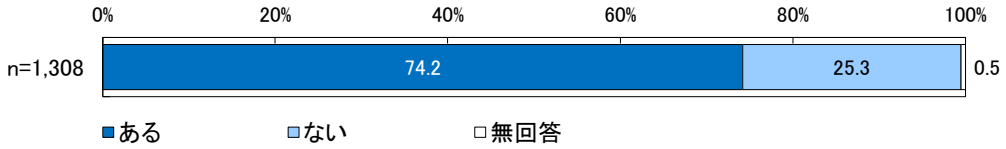
たばこを現在吸っている人では「どんな病気か知っている」と回答した人の割合が 15.3%となっている。

9　健診・がん検診

(1)　健診の受診状況

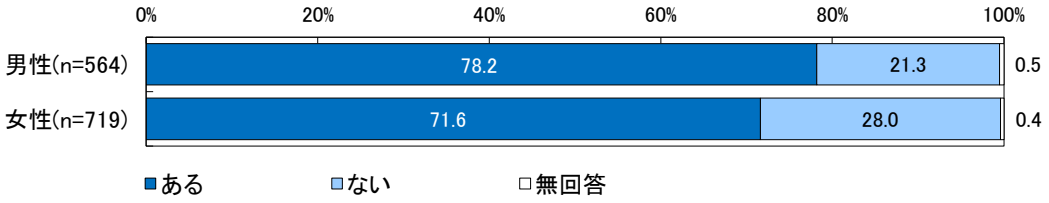
問 39　あなたは、過去１年間に健診等（健康診断、健康診査および人間ドック）を受けたことがありますか。【○は１つ】

【過去１年間の健診等の受診の有無】



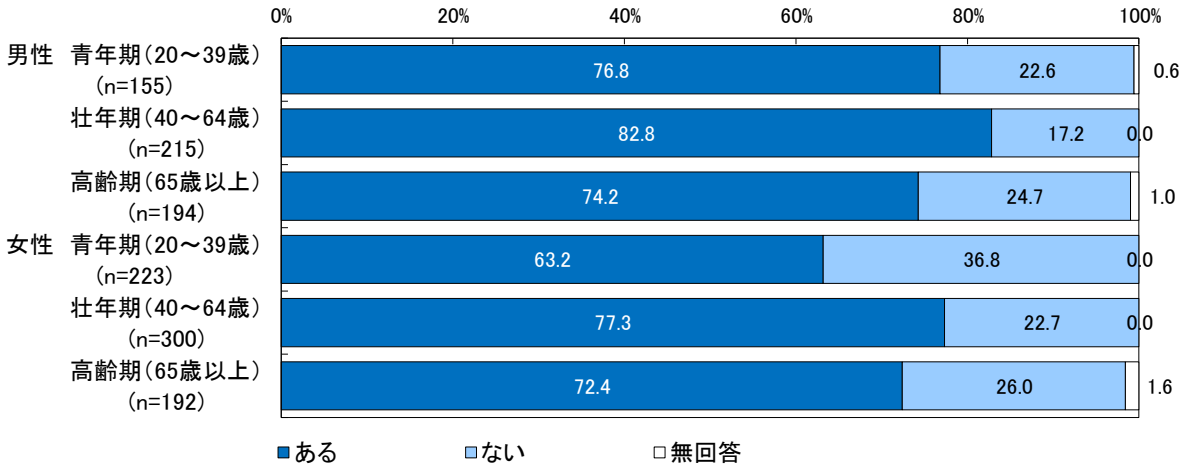
過去１年間の健診等の受診の有無について、「ある」と回答した人の割合が 74.2%、「ない」と回答した人の割合が 25.3%となっている。

【過去１年間の健診等の受診の有無（性別）】



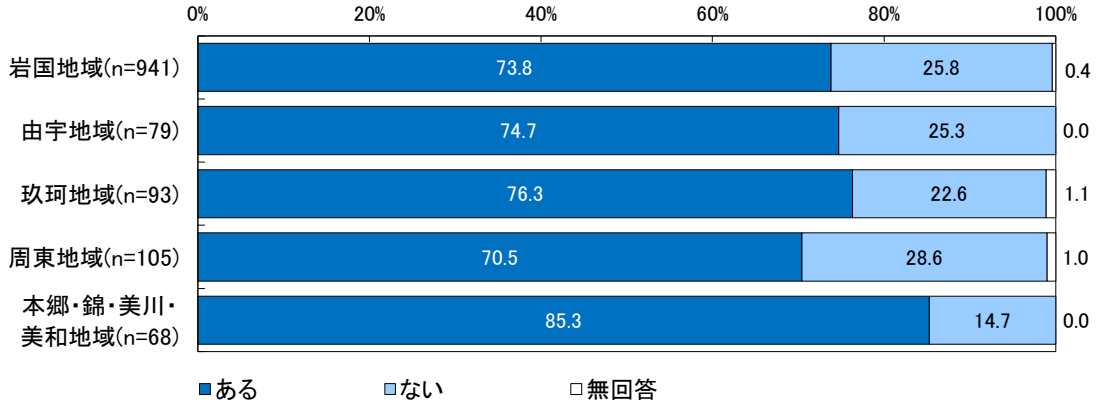
性別にみると、「ある」と回答した人の割合は、男女ともに７割台となっている。

【過去１年間の健診等の受診の有無（性・年齢別）】



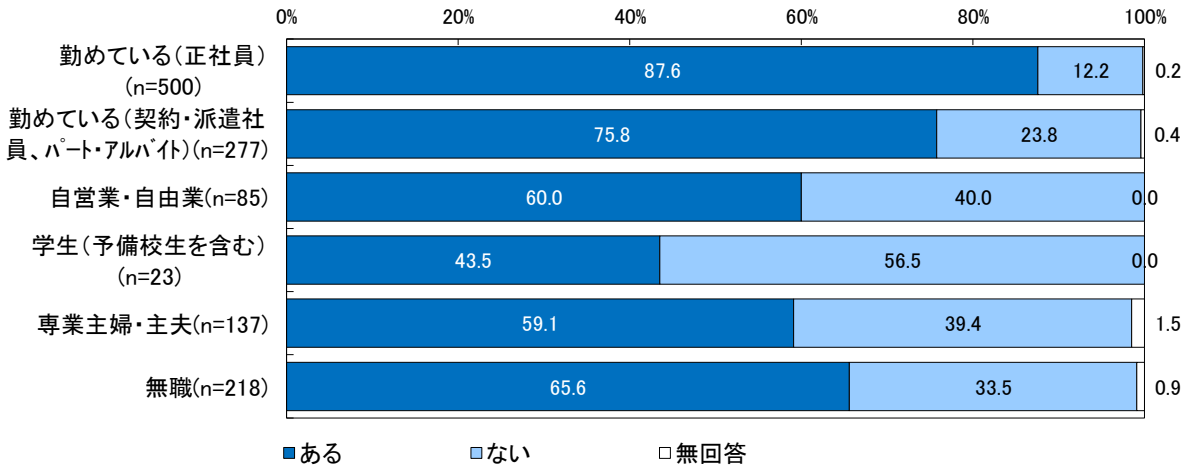
性・年齢別にみると、「ない」と回答した人の割合は、女性青年期で 36.8%となっている。

【過去１年間の健診等の受診の有無（居住地域別）】



居住地域別にみると、「ある」と回答した人の割合は、岩国地域で 73.8%、由宇地域で 74.7%、玖珂地域で 76.3%、周東地域で 70.5%、本郷・錦・美川・美和地域で 85.3%となっている。

【過去１年間の健診等の受診の有無（就労・就学状況別）】

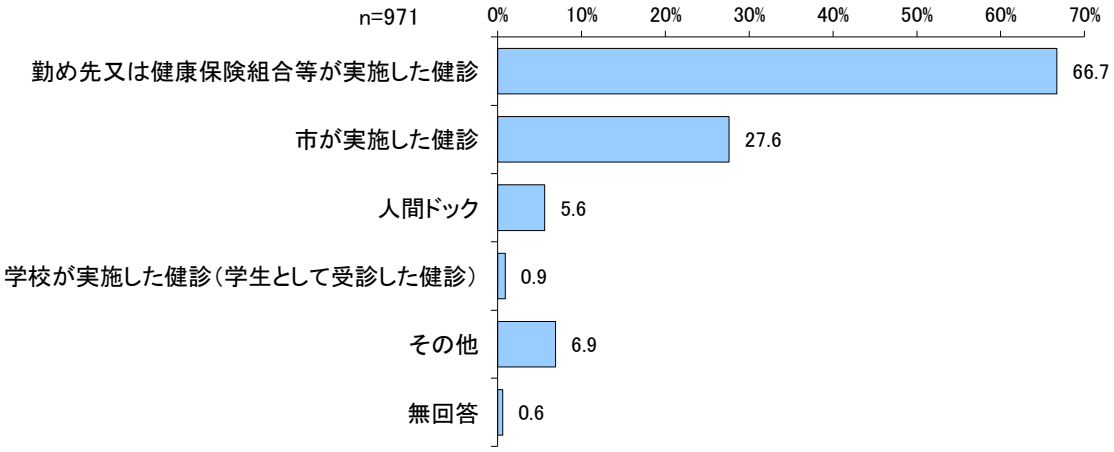


就労・就学状況別にみると、「ない」と回答した人の割合は、自営業・自由業で 40.0%、学生で 56.5%、専業主婦・主夫で 39.4%、無職で 33.5%となっている。

問 39 で「１　ある」と回答した人のみ回答

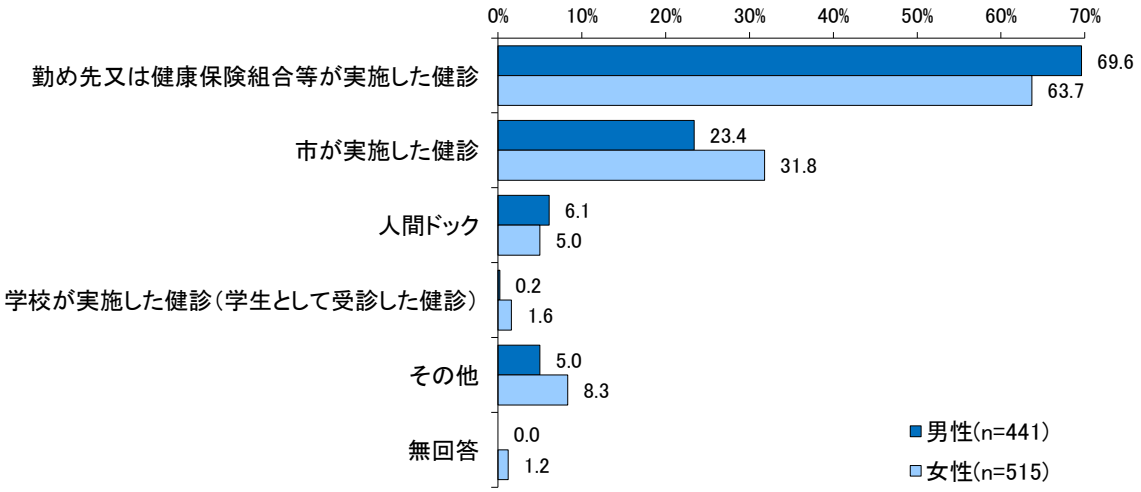
問 39－１　どのような機会に健診等を受けましたか。【○はあてはまるもの全て】

【健診を受診した機会】



健診を受診した機会について、「勤め先又は健康保険組合等が実施した健診」と回答した人の割合が 66.7％と最も高く、次いで「市が実施した検診」（27.6％）となっている。

【健診を受診した機会（性別）】



性別にみると、「勤め先又は健康保険組合等が実施した健診」と回答した人の割合は、男女ともに６割台となっている。

「市が実施した検診」と回答した人の割合は、男性で 23.4％、女性で 31.8％となっている。

【健診を受診した機会（性・年齢別）】

	回答数	勤め先又は健康保険組合等が実施した健診	市が実施した健診	人間ドック	学校が実施した健診（学生として受診した健診）	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	119	97.5%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	－
壮年期(40～64歳)	178	88.2%	6.2%	10.1%	－	0.6%	－
高齢期(65歳以上)	144	23.6%	63.2%	5.6%	－	13.9%	－
女性　青年期(20～39歳)	141	80.1%	14.9%	3.5%	5.7%	3.5%	－
壮年期(40～64歳)	232	79.3%	22.8%	6.9%	－	4.7%	0.9%
高齢期(65歳以上)	139	20.9%	64.0%	3.6%	－	19.4%	2.9%

性・年齢別にみると、「勤め先又は健康保険組合等が実施した健診」と回答した人の割合は、男女ともに青年期・壮年期で高くなっている。

「市が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で高くなっている。

【健診を受診した機会（就労・就学状況別）】

	回答数	勤め先又は健康保険組合等が実施した健診	市が実施した健診	人間ドック	学校が実施した健診（学生として受診した健診）	その他	無回答
勤めている(正社員)	438	93.4%	4.1%	7.3%	－	0.9%	0.2%
勤めている(契約・派遣社員、パート・アルバイト)	210	80.0%	26.2%	3.3%	－	5.2%	1.4%
自営業・自由業	51	33.3%	45.1%	9.8%	－	15.7%	－
学生(予備校生を含む)	10	－	20.0%	－	90.0%	－	－
専業主婦・主夫	81	22.2%	60.5%	2.5%	－	22.2%	1.2%
無職	143	11.9%	73.4%	3.5%	－	15.4%	0.7%

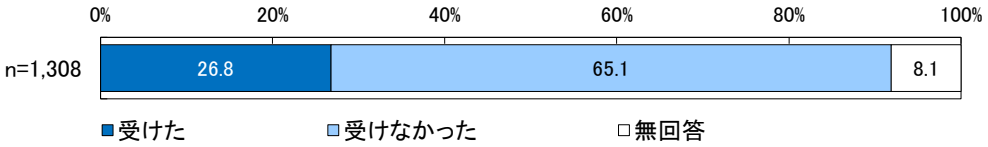
就労・就学状況別にみると、勤めている（正社員）、勤めている（契約・派遣社員、パート・アルバイト）では「勤め先又は健康保険組合等が実施した健診」と回答した人の割合が高く８割以上、自営業・自由業、専業主婦・主夫、無職では「市が実施した検診」と回答した人の割合が高くなっている。

(2) がん検診の受診状況

問 40－１　過去１年間に、以下のがん検診を受けましたか。【○はあてはまるもの全て】

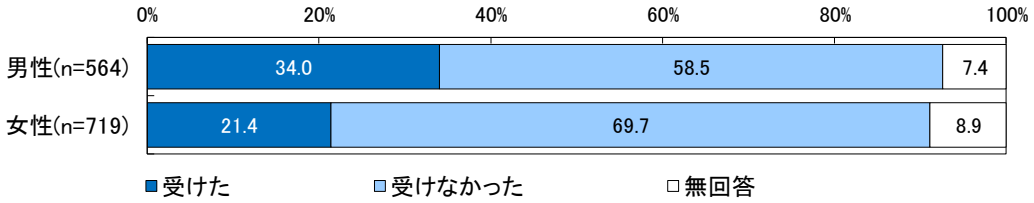
①　胃がん検診

【胃がん検診】



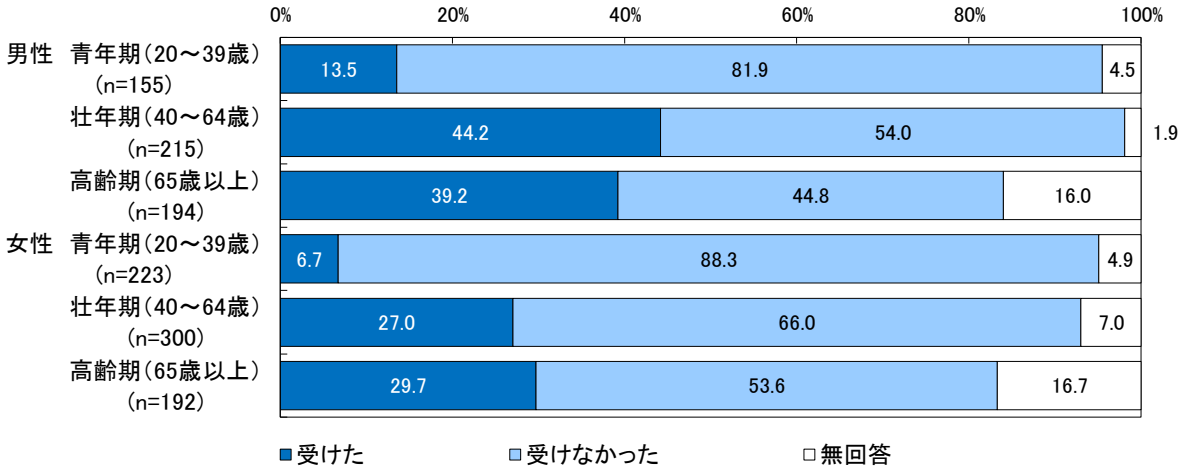
胃がん検診について、「受けた」と回答した人の割合が 26.8%、「受けなかった」と回答した人の割合が 65.1%となっている。

【胃がん検診（性別）】



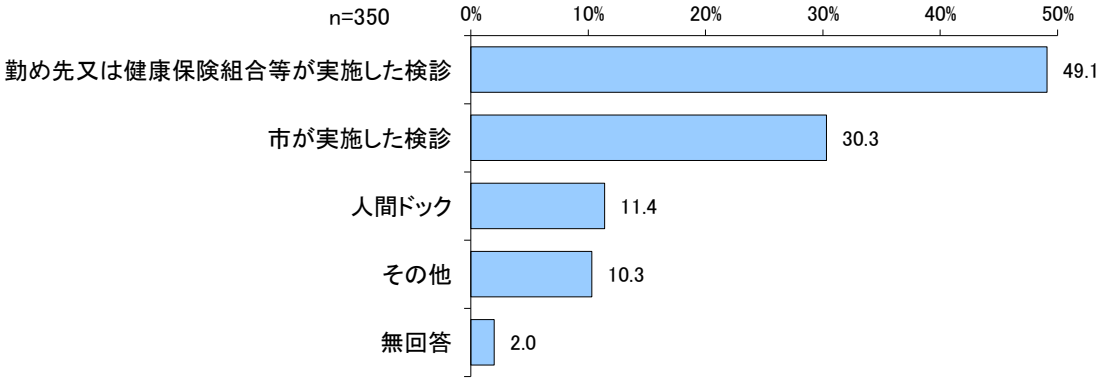
性別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性で 34.0%、女性で 21.4%となっている。

【胃がん検診（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性壮年期で 44.2%となっている。「受けなかった」と回答した人の割合は、男女ともに青年期で８割台となっている。

【胃がん検診を受診した機会】



胃がん検診を受診した機会について、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合が 49.1%と最も高く、次いで「市が実施した検診」(30.3%) となっている。

【胃がん検診を受診した機会（性・年齢別）】

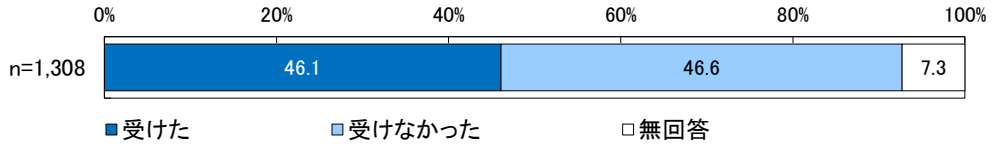
	回答数	勤め先又は健康保険組合等が実施した検診	市が実施した検診	人間ドック	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	21	81.0%	－	9.5%	9.5%	－
壮年期(40～64歳)	95	74.7%	7.4%	15.8%	5.3%	2.1%
高齢期(65歳以上)	76	19.7%	59.2%	6.6%	15.8%	1.3%
女性　青年期(20～39歳)	15	60.0%	－	26.7%	13.3%	－
壮年期(40～64歳)	81	58.0%	22.2%	17.3%	2.5%	3.7%
高齢期(65歳以上)	57	15.8%	63.2%	－	21.1%	1.8%

性・年齢別にみると、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに青年期・壮年期で高くなっている。

「市が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で高くなっている。

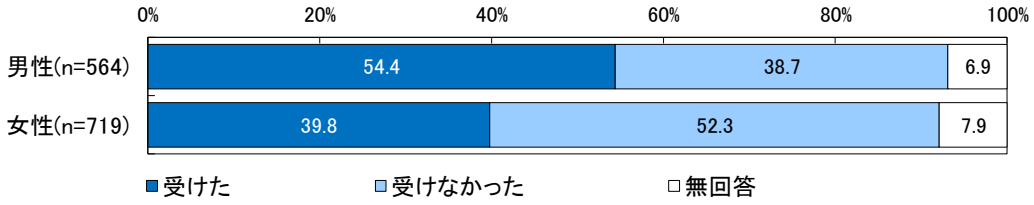
② 肺がん検診

【肺がん検診】



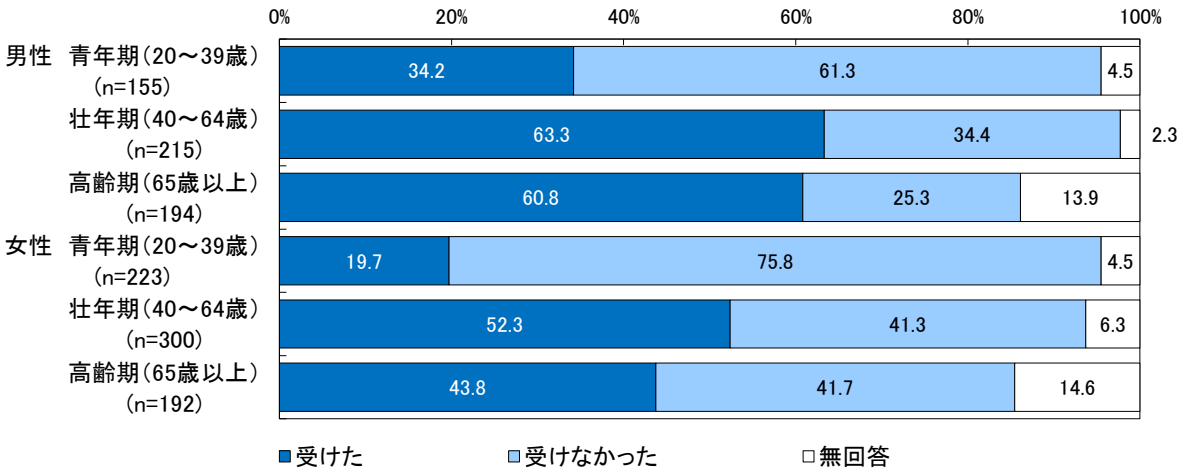
肺がん検診について、「受けた」と回答した人の割合が 46.1%、「受けなかった」と回答した人の割合が 46.6%となっている。

【肺がん検診（性別）】



性別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性で 54.4%、女性で 39.8%となっている。

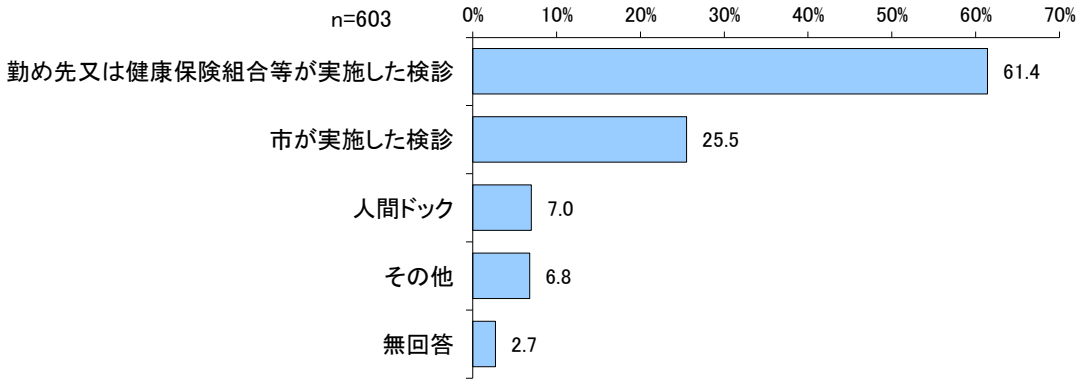
【肺がん検診（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性壮年期・高齢期で６割台となっている。

「受けなかった」と回答した人の割合は、女性青年期で 75.8%、男性青年期で 61.3%となっている。

【肺がん検診を受診した機会】



肺がん検診を受診した機会について、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合が 61.4%と最も高く、次いで「市が実施した検診」(25.5%) となっている。

【肺がん検診を受診した機会（性・年齢別）】

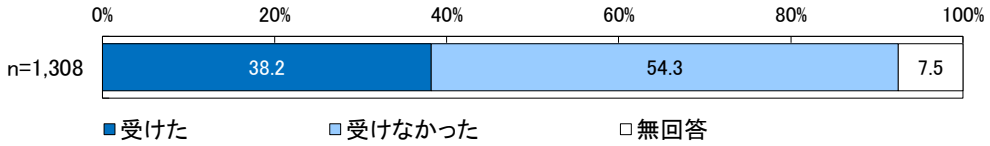
	回答数	勤め先又は健康保険組合等が実施した検診	市が実施した検診	人間ドック	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	53	98.1%	－	1.9%	1.9%	－
壮年期(40～64歳)	136	84.6%	5.1%	11.0%	－	3.7%
高齢期(65歳以上)	118	26.3%	50.8%	5.1%	17.8%	2.5%
女性　青年期(20～39歳)	44	84.1%	－	11.4%	4.5%	－
壮年期(40～64歳)	157	68.2%	21.0%	9.6%	2.5%	4.5%
高齢期(65歳以上)	84	21.4%	64.3%	－	14.3%	1.2%

性・年齢別にみると、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに青年期・壮年期で高くなっている。

「市が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で高くなっている。

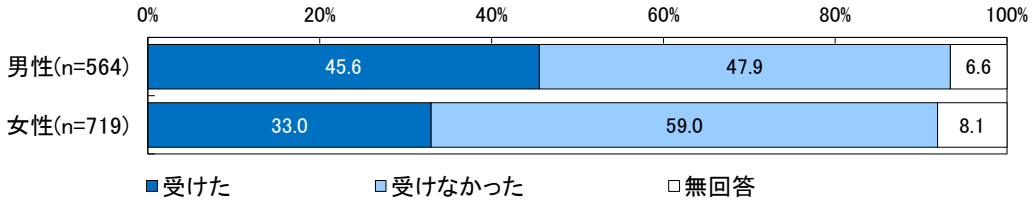
③　大腸がん検診

【大腸がん検診】



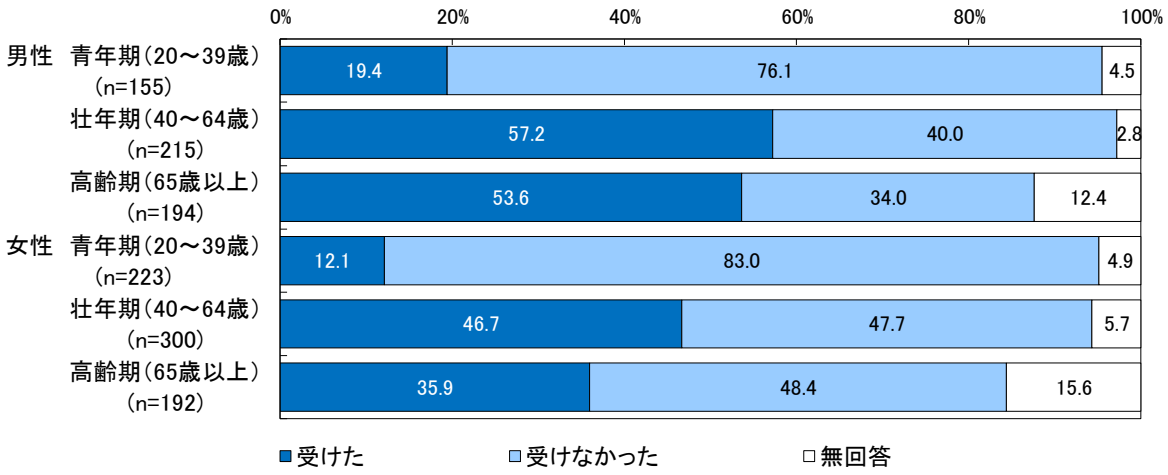
大腸がん検診について、「受けた」と回答した人の割合が 38.2%「受けなかった」と回答した人の割合が 54.3%となっている。

【大腸がん検診（性別）】



性別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性で 45.6%、女性で 33.0%となっている。

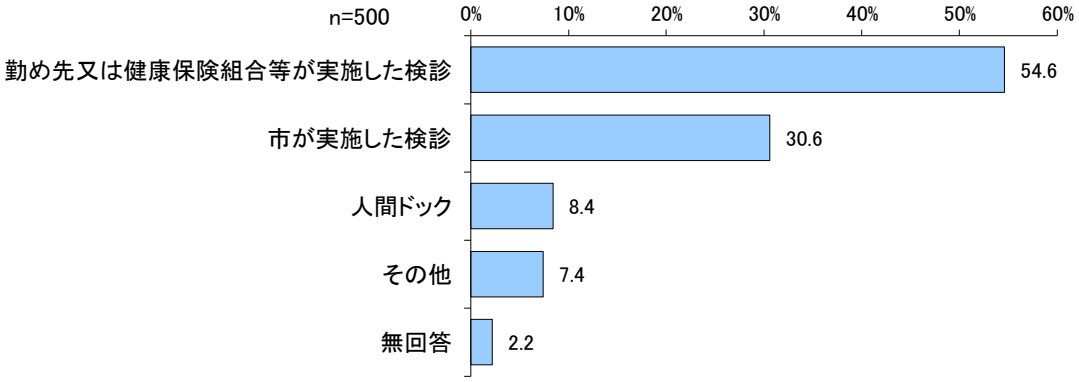
【大腸がん検診（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、男性壮年期・高齢期で５割台となっている。

「受けなかった」と回答した人の割合は、女性青年期で 83.0%、男性青年期で 76.1%となっている。

【大腸がん検診を受診した機会】



大腸がん検診を受診した機会について、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合が 54.6%と最も高く、次いで「市が実施した検診」（30.6%）となっている。

【大腸がん検診を受診した機会（性・年齢別）】

	回答数	勤め先又は健康保険組合等が実施した検診	市が実施した検診	人間ドック	その他	無回答
男性　青年期(20～39歳)	30	90.0%	3.3%	3.3%	3.3%	－
壮年期(40～64歳)	123	81.3%	6.5%	10.6%	1.6%	3.3%
高齢期(65歳以上)	104	21.2%	59.6%	4.8%	13.5%	1.9%
女性　青年期(20～39歳)	27	63.0%	7.4%	22.2%	7.4%	－
壮年期(40～64歳)	140	63.6%	25.0%	11.4%	5.7%	2.1%
高齢期(65歳以上)	69	17.4%	65.2%	1.4%	13.0%	2.9%

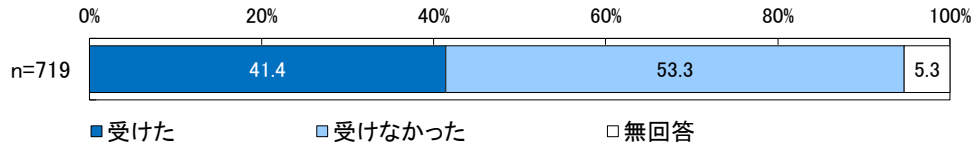
性・年齢別にみると、「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに青年期・壮年期で高くなっている。

「市が実施した検診」と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で高くなっている。

問 40－２　過去２年間に、以下のがん検診を受けましたか。【○はあてはまるもの全て】

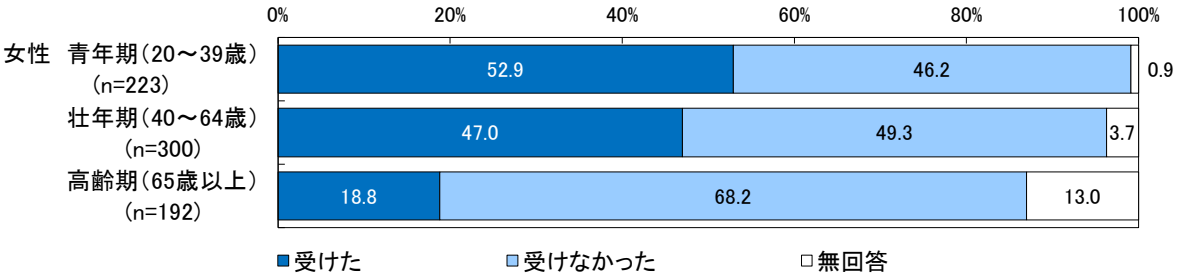
④　子宮がん検診

【子宮がん検診（女性のみ）】



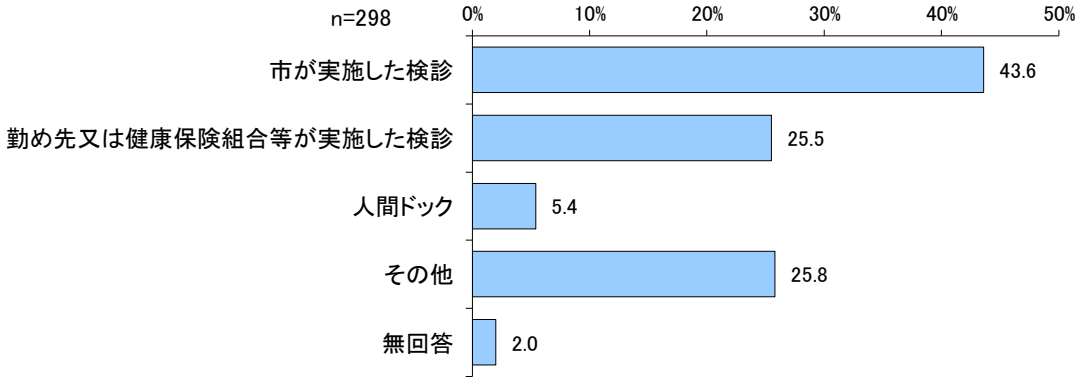
子宮がん検診について、女性では「受けた」と回答した人の割合が 41.4%、「受けなかった」と回答した人の割合が 53.3%となっている。

【子宮がん検診（女性のみ）（年齢別）】



女性の年齢別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、青年期で 52.9%となっている。

【子宮がん検診を受診した機会（女性のみ）】



女性の子宮がん検診を受診した機会について、「市が実施した検診」と回答した人の割合が 43.6%と最も高く、次いで「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」（25.5%）となっている。

また、その他と回答した人の内訳は、医療機関で自ら受診した人が 47 件、妊娠時の健診が 13 件、その他が３件となっている。

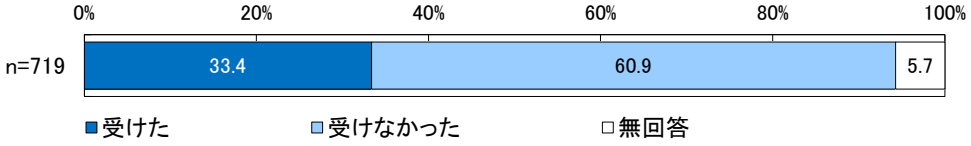
【子宮がん検診を受診した機会（女性のみ）（年齢別）】

	回答数	市が実施した検診	勤め先又は健康保険組合等が実施した検診	人間ドック	その他	無回答
女性　青年期(20～39歳)	118	41.5%	21.2%	1.7%	37.3%	1.7%
壮年期(40～64歳)	141	39.7%	29.8%	9.2%	20.6%	2.8%
高齢期(65歳以上)	36	63.9%	25.0%	2.8%	8.3%	－

女性の年齢別にみると、いずれの年齢層も「市が実施した検診」と回答した割合が最も高くなっているが、青年期で「その他」と回答した人の割合が 37.3%となっている。

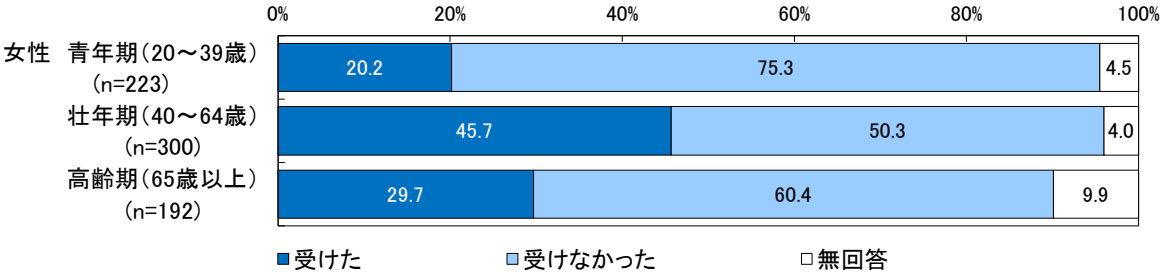
⑤　乳がん検診

【乳がん検診（女性のみ）】



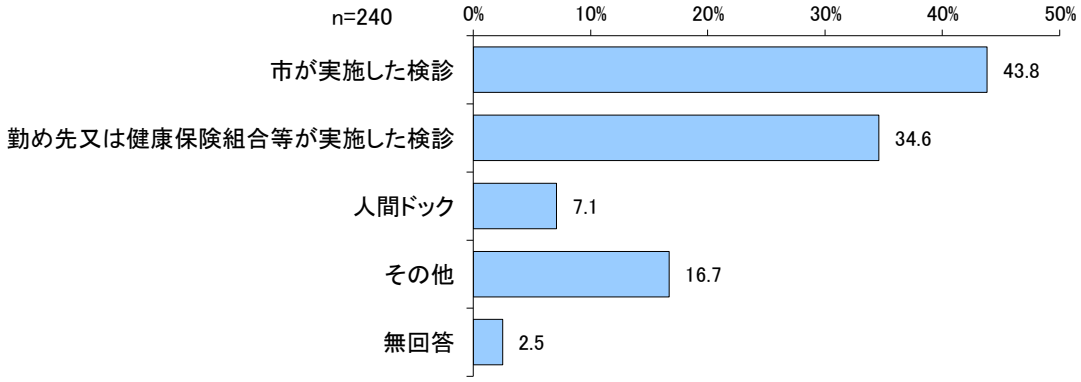
乳がん検診について、女性では「受けた」と回答した人の割合が 33.4%、「受けなかった」と回答した人の割合が 60.9%となっている。

【乳がん検診（女性のみ）（年齢別）】



女性の年齢別にみると、「受けた」と回答した人の割合は、壮年期で 45.7%となっている。

【乳がん検診を受診した機会（女性のみ）】



女性の乳がん検診を受診した機会について、「市が実施した検診」と回答した人の割合が43.8%と最も高く、次いで「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」(34.6%）となっている。

また、その他と回答した人の内訳は、医療機関で自ら受診した人が 28 件、妊娠時の健診が２件、乳がん治療中・後が２件となっている。

【乳がん検診を受診した機会（女性のみ）（年齢別）】

	回答数	市が実施した検診	勤め先又は健康保険組合等が実施した検診	人間ドック	その他	無回答
女性　青年期(20～39歳)	45	20.0%	46.7%	6.7%	31.1%	－
壮年期(40～64歳)	137	43.1%	39.4%	9.5%	11.7%	2.9%
高齢期(65歳以上)	57	63.2%	14.0%	1.8%	17.5%	3.5%

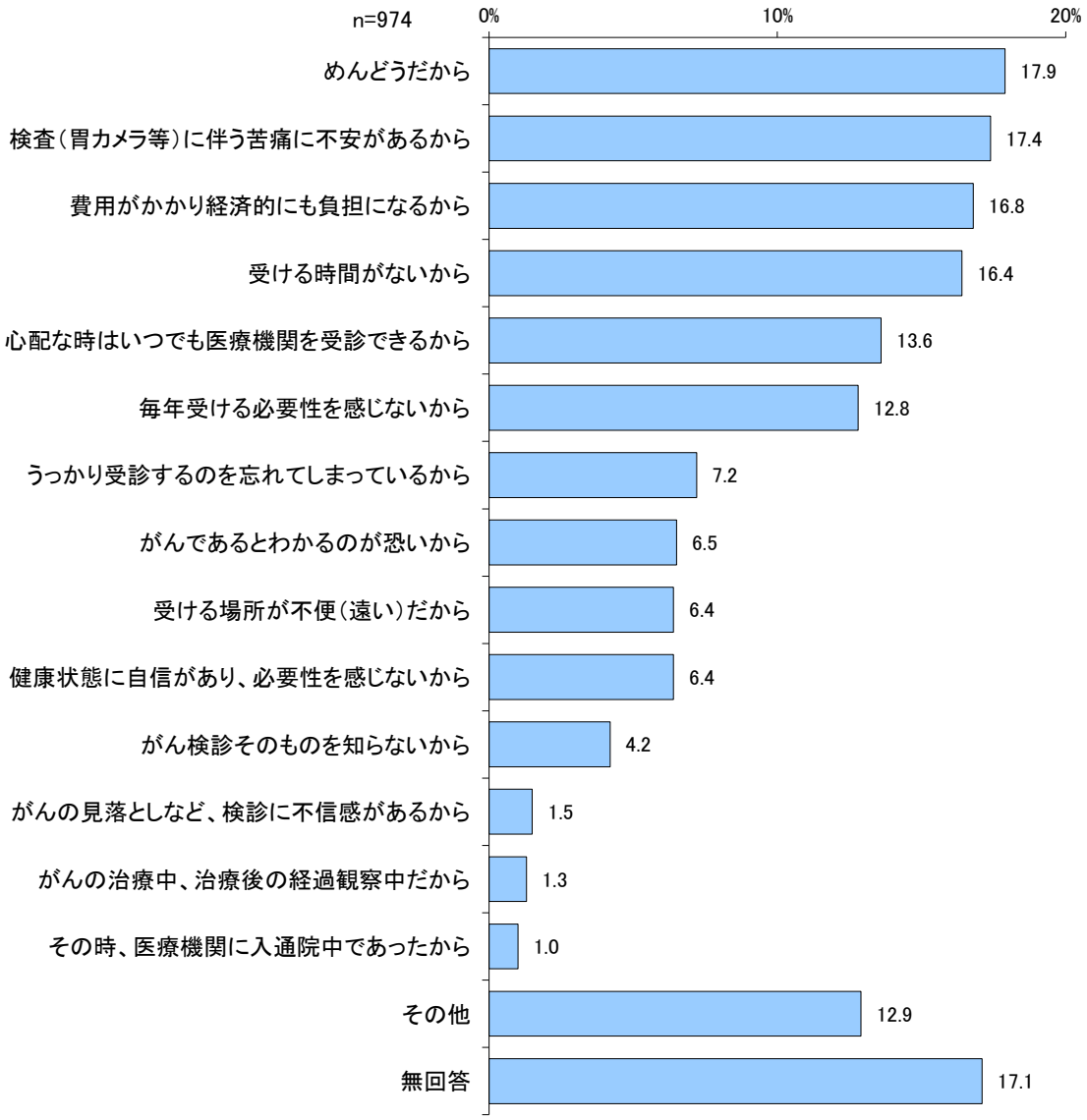
女性の年齢別にみると、青年期では「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」と「その他」、壮年期では「市が実施した検診」と「勤め先又は健康保険組合等が実施した検診」、高齢期では「市が実施した検診」と回答した人の割合が高くなっている。

(3) がん検診を受診していない理由

問 40－１、問 40－２でいずれかのがん検診、又は全てのがん検診を「１　受けなかった」と回答した人のみ回答

問 40－３　がん検診を受けていない理由は何ですか。【○はあてはまるもの全て】

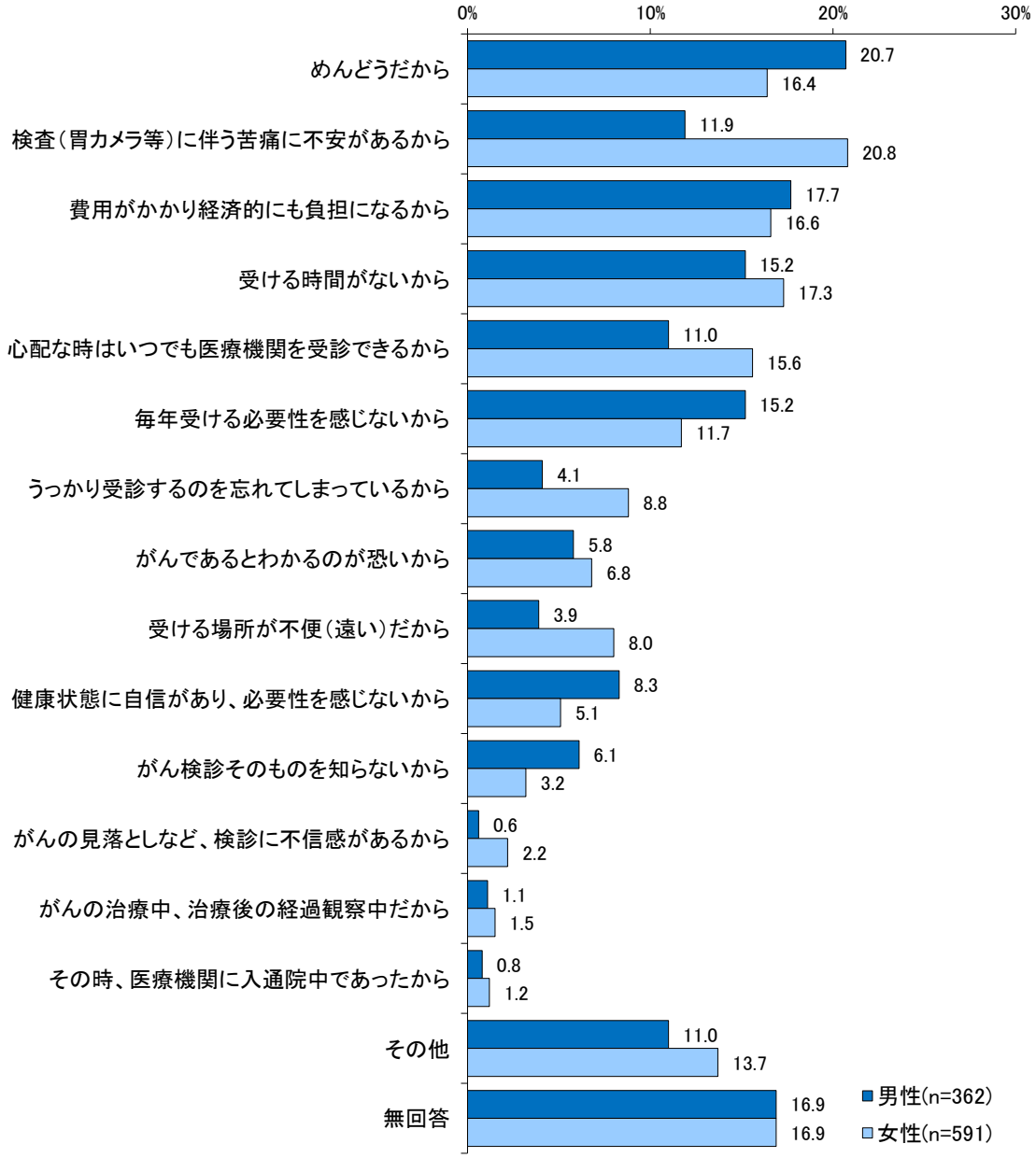
【がん検診を受診していない理由】



がん検診を受診していない理由について、「めんどうだから」と回答した人の割合が 17.9%と最も高く、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」（17.4%）、「費用がかかり経済的にも負担になるから」（16.8%）、「受ける時間がないから」（16.4%）が続いている。

また、「がん検診そのものを知らないから」と回答した人の割合も 4.2%となっている。

【がん検診を受診していない理由（性別）】



性別にみると、男性では「めんどうだから」と回答した人の割合が最も高く、「費用がかかり経済的にも負担になるから」が続いている。

女性では、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」と回答した人の割合が最も高く、「受ける時間がないから」が続いている。

【がん検診を受診していない理由（性・年齢別）】

	回答数	めんどうだから	検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから	費用がかかり経済的にも負担になるから	受ける時間がないから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	毎年受ける必要性を感じないから	うっかり受診するのを忘れてしまっているから
男性　青年期（20～39歳）	132	24.2%	8.3%	23.5%	18.2%	6.1%	14.4%	1.5%
壮年期（40～64歳）	133	21.8%	12.8%	16.5%	21.1%	7.5%	12.0%	6.8%
高齢期（65歳以上）	97	14.4%	15.5%	11.3%	3.1%	22.7%	20.6%	4.1%
女性　青年期（20～39歳）	207	18.8%	16.4%	23.7%	24.2%	8.2%	11.1%	9.7%
壮年期（40～64歳）	234	15.4%	26.1%	14.5%	16.7%	12.4%	12.8%	9.8%
高齢期（65歳以上）	147	15.0%	19.0%	8.2%	8.8%	31.3%	10.9%	6.1%

	回答数	がんであるとわかるのが恐いから	受ける場所が不便（遠い）だから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	がん検診そのものを知らないから	がんの見落としなど、検診に不信感があるから	がんの治療中、治療後の経過観察中だから	その時、医療機関に入通院中であったから
男性　青年期（20～39歳）	132	3.8%	3.8%	11.4%	12.9%	－	－	0.8%
壮年期（40～64歳）	133	7.5%	3.8%	6.0%	1.5%	1.5%	0.8%	0.8%
高齢期（65歳以上）	97	6.2%	4.1%	7.2%	3.1%	－	3.1%	1.0%
女性　青年期（20～39歳）	207	2.4%	8.2%	5.8%	7.7%	2.4%	0.5%	－
壮年期（40～64歳）	234	8.1%	7.7%	2.1%	0.4%	3.4%	1.7%	1.7%
高齢期（65歳以上）	147	10.9%	8.2%	8.8%	1.4%	－	2.7%	2.0%

	回答数	その他	無回答
男性　青年期（20～39歳）	132	10.6%	8.3%
壮年期（40～64歳）	133	10.5%	21.1%
高齢期（65歳以上）	97	12.4%	22.7%
女性　青年期（20～39歳）	207	17.4%	12.1%
壮年期（40～64歳）	234	12.8%	18.4%
高齢期（65歳以上）	147	10.2%	21.8%

性・年齢別にみると、「めんどうだから」と回答した人の割合は、男性青年期・壮年期で２割台となっている。

「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」と回答した人の割合は、女性壮年期で26.1%となっている。

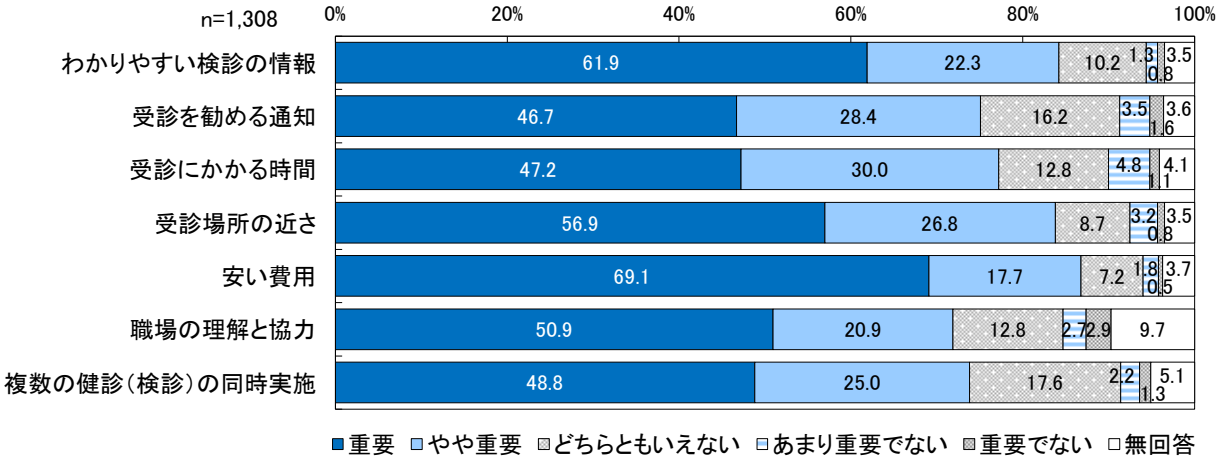
「費用がかかり経済的にも負担になるから」と回答した人の割合は、男女ともに青年期で２割台となっている。

「受ける時間がないから」と回答した人の割合は、男性壮年期、女性青年期で２割台となっている。

(4) がん検診を受診する際に重要なこと

問 41　あなたは、がん検診を受ける時に、次の項目はどのくらい重要だと思いますか。
【各項目につき○は１つ】

【がん検診を受診する際に重要なこと】



がん検診を受診する際に重要なことについて、『重要』（「重要」＋「やや重要」）と回答した人の割合は、「わかりやすい検診の情報」で 84.2%、「受診を勧める通知」で 75.1%、「受診にかかる時間」で 77.2%、「受診場所の近さ」で 83.7%、「安い費用」で 86.8%、「職場の理解と協力」で 71.8%、「複数の健診（検診）の同時実施」で 73.8%となっている。

【がん検診を受診する際に重要なこと（平均点/性・年齢別）】

＊「重要」を「2 点」、「やや重要」を「1 点」、「どちらともいえない」を「0 点」、「あまり重要でない」を「-1 点」、「重要でない」を「-2 点」として算出

	わかりやすい検診の情報	受診を勧める通知	受診にかかる時間	受診場所の近さ	安い費用	職場の理解と協力	複数の健診（検診）の同時実施
全体	1.49点	1.19点	1.22点	1.41点	1.59点	1.27点	1.24点
男性　青年期（20～39歳）	1.47点	0.98点	1.32点	1.47点	1.72点	1.41点	1.20点
壮年期（40～64歳）	1.44点	1.14点	1.21点	1.40点	1.61点	1.33点	1.18点
高齢期（65歳以上）	1.45点	1.22点	0.96点	1.13点	1.41点	0.93点	1.09点
女性　青年期（20～39歳）	1.57点	1.33点	1.39点	1.52点	1.74点	1.36点	1.41点
壮年期（40～64歳）	1.50点	1.21点	1.33点	1.50点	1.67点	1.34点	1.42点
高齢期（65歳以上）	1.43点	1.21点	0.97点	1.32点	1.30点	1.02点	0.95点

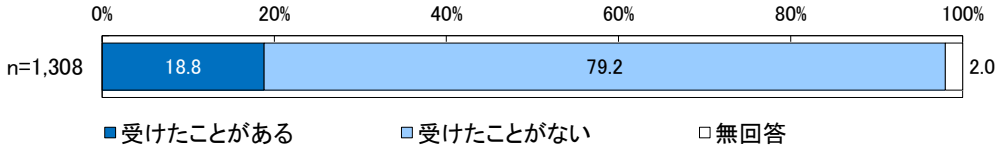
がん検診を受診する際に重要なことについて点数化し、性・年齢別にみると、男性高齢期、女性高齢期を除くすべての年齢層で「安い費用」の点数が最も高くなっている。

男性高齢期、女性高齢期では「わかりやすい検診の情報」の点数が最も高くなっている。

(5) 骨粗鬆症検診の受診状況

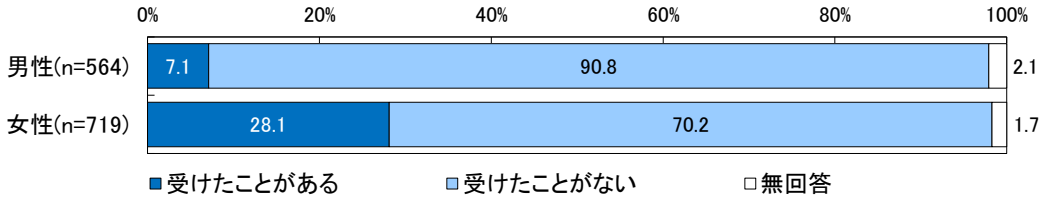
問 42　あなたは、医療機関で骨粗鬆症検診を受けたことがありますか。【○は１つ】

【骨粗鬆症検診の受診状況】



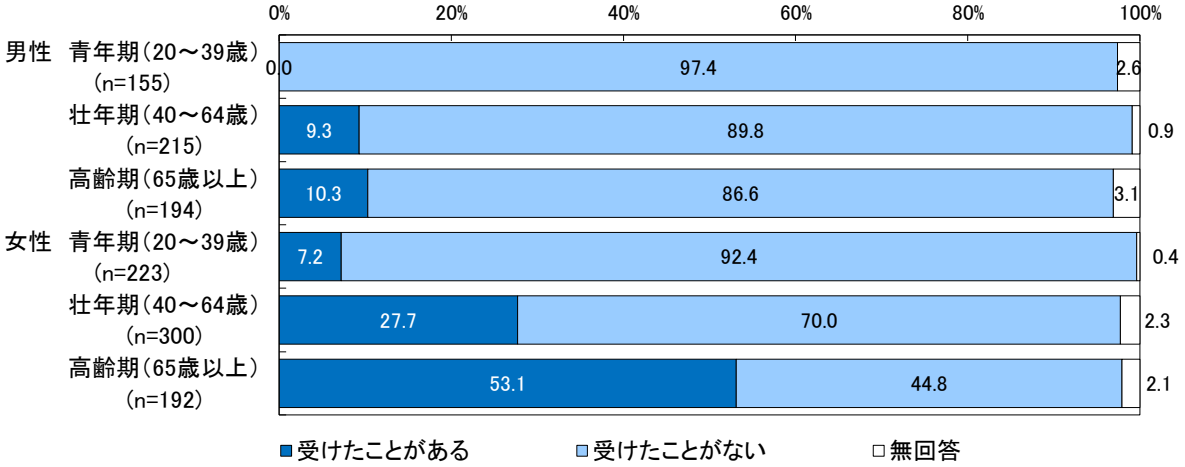
骨粗鬆症検診の受診状況について、「受けたことがある」と回答した人の割合が 18.8%、「受けたことがない」と回答した人の割合が 79.2%となっている。

【骨粗鬆症検診の受診状況（性別）】



性別にみると、「受けたことがある」と回答した人の割合は、男性で 7.1%、女性で 28.1%となっている。

【骨粗鬆症検診の受診状況（性・年齢別）】



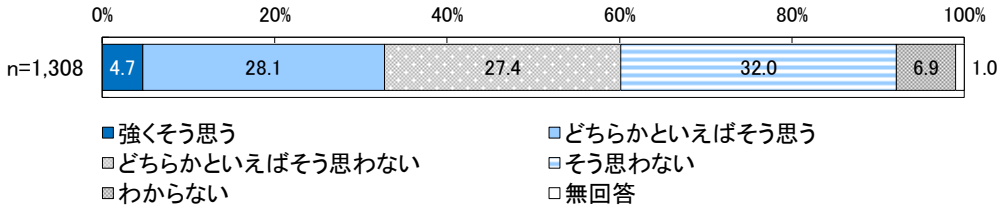
性・年齢別にみると、「受けたことがある」と回答した人の割合は、女性壮年期で 27.7%、女性高齢期で 53.1%となっている。

10　社会活動・社会参加

(1)　地域の人とのつながりの程度

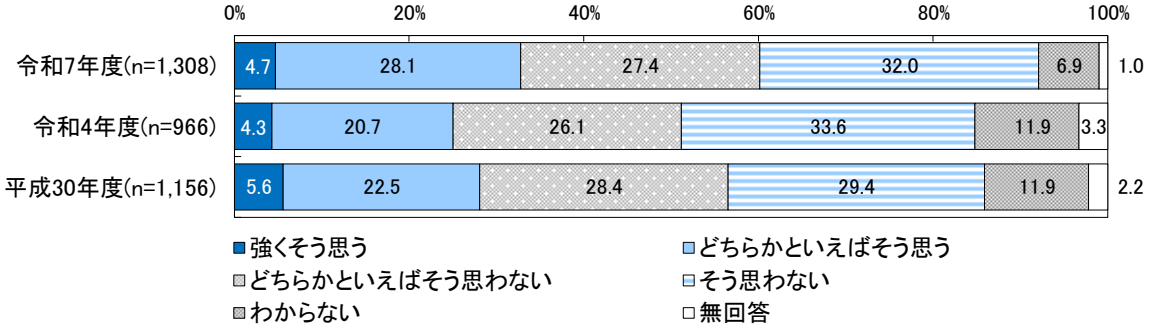
問 43　あなたは、あなたと地域の人とのつながりが強いと思いますか。【○は１つ】

【地域の人とのつながりの程度】



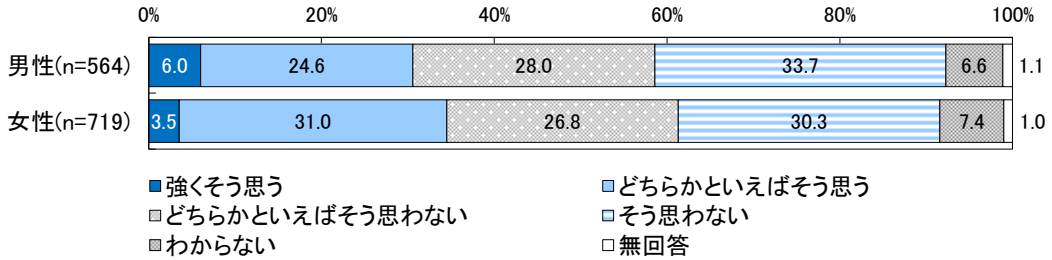
地域の人とのつながりの程度について、『強いと思う』（「強くそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答した人の割合が 32.8%、『強いと思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）と回答した人の割合が 59.4%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（経年比較）】



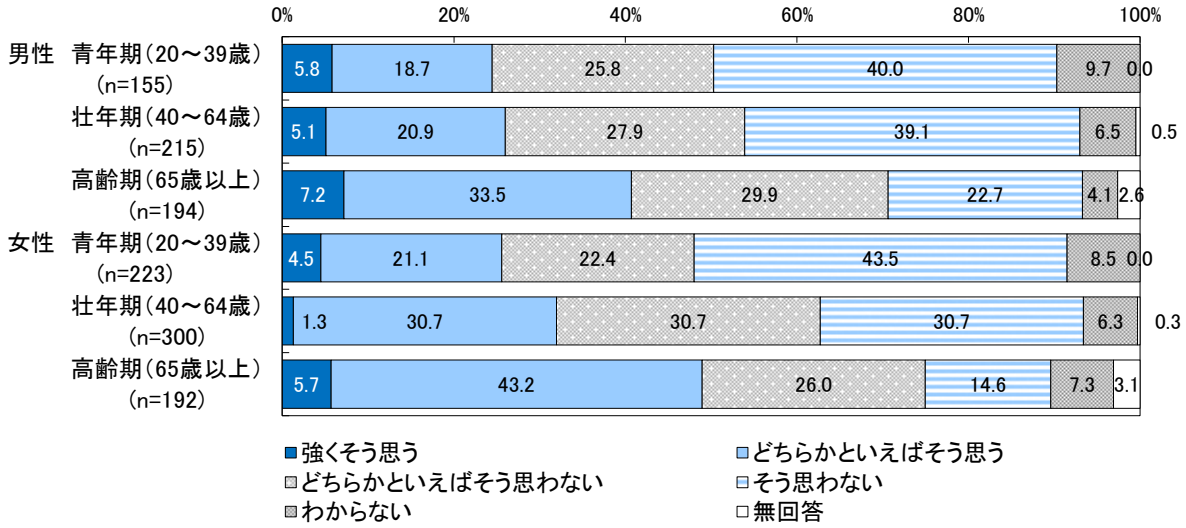
経年比較すると、『強いと思う』と回答した人の割合は、令和４年度より上昇している。

【地域の人とのつながりの程度（性別）】



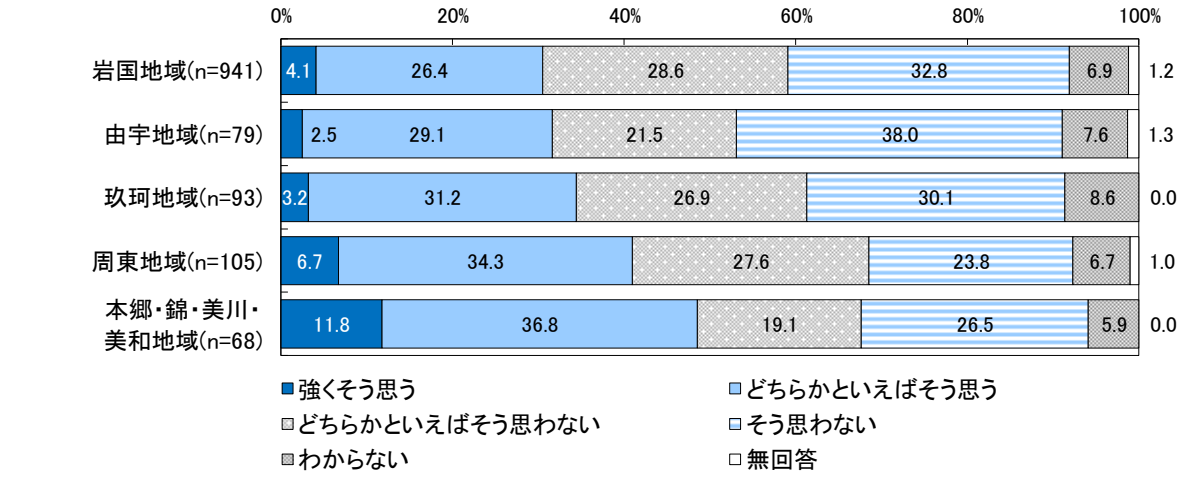
性別にみると、『強いと思う』と回答した人の割合は、男女ともに３割台となっている。

【地域の人とのつながりの程度（性・年齢別）】



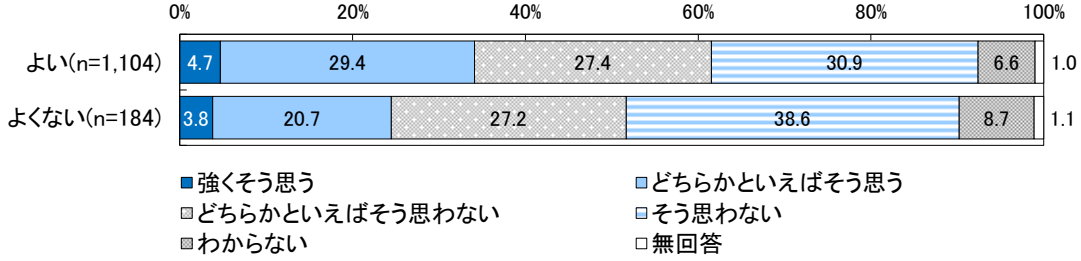
性・年齢別にみると、『強いと思う』と回答した人の割合は、男女ともに高齢期で４割台となっているが、男性青年期・壮年期、女性青年期では２割台となっている。

【地域の人とのつながりの程度（居住地域別）】



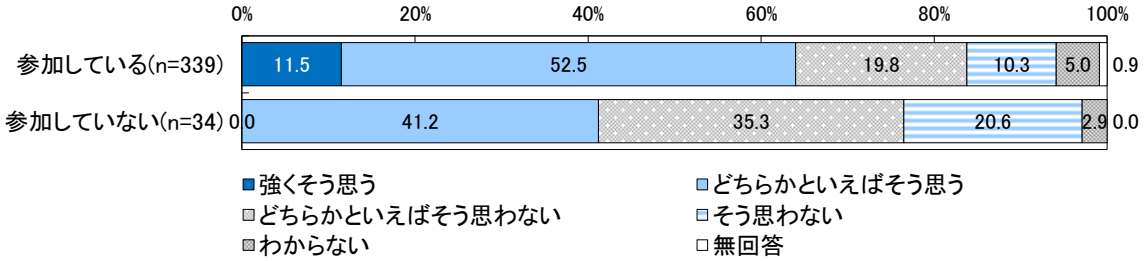
居住地域別にみると、『強いと思う』と回答した人の割合は、岩国地域で 30.5%、由宇地域で 31.6%、玖河地域で 34.4%、周東地域で 41.0%、本郷・錦・美川・美和地域で 48.6%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（主観的健康感別）】



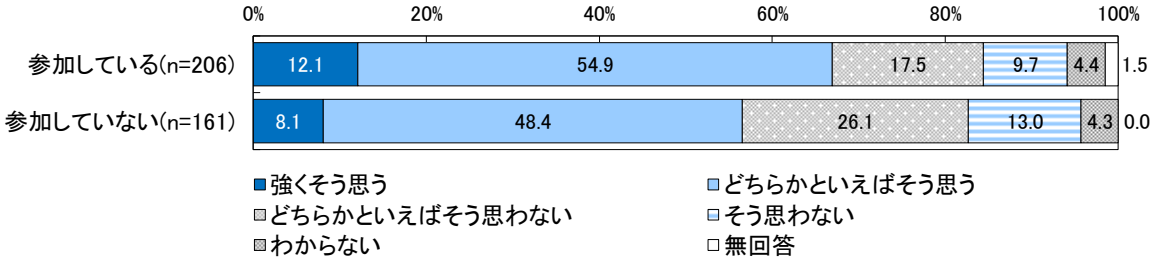
主観的健康感別にみると、『強いと思う』と回答した人の割合は、健康状態がよい人で 34.1%、健康状態がよくない人で 24.5%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（自治会・校区活動への参加状況別）】



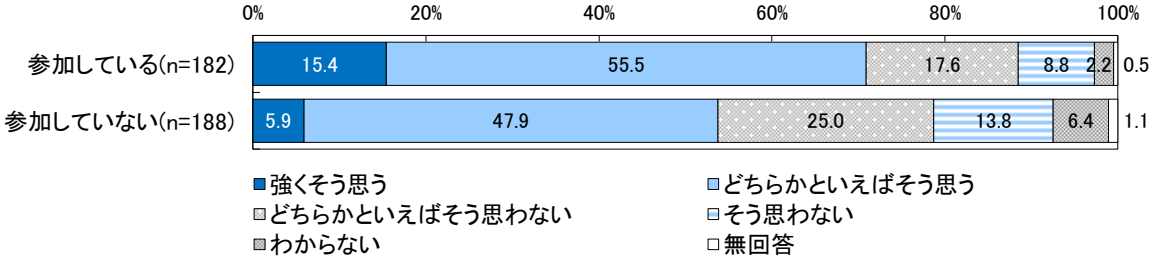
自治会・校区活動への参加状況別にみると、自治会・校区活動へ参加する人では『強いと思う』と回答した人の割合が 64.0%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（ボランティア・奉仕活動への参加状況別）】



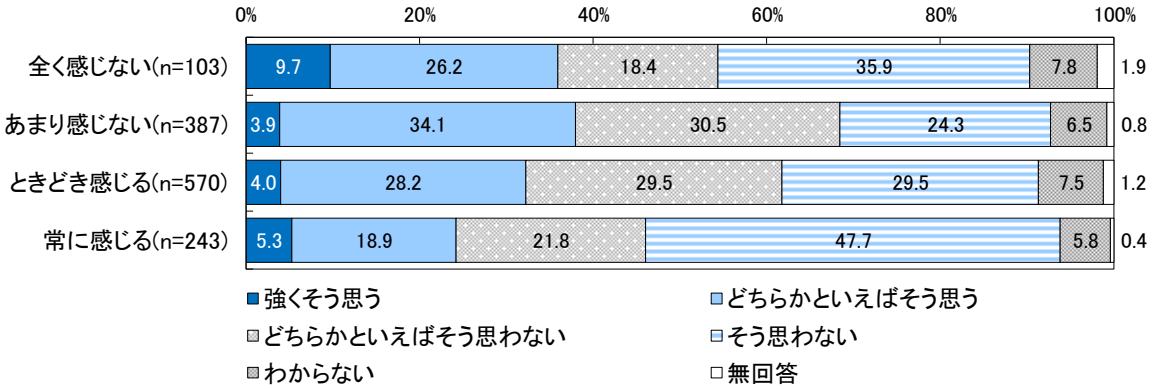
ボランティア・奉仕活動への参加状況別にみると、ボランティア・奉仕活動へ参加する人では『強いと思う』と回答した人の割合が 67.0%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（趣味やサークルの集いへの参加状況別）】



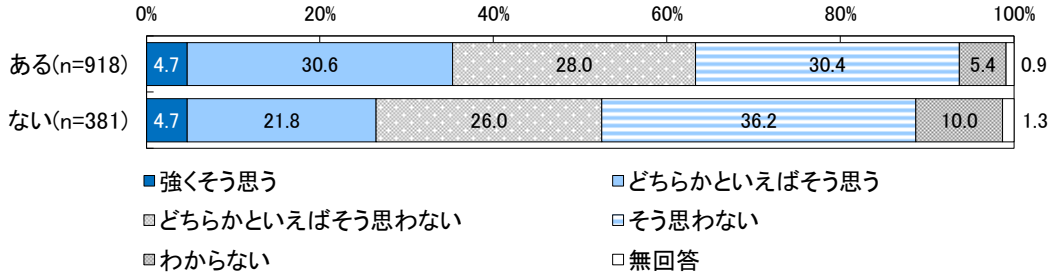
趣味やサークルの集いへの参加状況別にみると、趣味やサークルの集いへ参加する人では『強いと思う』と回答した人の割合が 70.9%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（心の悩みやストレスの程度別）】



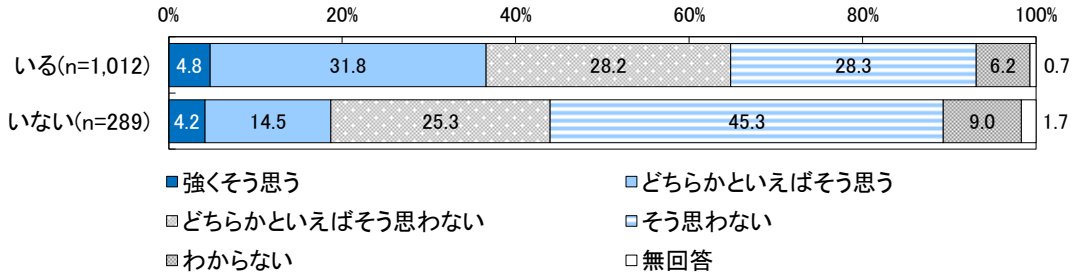
心の悩みやストレスの程度別にみると、ストレスを常に感じている人では『強いと思う』と回答した人の割合が 24.2%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（ストレス解消法の有無別）】



ストレス解消法の有無別にみると、『強いと思う』と回答した人の割合は、ストレス解消法がある人で 35.3%、ない人で 26.5%となっている。

【地域の人とのつながりの程度（相談相手の有無別）】



相談相手の有無別にみると『強いと思う』と回答した人の割合は、相談相手がいる人で 36.6%、相談相手がいない人で 18.7%となっている。

【評価指標】

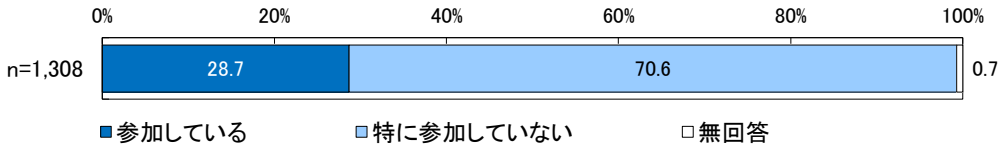
	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 7 年度	目標値
自分と地域の人とのつながりが「強い」と感じている市民の割合	28.1%	25.0%	32.8%	31.0%

自分と地域の人とのつながりが強いと感じている人の割合は、目標値に達している。

(2) 社会活動への参加状況

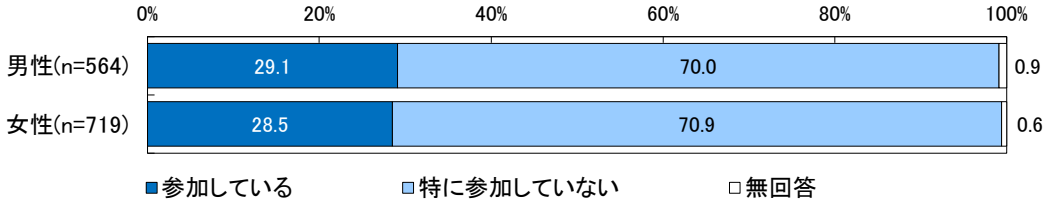
問 44　あなたは、社会活動（自治会活動、ボランティア、趣味など）に参加していますか。
【○は１つ】

【社会活動への参加状況】



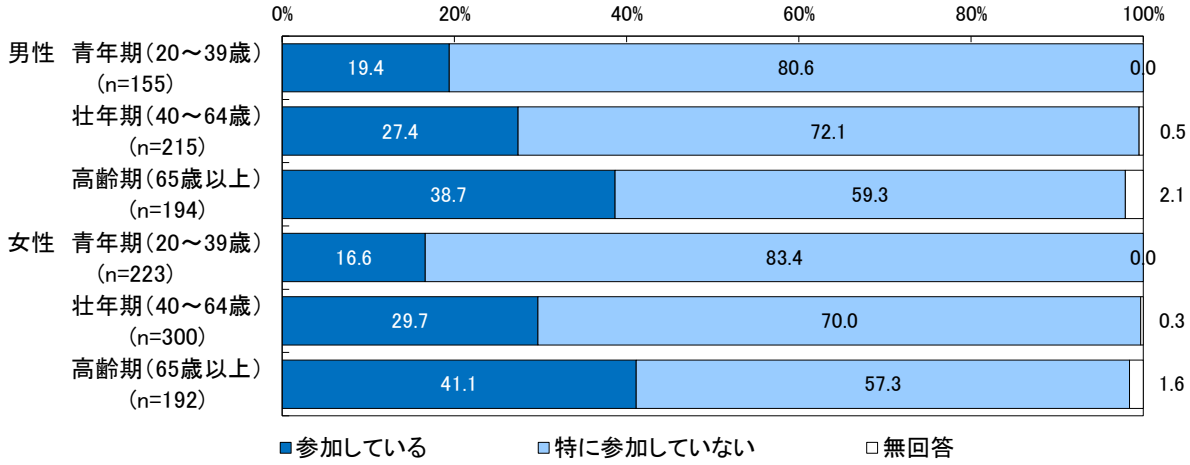
社会活動への参加状況について、「参加している」と回答した人の割合が 28.7%、「特に参加していない」と回答した人の割合が 70.6%となっている。

【社会活動への参加状況（性別）】



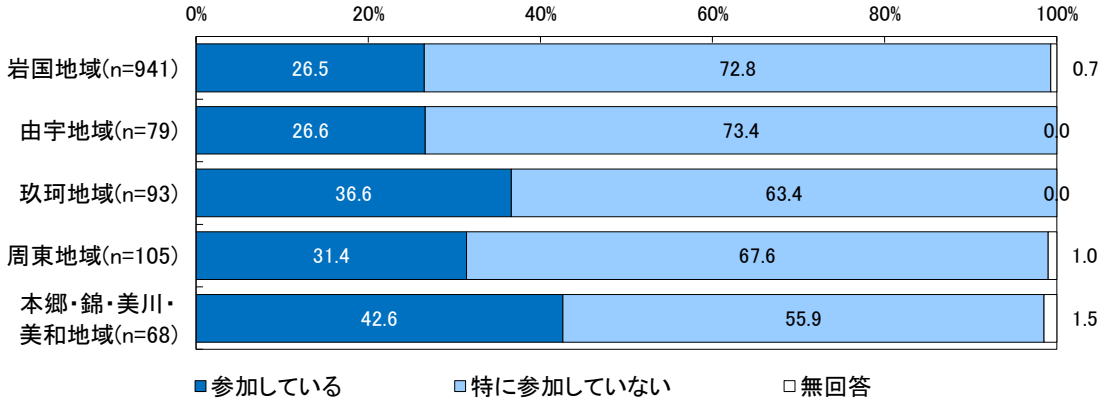
性別にみると、「参加している」と回答した人の割合は、男女ともに２割台となっている。

【社会活動への参加状況（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「参加している」と回答した人の割合は年齢が低いほど低くなっており、男性青年期では 19.4%、女性青年期では 16.6%となっている。

【社会活動への参加状況（居住地域別）】

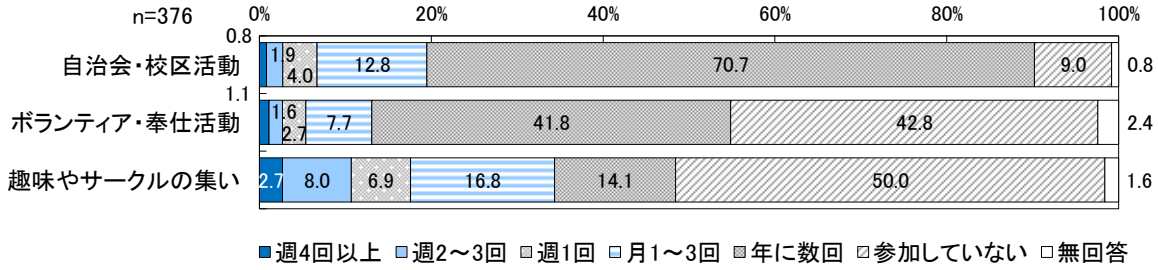


居住地域別にみると、「参加している」と回答した人の割合は、岩国地域で 26.5%、由宇地域で 26.6%、玖河地域で 36.6%、周東地域で 31.4%、本郷・錦・美川・美和地域で 42.6%となっている。

問 44 で「１　参加している」と回答した人のみ回答

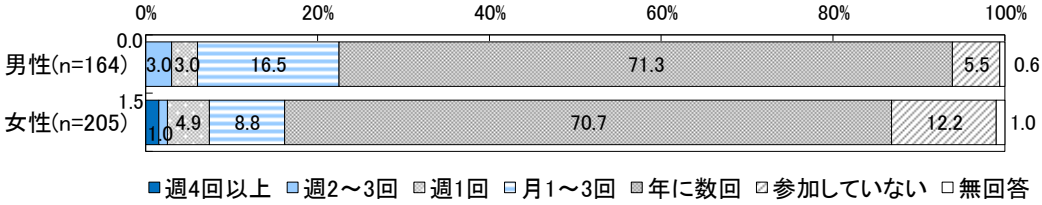
問 44－１　以下のような活動にどのくらいの頻度で参加していますか。【○は１つ】

【社会活動への参加頻度】



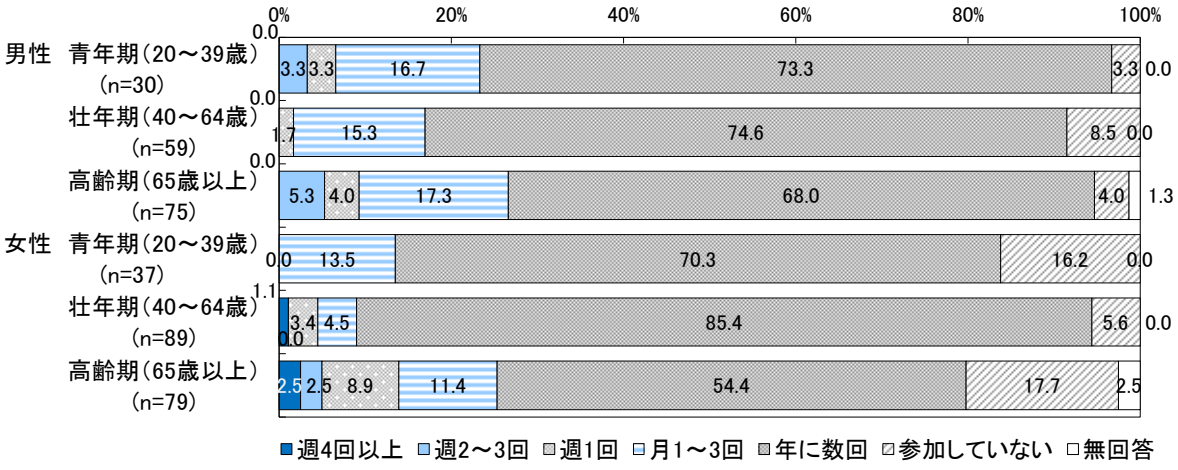
社会活動への参加頻度について、『週１回以上』(「週４回以上」＋「週２～３回」＋「週１回」)と回答した人の割合は「自治会・校区活動」で 6.7%、「ボランティア・奉仕活動」で 5.4%、「趣味やサークルの集い」で 17.6%となっている。

【自治会・校区活動（性別）】



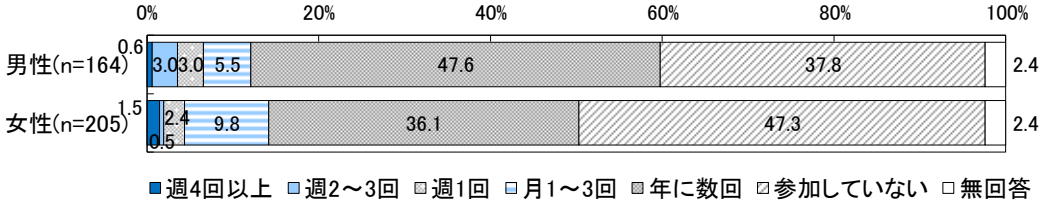
自治会・校区活動について、性別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、男女ともに１割未満であり、「月１～３回」と回答した人の割合は、男性で 16.5%、女性で 8.8%となっている。

【自治会・校区活動（性・年齢別）】



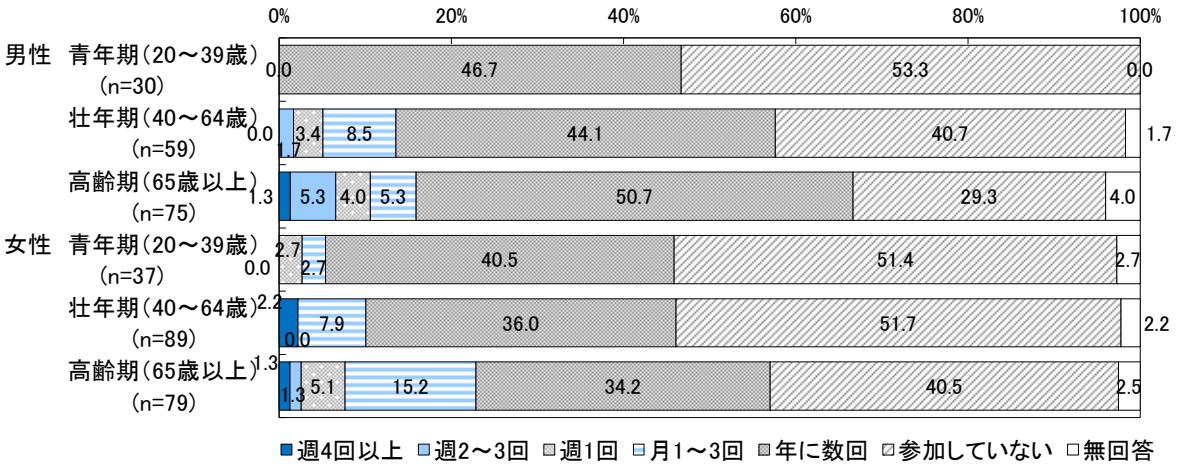
性・年齢別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、女性高齢期で 13.9%となっており、「月１～３回」と回答した人の割合は、女性壮年期を除くすべての年齢層で１割台となっている。

【ボランティア・奉仕活動（性別）】



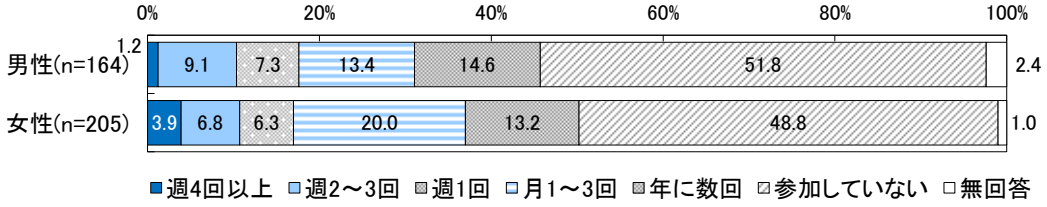
ボランティア・奉仕活動について、性別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、男女ともに１割未満であり、「月１～３回」と回答した人の割合は、男性で 5.5%、女性で 9.8%となっている。

【ボランティア・奉仕活動（性・年齢別）】



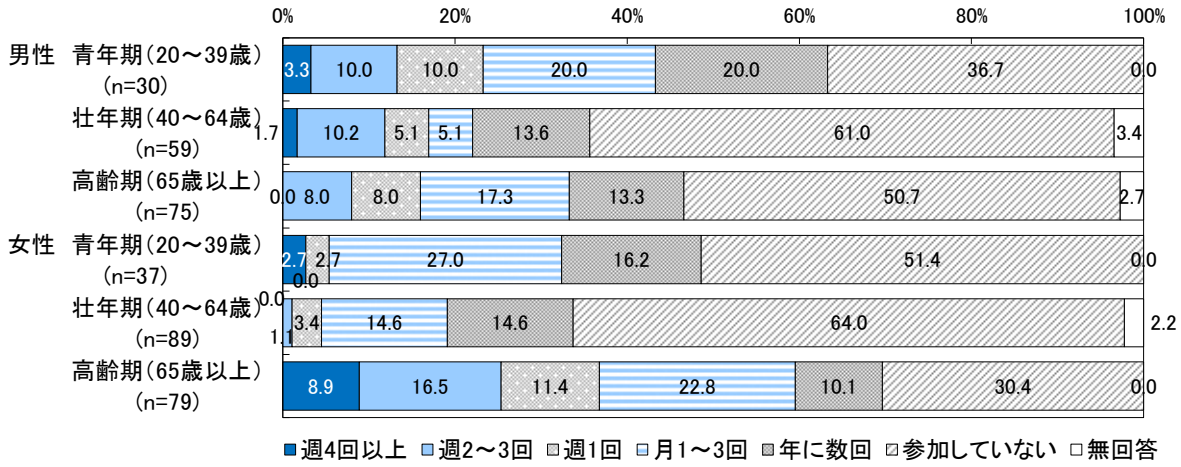
性・年齢別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、男性高齢期で 10.6%となっており、「月１～３回」と回答した人の割合は、女性高齢期で 15.2%となっている。

【趣味やサークルの集い（性別）】



趣味やサークルの集いについて、性別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、男女ともに１割台であり、「月１～３回」と回答した人の割合は、男性で 13.4%、女性で 20.0%となっている。

【趣味やサークルの集い（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、『週１回以上』と回答した人の割合は、女性高齢期で 36.8%となっており、「月１～３回」と回答した人の割合は、男性青年期、女性青年期・高齢期で２割台となっている。